

食品安全モニター課題報告
「食の安全性に関する意識等について」の結果
(平成 17 年 5 月実施)

1. 調査目的

食品安全委員会では、消費者の方々から食品の安全性に係る情報や意見をいただくため、本年 4 月に新たに平成 17 年度食品安全モニターを依頼した。このうち約 3 分の 1 は、これまでもモニターを経験された方で、残りの約 3 分の 2 が平成 17 年度から初めてモニターになっていただいた方である。

そこで、

食品の安全性に係る危害要因等について

(食の安全性に係る不安の程度、不安を感じる理由、等)

BSE 及び vCJD、鳥インフルエンザについて

(BSE 及び vCJD、鳥インフルエンザに係る情報の認知度合、vCJD 症例確定に係る牛肉等の安全性に対する不安感とその変化、食品安全委員長談話の評価、等)

食品安全委員会のホームページ及び季刊誌について

(食品安全委員会のホームページ・季刊誌『食品安全』への評価、等)

の 3 項目について、食品安全モニターの認識等を把握するため、調査を実施した。

なお一部の設問については、昨年度の食品安全モニターに対して平成 16 年 5 月に実施した調査(以下、「16 年 5 月調査」という) また全国の 20 歳代以上を対象に平成 17 年 3 月に実施したインターネットアンケート調査「食品の安全性に関するアンケート」(以下、「インターネット調査」という)における調査結果との比較も行った。

2. 実施期間 平成 17 年 4 月 28 日～5 月 17 日

3. 対 象 食品安全モニター 469 名
有効回答数 469 名 (有効回答率: 100.0%)

(参考) 回答者数 469 名の内訳

1) 男女別:

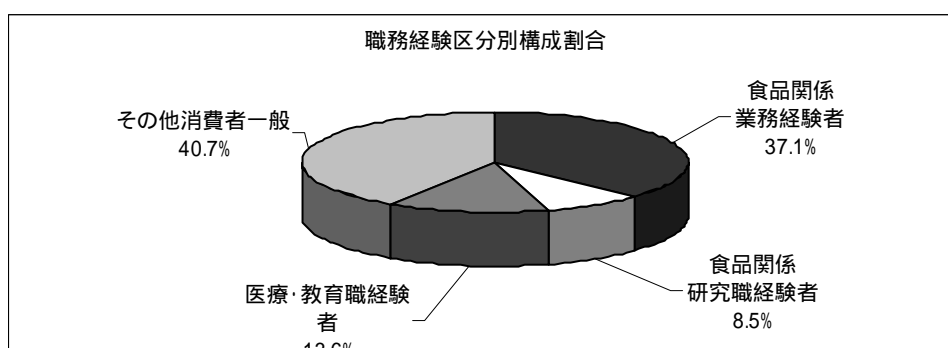
男 性	152 人	32.4%
女 性	317 人	67.6%

2) 年代区分別:

20～29 歳	29 人	6.2%
30～39 歳	116 人	24.7%
40～49 歳	108 人	23.0%
50～59 歳	86 人	18.3%
60～69 歳	107 人	22.8%
70 歳以上	23 人	4.9%

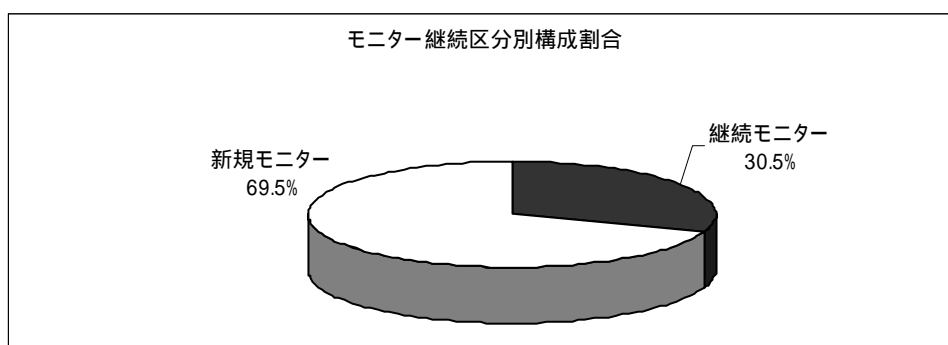
3) 職務経験区分別：

食品関係業務経験者	・現在もしくは過去において、食品の生産、加工、流通、販売等に関する職業(飲食物調理従事者、会社・団体等役員などを含む)に就いた経験を5年以上有している方 ・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を5年以上有している方	174人
食品関係研究職経験者	・現在もしくは過去において、試験研究機関(民間の試験研究機関を含む)、大学等で食品の研究に関する専門的な職業に就いた経験を5年以上有している方	40人
医療・教育職経験者	・現在もしくは過去において、医療・教育に関する職業(医師、獣医師、薬剤師、看護師、小中高校教師等)に就いた経験を5年以上有している方	64人
その他消費者一般	・上記の項目に該当しない方	191人



	男女別		年代区分別		
	男性	女性	20～39歳	40～59歳	60歳以上
食品関係業務経験者	52.9%	47.1%	25.3%	39.1%	35.6%
食品関係研究職経験者	55.0%	45.0%	22.5%	42.5%	35.0%
医療・教育職経験者	26.6%	73.4%	26.6%	35.9%	37.5%
その他消費者一般	11.0%	89.0%	39.3%	45.0%	15.7%

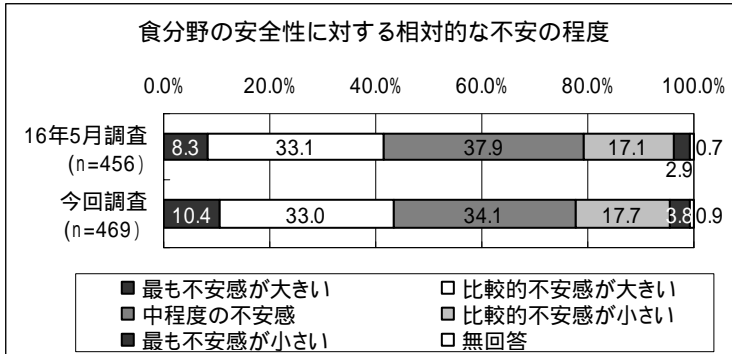
- 4) モニター継続区分別：過去においても食品安全モニターに依頼されていた方
(以下、「継続モニター」という) 143人
平成17年度、初めて食品安全モニターに依頼された方
(以下、「新規モニター」という) 326人



4. 調査結果の概要

< 食品の安全性に係る危害要因等について >

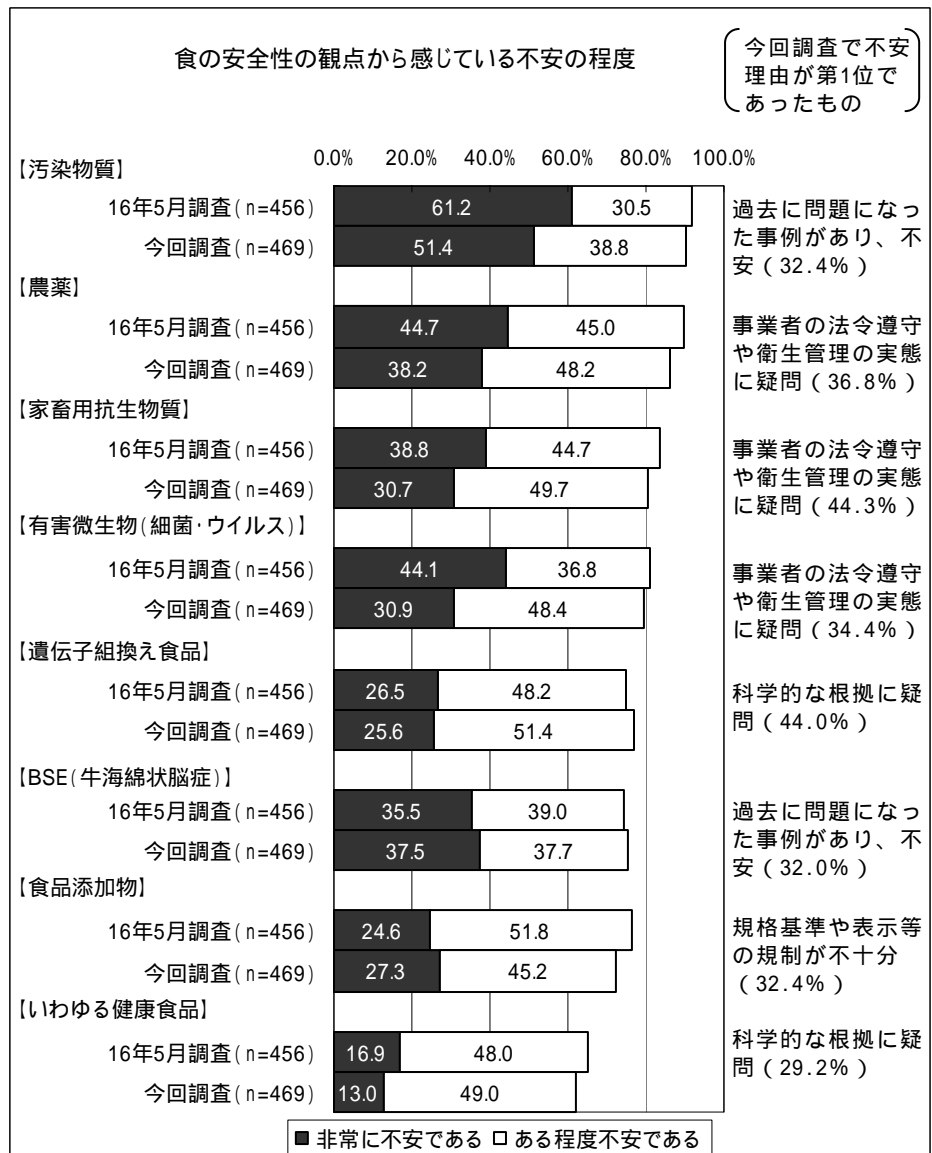
1 自然災害などの日常生活を取り巻く他分野と比べた、食の安全への相対的な不安感：



4割を超える人が、他分野よりも大きいと指摘

2 食の安全性の観点から感じている不安の程度とその理由：

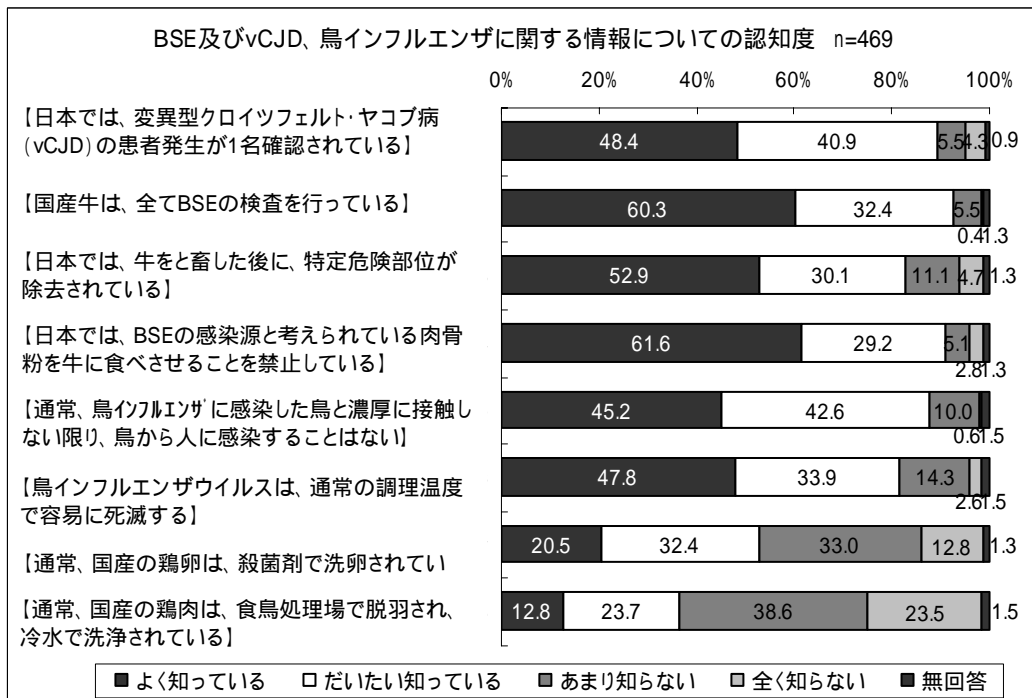
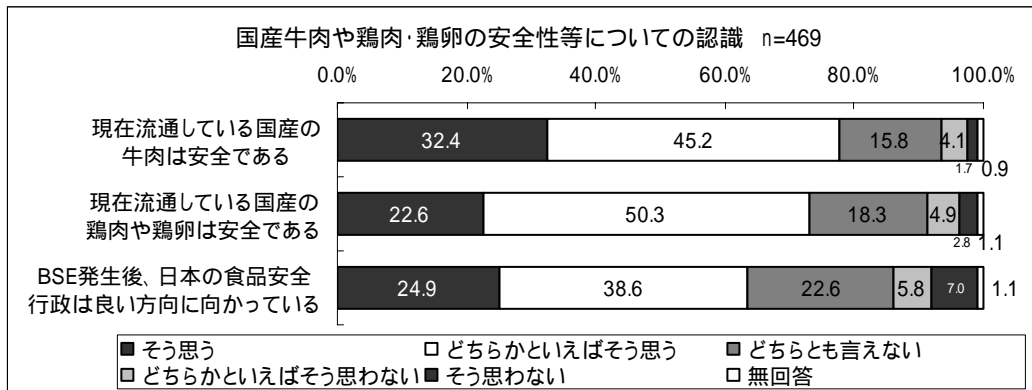
「汚染物質」、「農薬」に対して9割前後の人が不安を指摘。その理由としては、「過去に問題になった事例があり、不安」、「事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問」など。



< BSE 及び vCJD、鳥インフルエンザについて >

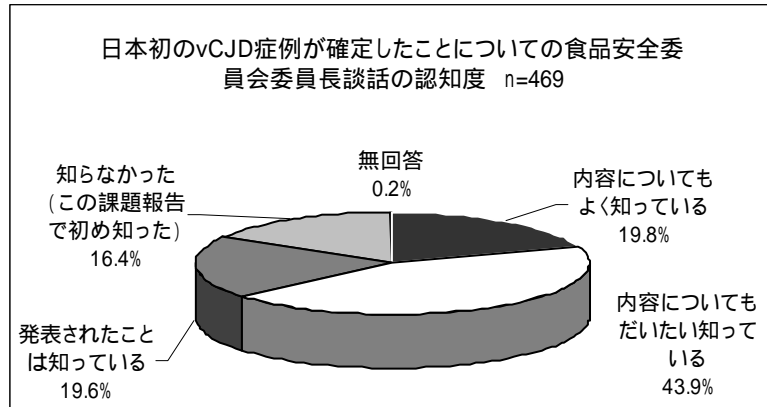
3 国産牛肉や鶏肉・鶏卵の安全性等についての認識：

BSE、鳥インフルエンザ関連情報についての認知状況では、項目により差もみられるが、概して我が国の BSE 対策について知っているとする人は多く、国産牛肉の安全性に対しても 8 割近くが概ね安全と認識。



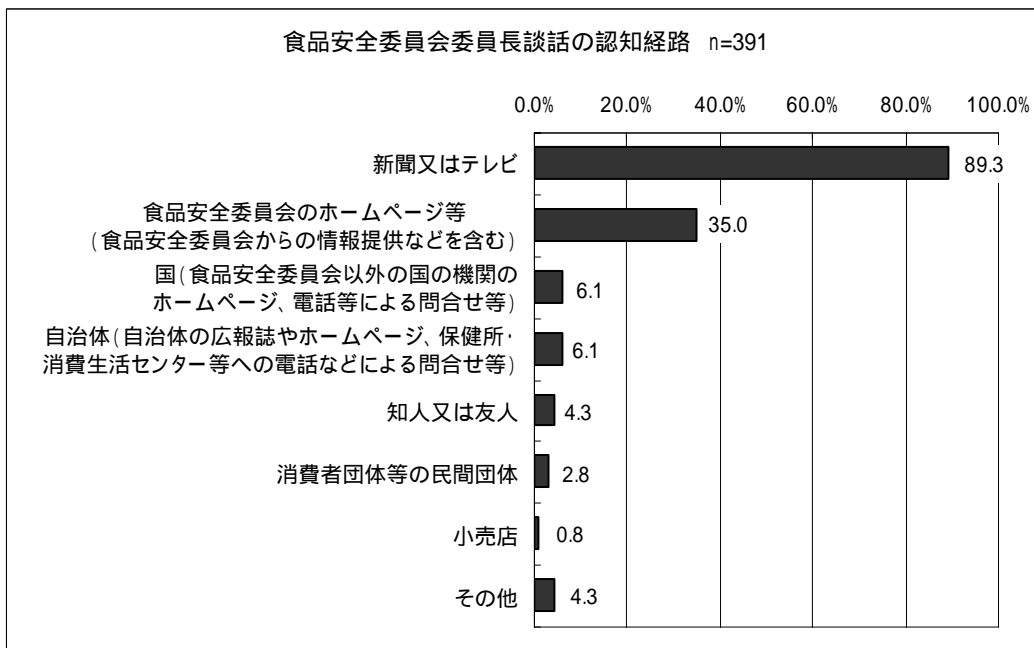
4 日本初のvCJD症例が確定したことについての食品安全委員会委員長談話の認知度：

約3人に2人が、委員長談話の内容についても知っている」と指摘



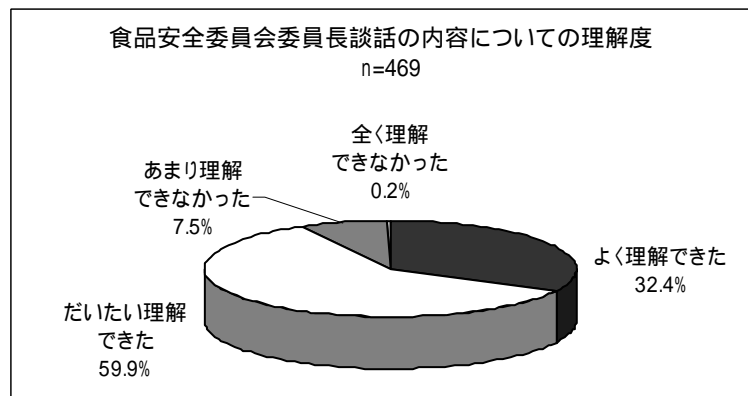
5 食品安全委員会委員長談話の認知経路：

委員長談話の発表の認知経路は、「新聞又はテレビ」が約9割



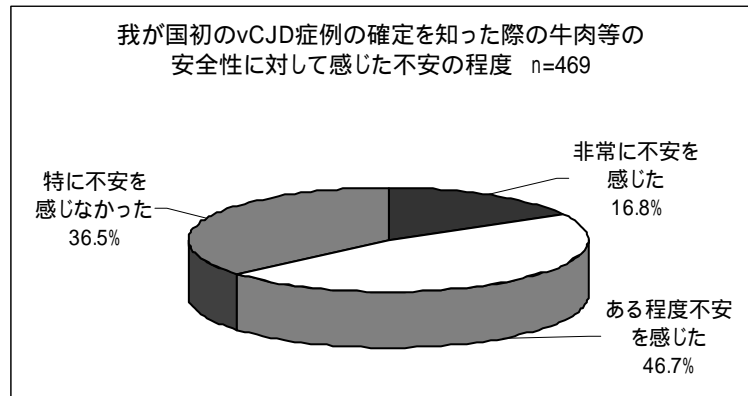
6 食品安全委員会委員長談話の内容についての理解度：

約9割の人が、委員長談話の内容について概ね理解

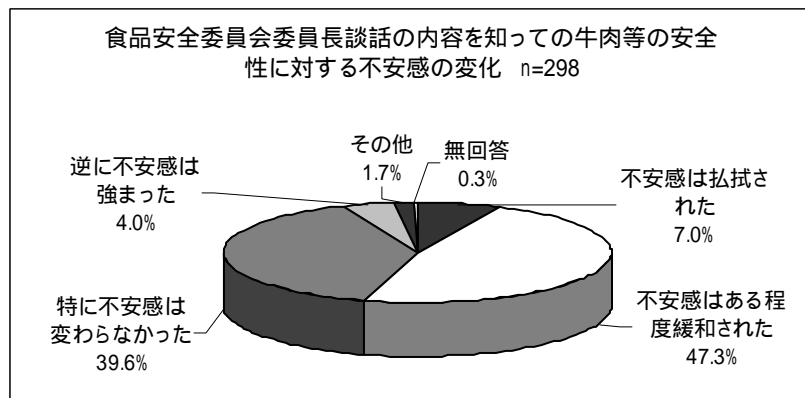


7 日本初のvCJD症例の確定を知った際に牛肉等の安全性に対して感じた不安の程度と委員長談話の内容を知ったことによる不安の変化：

現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性については、約3人に2人が不安を感じたと指摘。

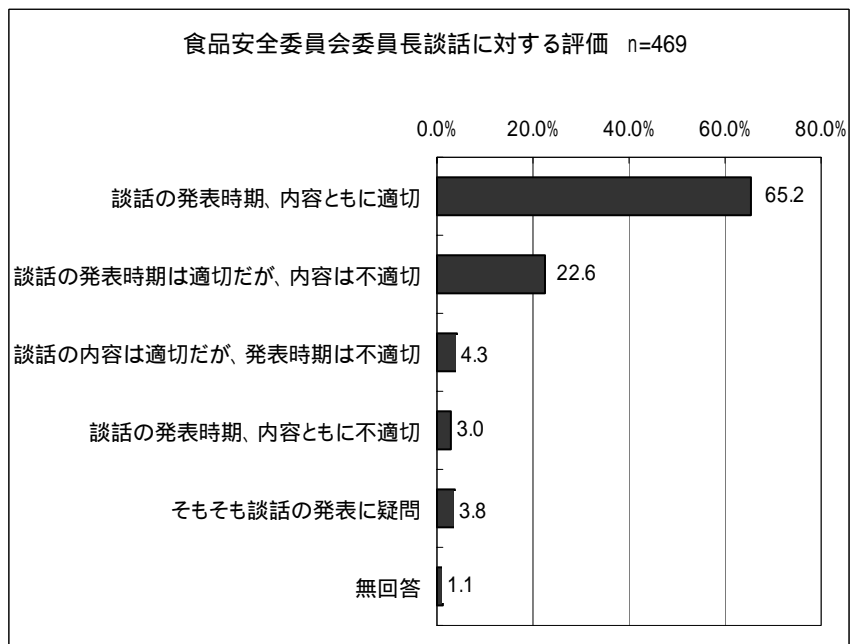


不安を感じた人のうち、半数以上の方は、委員長談話の内容を知って不安感が減少



8 食品安全委員会委員長談話の評価：

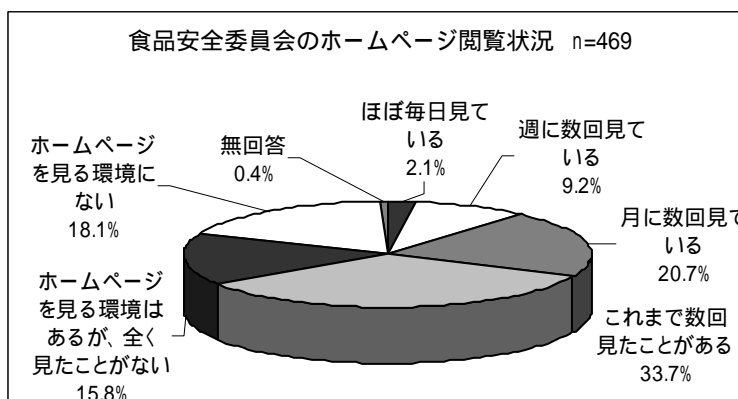
委員長談話について、約3人に2人が「談話の発表時期、内容ともに適切」と評価



< 食品安全委員会のホームページ及び季刊誌について >

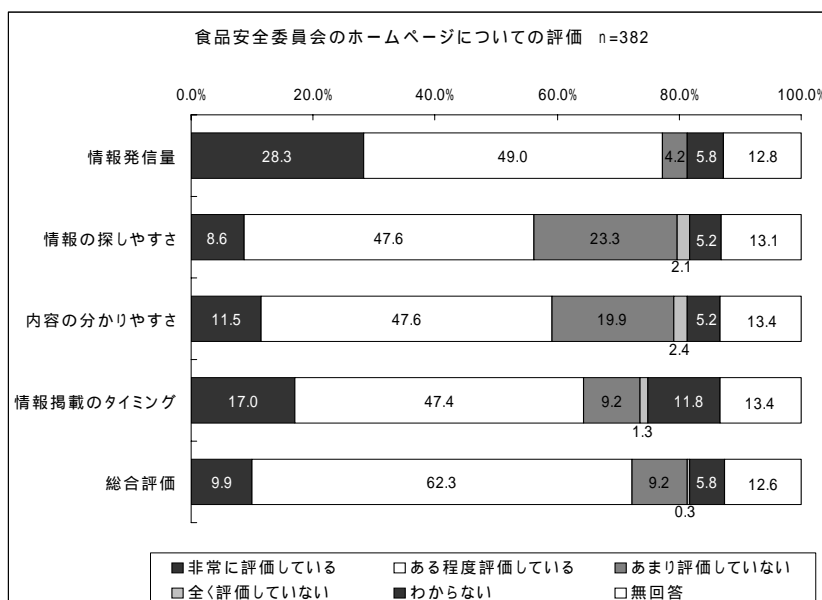
9 食品安全委員会のホームページ閲覧状況：

約3人に2人は見たことがあり、約3人に1人は「月に数回」以上閲覧



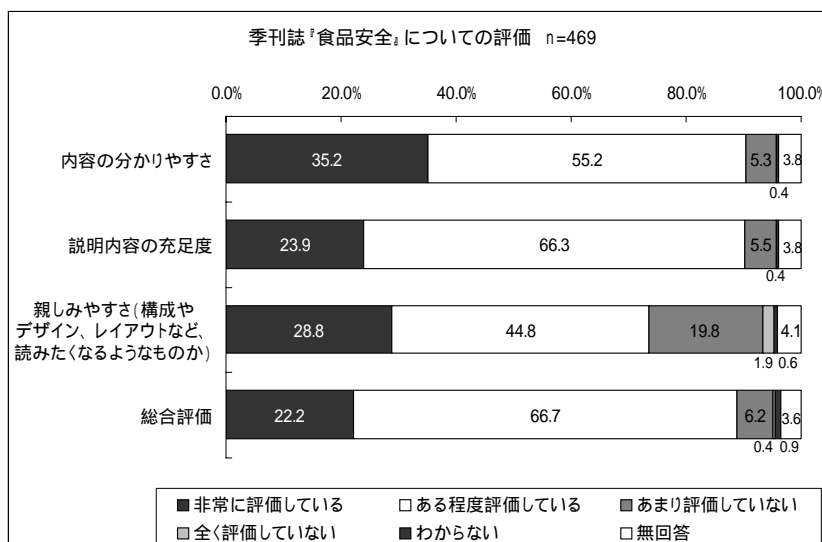
10 食品安全委員会のホームページについての評価：

「情報発信量」を中心に総合的な評価では、7割強の人が概ね評価。「情報の探しやすさ」などでは改善を期待する指摘も。



11 季刊誌『食品安全』についての評価：

「内容の分かりやすさ」をはじめ、総合的な評価で9割を超える人が概ね評価。



【調査結果】

第1 食品の安全性に係る危害要因等について

1 食分野の安全性に対する相対的な不安の程度

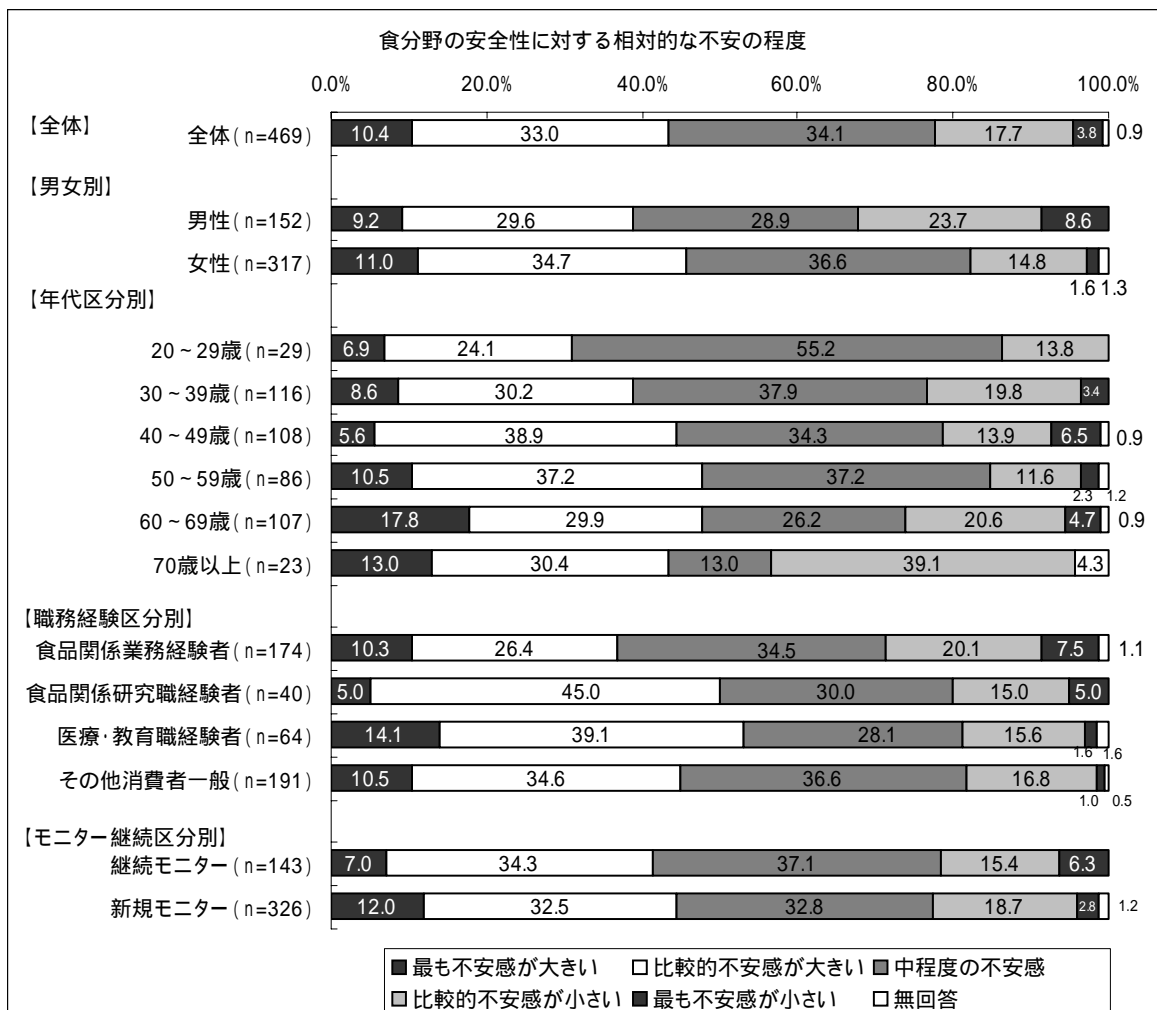
問1 日常生活をとりまく安全の分野のうち、自然災害、環境問題、犯罪、交通事故などの分野に比べて、食の安全の分野に対するあなたの不安感は相対的にどの程度の大きさですか。(1つ選択)

4割強の人が、自然災害など日常生活を取り巻く他分野に比べ、食の安全の分野により大きな不安感

自然災害をはじめとする日常生活を取り巻く安全の分野の中で、食の安全の分野に対する相対的な不安がどの程度かについては、「最も不安感が大きい」とする人の割合が10.4%、「比較的不安が大きい」とする人の割合が33.0%となっている。両者を合わせると、4割強の人が食の安全の分野に対して相対的により大きな不安感があるとしている。

一方、「中程度の不安感」とする人が34.1%と3割強を占め、不安感が相対的に小さい人(「最も不安感が小さい」もしくは「比較的不安感が小さい」とする人)の割合は約2割となっている。

また、不安感が相対的に大きい人(「最も不安感が大きい」もしくは「比較的不安感が大きい」とする人)の回答割合を年代区別にみると、概して年齢が高い層ほどその割合が高い。



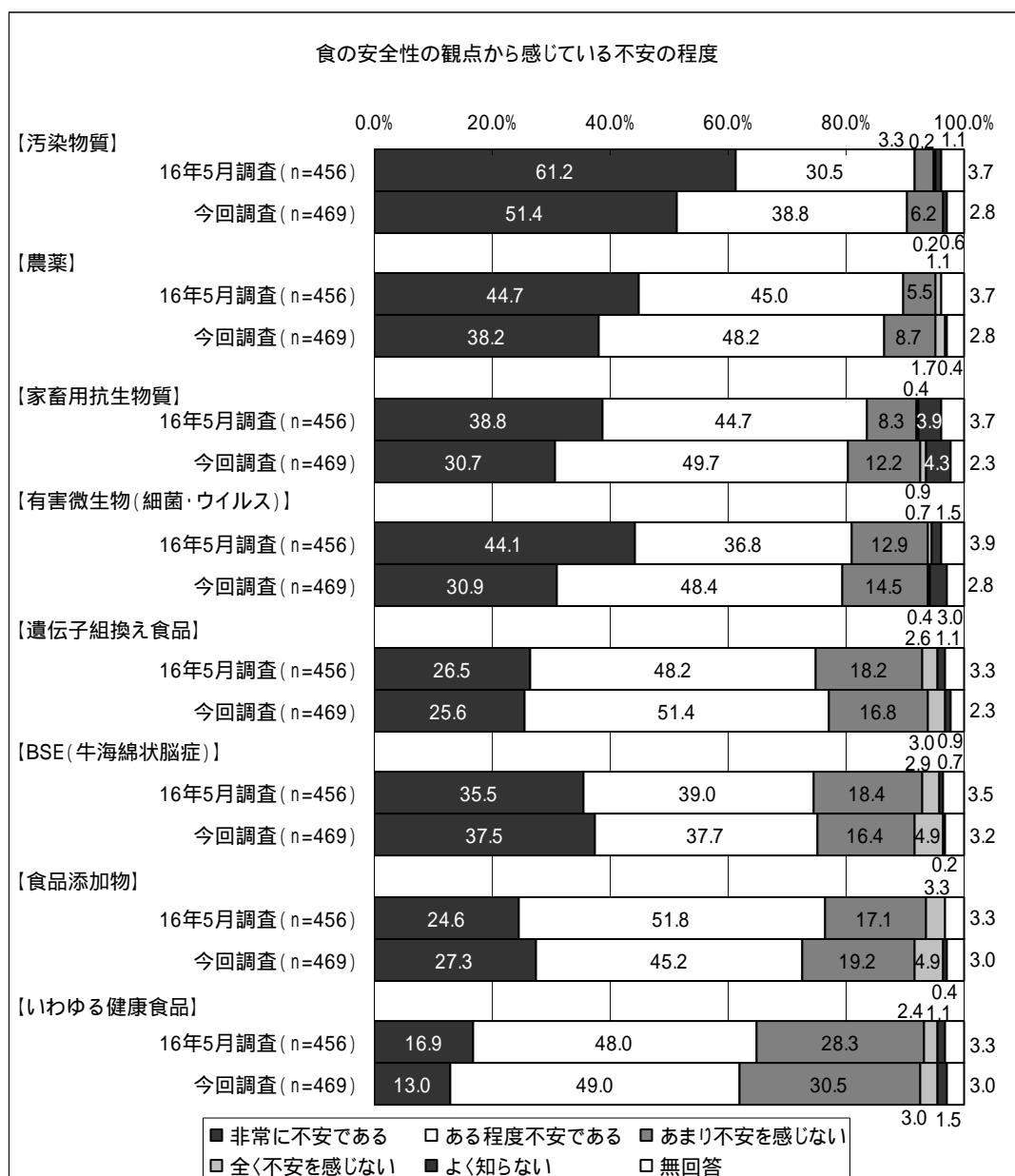
2 食の安全性の観点から感じている不安の程度

問2 以下の八つの要因それぞれについて、食の安全性の観点からあなたが感じている不安の程度を選んでください。(1つ選択)

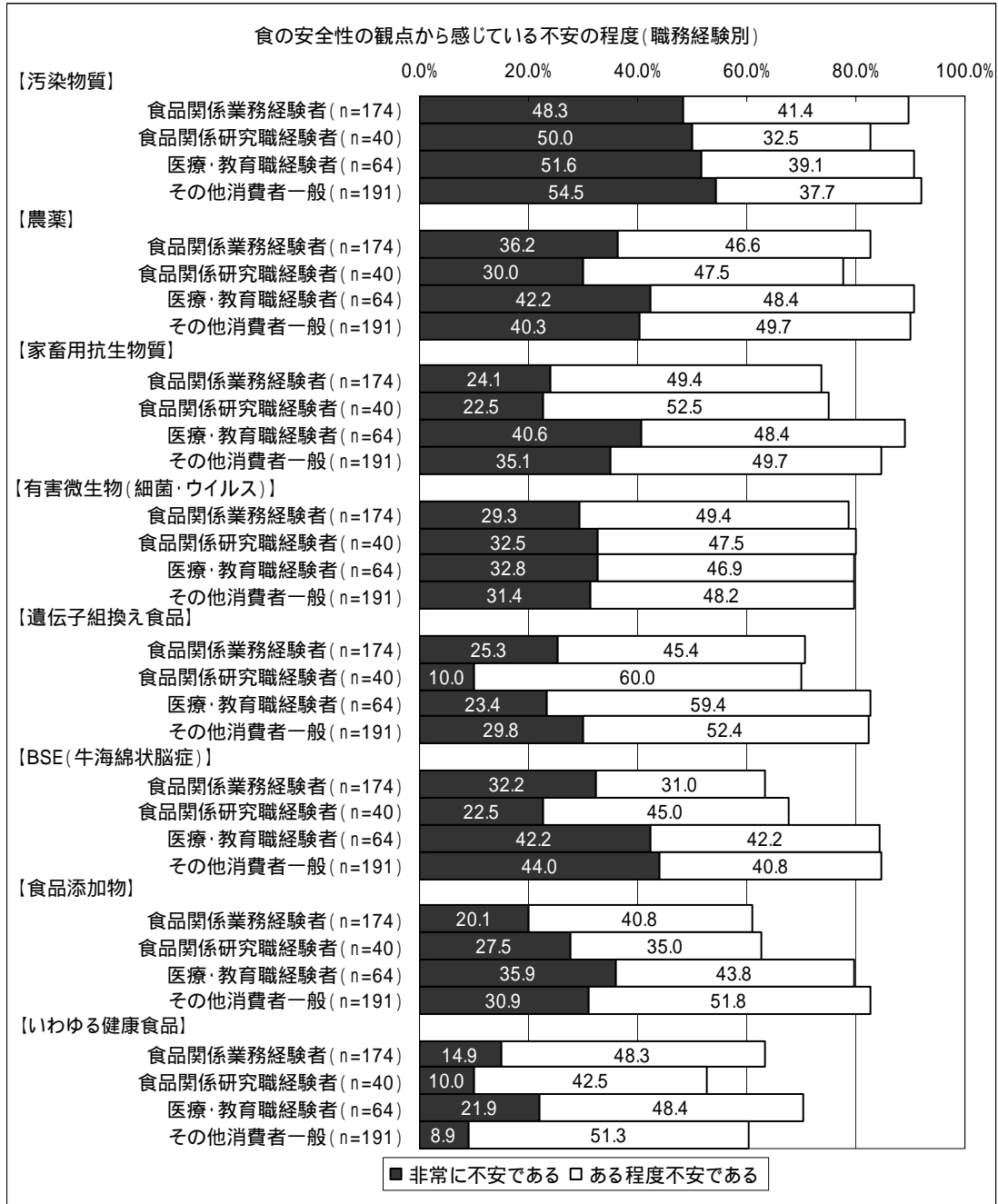
食の安全性の観点からみて、依然 9 割前後の人が「汚染物質」と「農薬」に不安

八つの要因について、食の安全性の観点から「非常に不安である」もしくは「ある程度不安である」と回答した人の割合をみると、「汚染物質」が 90.2%と最も高く、次いで「農薬」(86.4%)が高い。以下、「家畜用抗生物質」(80.4%)、「有害微生物(細菌・ウイルス)」(79.3%)、「遺伝子組換え食品」(77.0%)、「BSE(牛海綿状脳症)」(75.2%)、「食品添加物」(72.5%)、「いわゆる健康食品」(62.0%)の順で続いている。「汚染物質」については、「非常に不安である」とする人の割合が 51.4%に上っている。

16年5月調査との比較してみると、「汚染物質」や「農薬」について「非常に不安」とする人の割合は共に低下している。



職務経験区分別では、医療・教育職経験者とその他一般消費者で全般的に不安を感じる人の割合が高い傾向にあり、「農薬」、「家畜用抗生物質」、「遺伝子組換え食品」、「BSE(牛海綿状脳症)」、「食品添加物」などでは、職務経験区分で不安の程度に差がみられる。



3 食の安全性の観点から不安を感じる理由

問3 [問2で八つの要因のうち「非常に不安である」、「ある程度不安である」を選択した方のみ回答]
それぞれの要因ごとに不安を感じる理由を選んでください。(1つ選択)

不安理由としては、「汚染物質」では「過去に問題になった事例があり、不安」、「農薬」では「事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問」の指摘が最も多い

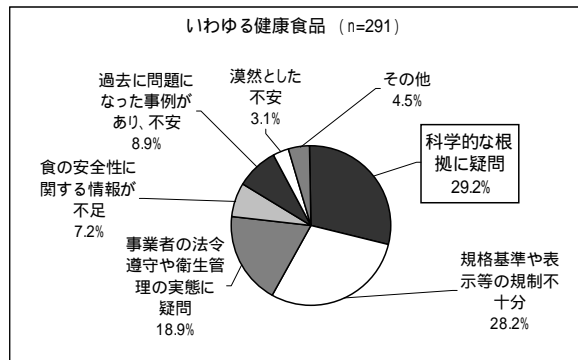
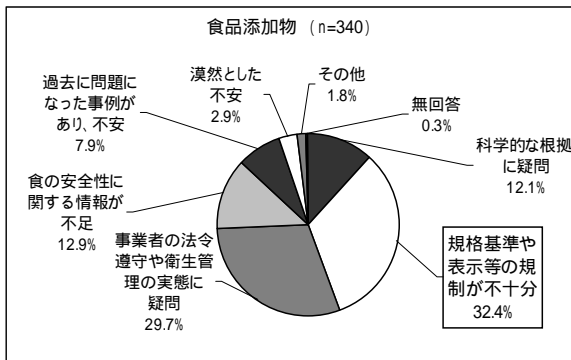
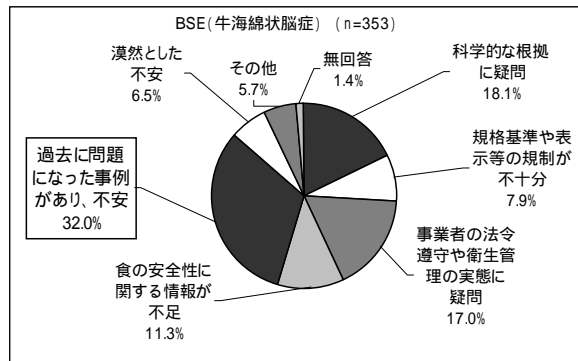
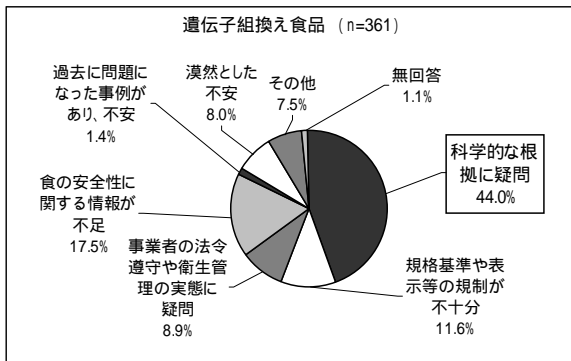
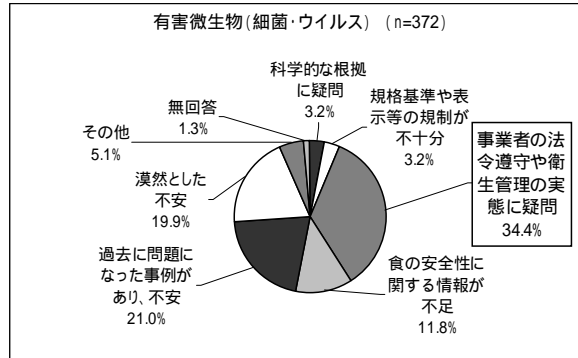
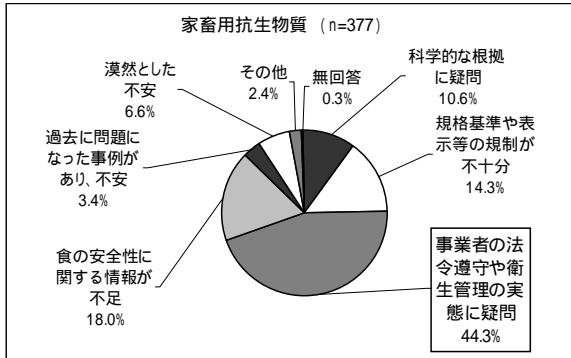
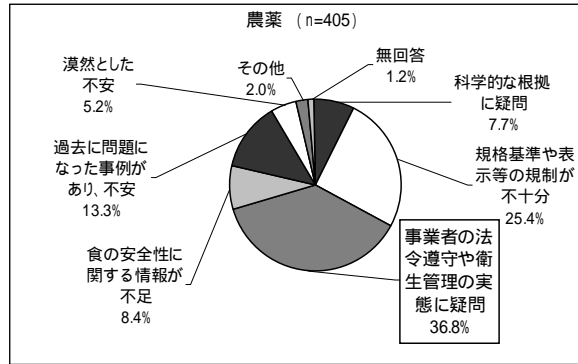
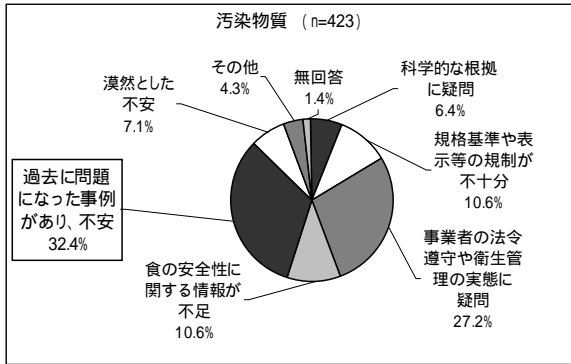
食の安全性の観点から「非常に不安である」もしくは「ある程度不安である」と回答した人について、要因ごとに不安を感じる理由をみると、「汚染物質」や「BSE(牛海綿状脳症)」では「過去に問題になった事例があり、不安」を、「農薬」や「家畜用抗生物質」、「有害微生物(細菌・ウイルス)」では「事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問」を、「遺伝子組換え食品」や「いわゆる健康食品」では「科学的な根拠に疑問」を、「食品添加物」では「規格基準や表示等の規制が不十分」をあげる人が、最も多くなっている。

最も多かった不安理由について16年5月調査と比較してみると、「いわゆる健康食品」においては「規格基準や表示等の規制が不十分」から「科学的な根拠に疑問」となった。

食品の安全性の観点から不安を感じる理由として最も多いもの

(%)

	今回調査		16年5月調査	
	不安理由	回答割合	不安理由	回答割合
汚染物質	過去に問題になった事例があり、不安	32.4	同左	35.4
農薬	事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問	36.8	同左	31.8
家畜用抗生物質	事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問	44.3	同左	41.5
有害微生物	事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問	34.4	同左	35.2
遺伝子組換え食品	科学的な根拠に疑問	44.0	同左	47.2
BSE	過去に問題になった事例があり、不安	32.0	同左	31.2
食品添加物	規格基準や表示等の規制が不十分	32.4	同左	33.3
いわゆる健康食品	科学的な根拠に疑問	29.2	規格基準や表示等の規制が不十分	38.5



第2 BSE及びvCJD、鳥インフルエンザについて

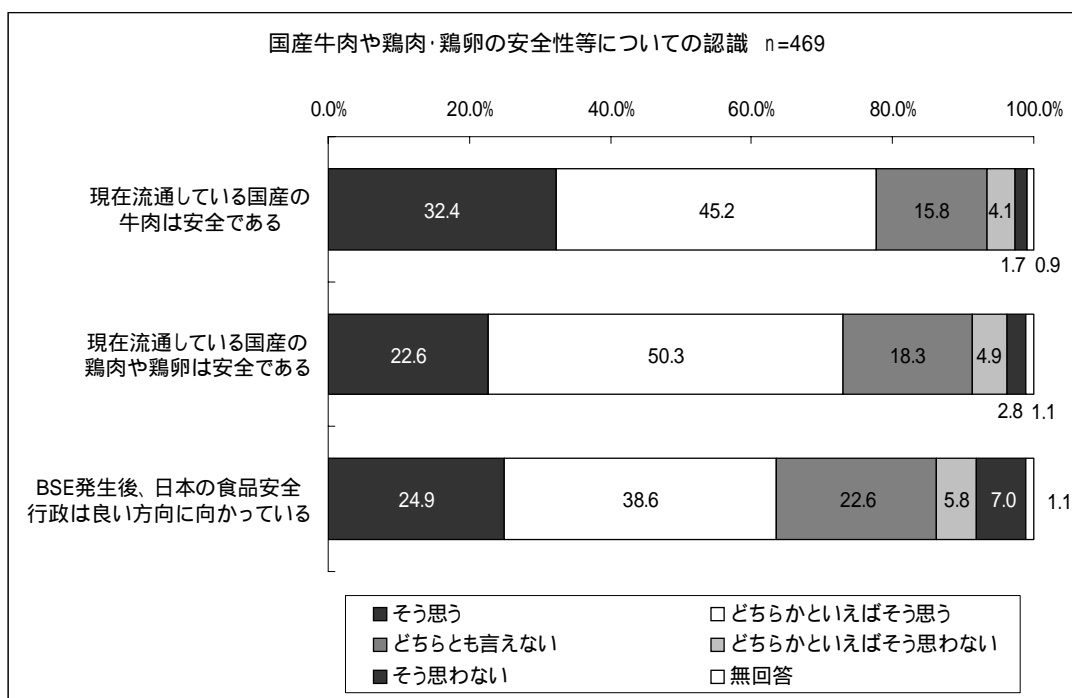
4 国産牛肉や鶏肉・鶏卵の安全性等についての認識

問4 以下にあげる三つの項目について、あなたのお考えはいかがですか。項目別に、最も近い選択肢を選んでください。(1つ選択)

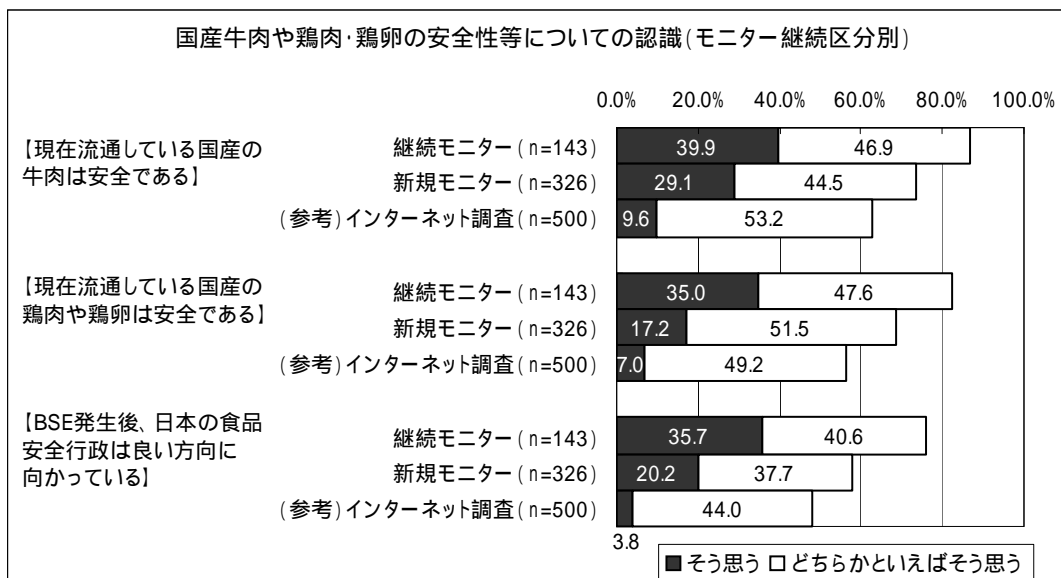
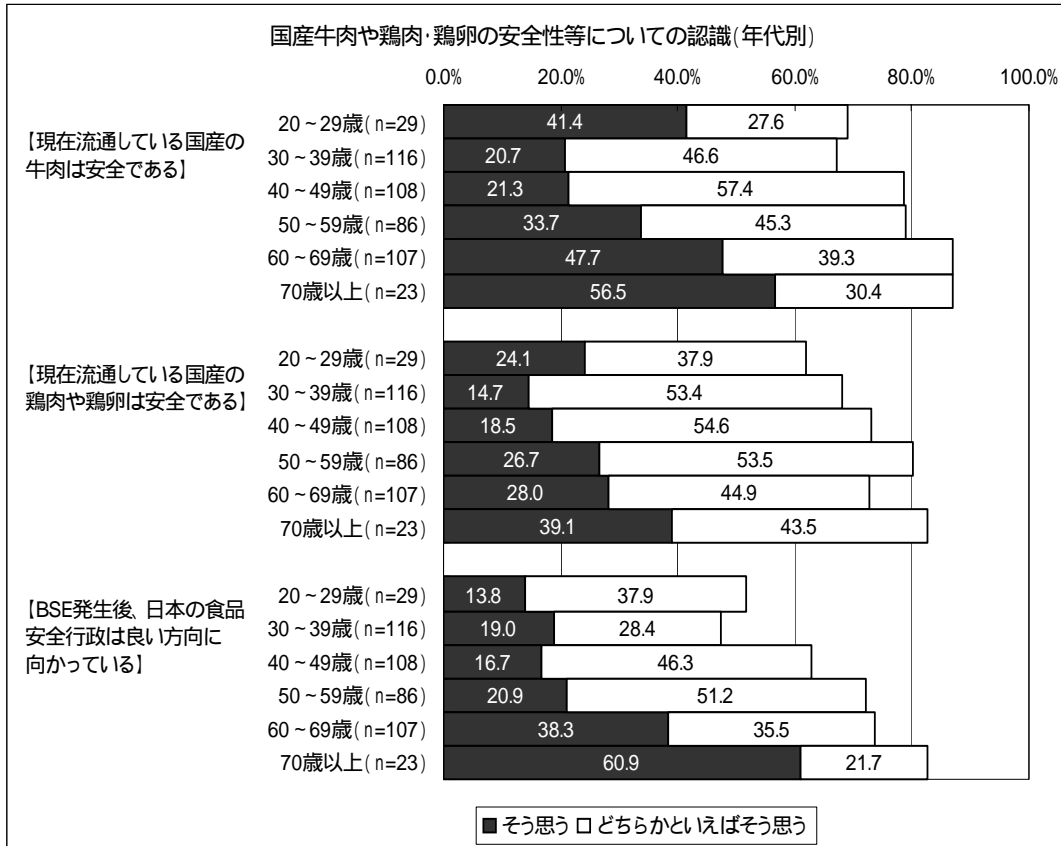
現在流通している国産の牛肉、鶏肉・鶏卵の安全性について、約4人に3人が概ね安全と認識

三つの項目について、「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答をした人の割合をみると、「現在流通している国産の牛肉は安全である」については77.6%、「現在流通している国産の鶏肉や鶏卵は安全である」については、72.9%であった。また、「BSE発生後、日本の食品安全行政は良い方向に向かっている」については、63.5%であった。

特に「現在流通している国産の牛肉は安全である」については、32.4%の人が「そう思う」としている。一方、「どちらかといえばそう思わない」もしくは「そう思わない」との否定的な回答割合は5.8%であった。



また、「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」とする肯定的な回答割合を年代区分別にみると、三つのいずれの項目も、概して高齢層で、その割合が高い。また、モニター継続区分別では継続モニターで、その回答割合が高い。参考までに一般の人を対象としたインターネット調査の結果と比べてみると、新規モニターの回答割合は、いずれの項目も1割程度上回っている。

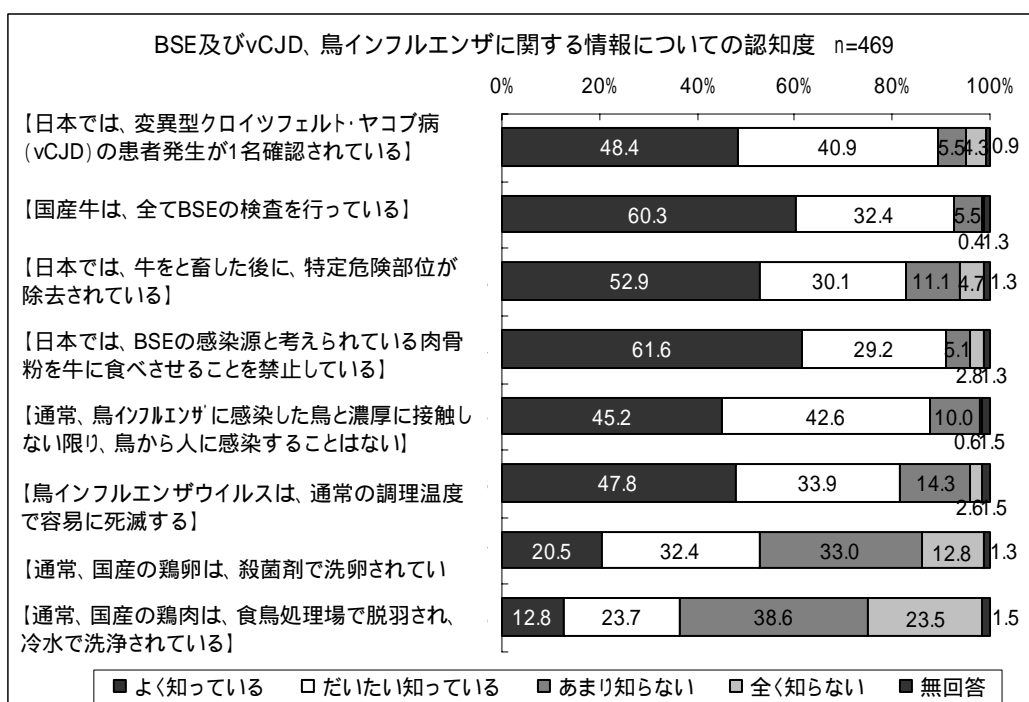


5 BSE 及び vCJD、鳥インフルエンザに関する情報についての認知度

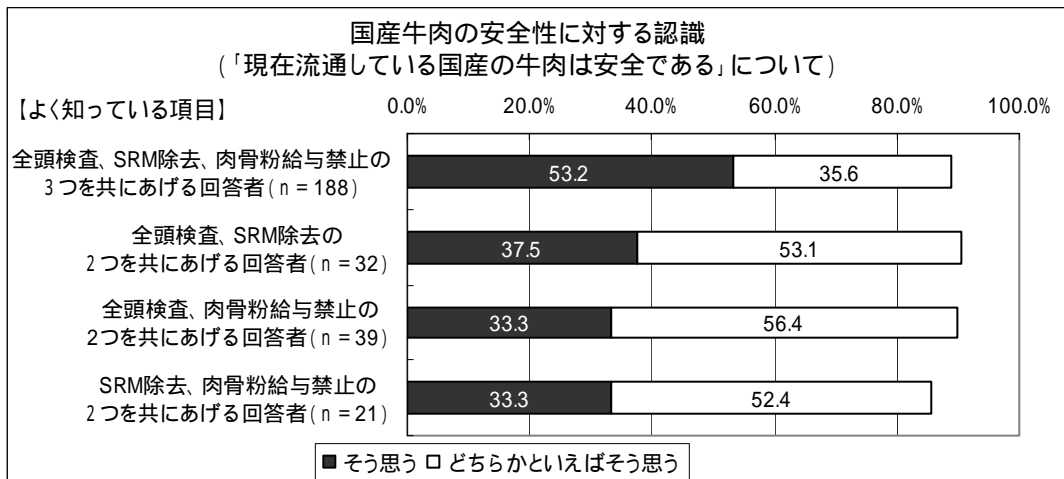
問5 以下にあげる八つの項目について、あなたはどの程度ご存じですか。項目別に、最も近い選択肢を選んでください。(1つ選択)

項目により差がみられるものの、概してBSE関連の項目について知っているとする回答割合は高い

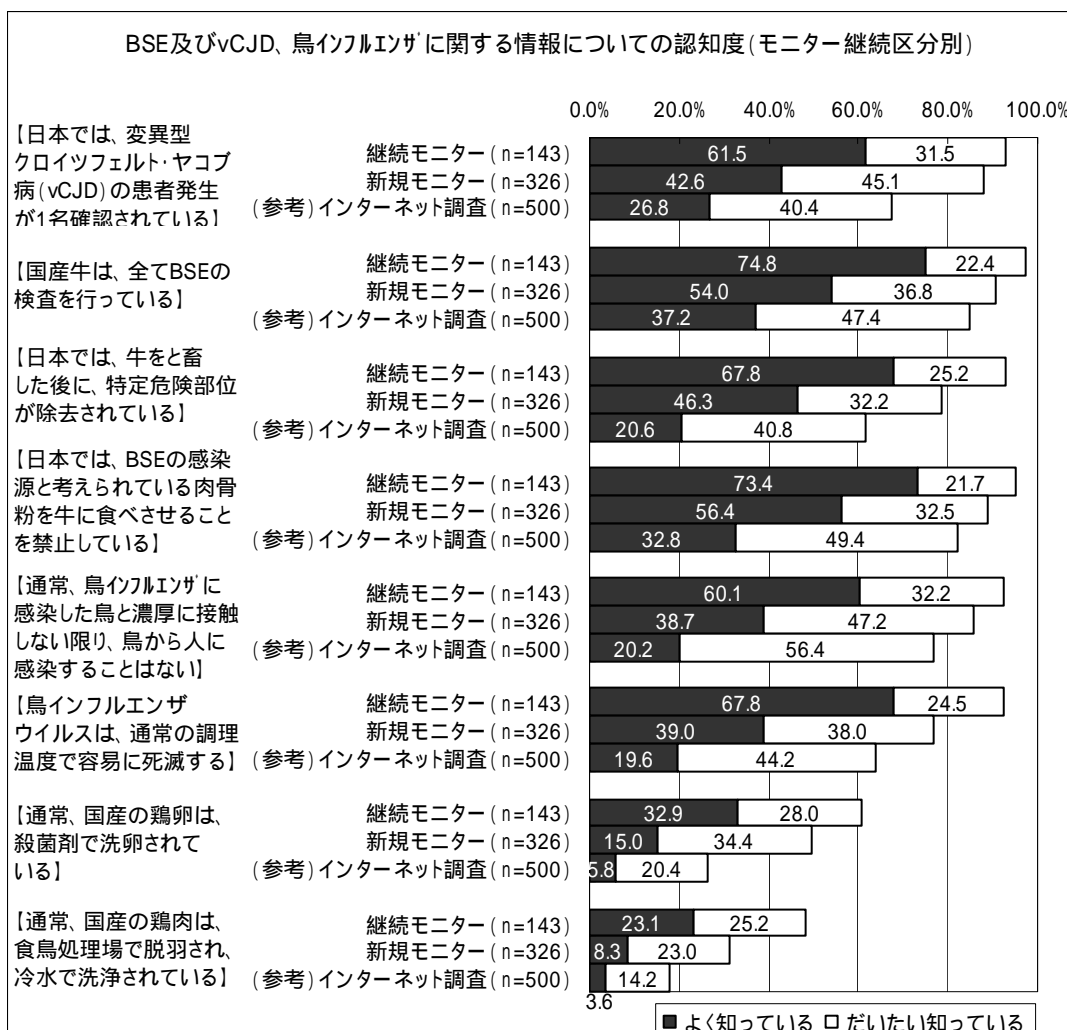
八つの項目について、「よく知っている」もしくは「だいたい知っている」と回答した人の割合をみると、「国産牛は、全て BSE の検査を行っている」(92.7%)が最も高く、次いで「日本では、BSE の感染源と考えられている肉骨粉を牛に食べさせることを禁止している」(90.8%)が高く、いずれも9割を超える人が知っているとしている。さらに「日本では、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の患者発生が1名確認されている」(89.3%)、「通常、鳥インフルエンザに感染した鳥と濃厚に接触しない限り、鳥から人に感染することはない」(87.8%)、「日本では、牛をと畜した後に、特定危険部位(人が食べるとBSE プリオンの感染の恐れがあるといわれている部分(SRM))が除去されている」(83.0%)、「鳥インフルエンザウイルスは、通常の調理温度で容易に死滅する」(81.7%)についても、8割以上の人認知している。一方、「通常、国産の鶏卵は、殺菌剤で洗卵されている」(52.9%)、「通常、国産の鶏肉は、食鳥処理場で脱羽され、冷水で洗浄されている」(36.5%)についての認知度は低いものとなっている。



上記の BSE に関する三つの項目(全頭検査、特定危険部位除去、肉骨粉給与禁止)については、「よく知っている」とする人の割合がいずれも5割を超えている。この三つの項目をいずれも「よく知っている」とする者(188名)について、「現在流通している国産の牛肉は安全である」という点に関して「そう思う」とする回答割合をみると、53.2%と5割を上回っている。



また、「よく知っている」もしくは「だいたい知っている」とする人の回答割合をモニター継続区分別でみると、全ての項目において継続モニターで、その回答割合が高い。参考までに一般の人を対象としたインターネット調査の結果と比べると、新規モニターの回答割合がいずれの項目も上回っているが、インターネット調査の結果も、各項目の認知度は新規モニターと同様の傾向にある。ただし、例えば、「日本では、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の患者発生が1名確認されている」と、「日本では、牛をと畜した後に、特定危険部位(人が食べるとBSEプリオンの感染の恐れがあるといわれている部分(SRM))が除去されている」の2つの項目については、新規モニターの回答割合よりも2割程度も低く、他の項目よりも相対的に回答割合が低い。



6 日本初のvCJD症例が確定したことについての食品安全委員会委員長談話の認知度

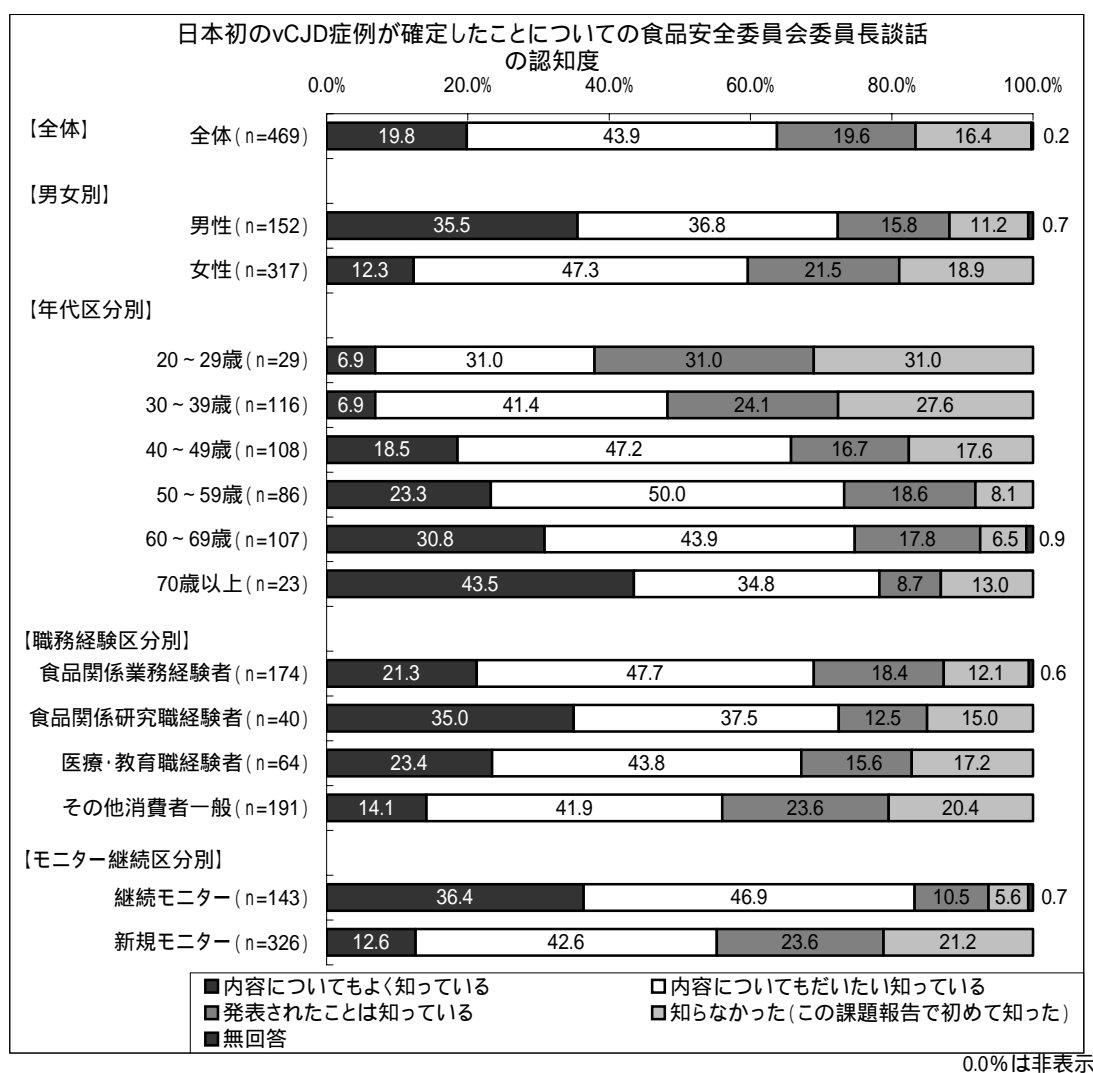
問6 本年2月4日、厚生労働省によって我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)患者の確定がなされた際、同日、食品安全委員会では、次のとおり委員長談話を発表しました。
あなたはこの談話が発表されたことを知っていましたか。(1つ選択)

約3人に2人は委員長談話の内容についても知っているという回答

我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)症例の確定がなされた際、食品安全委員会が談話を発表したことについて、「内容についてもよく知っている」(19.8%)、「内容についてもだいたい知っている」(43.9%)人を合わせると、約3人に2人は、談話の発表があったことだけでなく、内容についても知っているとしている。

一方、発表があったことも「知らなかった(この課題報告で初めて知った)」とする人は16.4%にとどまっている。

なお、新規モニターだけに限ってみても、8割近くの人が談話の発表を知っており、内容も知っているとする人は全体の5割以上を占めている。



7 食品安全委員会委員長談話の認知経路

問7 【問6で「内容についてもよく知っている」(回答対象者数=93人)、「内容についてもだいたい知っている」(同206人)または「発表されたことは知っている」(同92人)を選じた方(合計回答対象者数=391人)のみ回答]
あなたはこの談話について、どこで知りましたか。(複数回答可)

委員長談話の発表の認知経路は、「新聞又はテレビ」が約9割

委員長談話を発表したことについては、「新聞又はテレビ」で知った人が圧倒的に多く、全体の89.3%に達する。

次いで「食品安全委員会のホームページ等(食品安全委員会からの情報提供などを含む)」で知ったとする人も、全体の35.0%を占めている。ただし、モニター継続区別にみると、継続モニターと新規モニターで大きな差があるが、新規モニターでも、17.9%の人が食品安全委員会のホームページ等から知ったとしている。

(%)

	新聞又はテレビ	食品安全委員会のホームページ等(食品安全委員会からの情報提供などを含む)	国(食品安全委員会以外の国の機関のホームページ、電話等による問合せ等)	自治体(自治体の広報誌やホームページ、保健所・消費生活センター等への電話などによる問合せ等)	知人又は友人	消費者団体等の民間団体	小売店	その他
全体(n=391)	89.3	35.0	6.1	6.1	4.3	2.8	0.8	4.3
男女別								
男性(n=134)	85.1	44.0	11.2	6.7	3.0	1.5	0.7	6.0
女性(n=257)	91.4	30.4	3.5	5.8	5.1	3.5	0.8	3.5
年代区分別								
20～29歳(n=20)	85.0	15.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0
30～39歳(n=84)	83.3	31.0	6.0	3.6	6.0	2.4	0.0	4.8
40～49歳(n=89)	89.9	33.7	6.7	5.6	1.1	4.5	1.1	2.2
50～59歳(n=79)	91.1	44.3	7.6	5.1	6.3	1.3	1.3	5.1
60～69歳(n=99)	92.9	34.3	4.0	9.1	6.1	4.0	1.0	5.1
70歳以上(n=20)	90.0	45.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職務経験区分別								
食品関係業務経験者(n=152)	87.5	36.2	7.2	9.2	5.3	2.0	1.3	5.3
食品関係研究職経験者(n=34)	88.2	44.1	11.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
医療・教育職経験者(n=53)	88.7	32.1	7.5	9.4	7.5	1.9	0.0	7.5
その他消費者一般(n=152)	91.4	32.9	3.3	2.6	2.6	3.9	0.0	2.6
モニター継続区分別								
継続モニター(n=134)	88.1	67.9	6.0	5.2	3.7	3.0	0.7	1.5
新規モニター(n=257)	89.9	17.9	6.2	6.6	4.7	2.7	0.8	5.8

8 食品安全委員会委員長談話の内容についての理解度

問8 問6の食品安全委員会委員長談話の内容について、あなたはどの程度ご理解できましたか。(1つ選択)

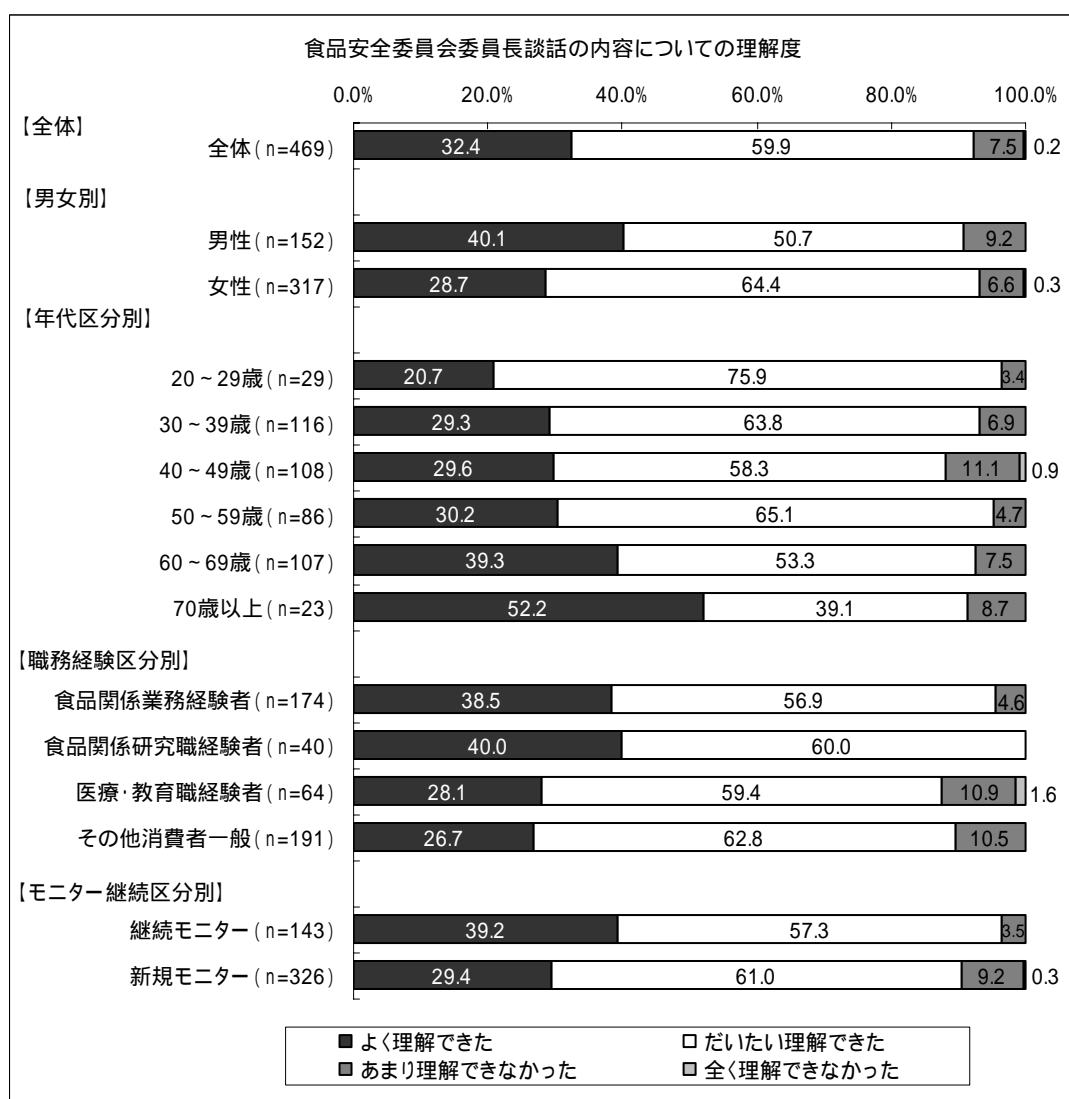
なお、今回初めて当該談話についてお知りになった方も、問6に記している談話をお読みになって御回答ください。

約9割の人が、委員長談話の内容について概ね理解

委員長談話の内容について、ほぼ3人に1人が「よく理解できた」(32.4%)としており、「だいたい理解できた」(59.9%)とする人を合わせると、約9割の人が理解できたとしている。

一方、「あまり理解できなかった」とする人の回答割合は7.5%、「全く理解できなかった」とする人の回答割合は0.2%にとどまっている。

また、回答割合を属性別にみると、「よく理解できた」とする回答割合に若干差もみられるものの、「だいたい理解できた」との回答も合わせて理解できた人に着目すると、ほとんど全ての階層で9割を超えている。



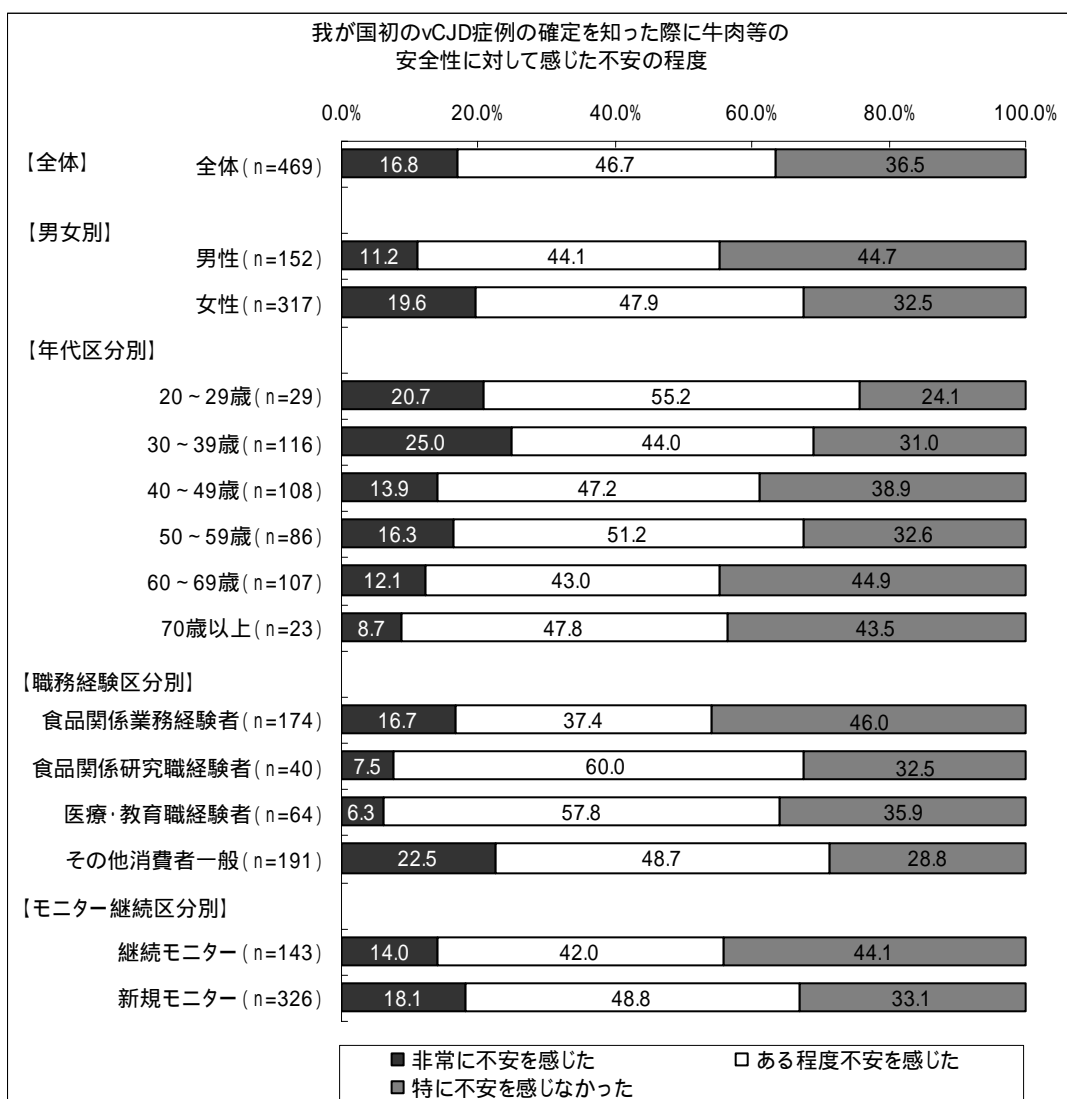
9 我が国初の vCJD 症例の確定を知った際に牛肉等の安全性に対して感じた不安の程度

問9 本年2月4日の厚生労働省による我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)患者が確定されたことを知った時(今回初めて知った場合も含む)、現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性について、あなたは不安を感じましたか。(1つ選択)

我が国初のvCJD症例の確定を知った際、現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性について、約3人に2人が不安を感じたと指摘

我が国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)症例が確定されたことを知った時、現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性について、16.8%と2割弱の人が「非常に不安を感じた」としてしている。さらに46.7%と半数近くの人が「ある程度不安を感じた」としており、両者を合わせると63.5%の人が不安を感じたとしている。

また、「非常に不安を感じた」もしくは「ある程度不安を感じた」とする回答割合を年代区分別にみると、概して若い年齢層でその割合が高い。



10 食品安全委員会委員長談話の内容を知っての牛肉等の安全性に対する不安感の変化

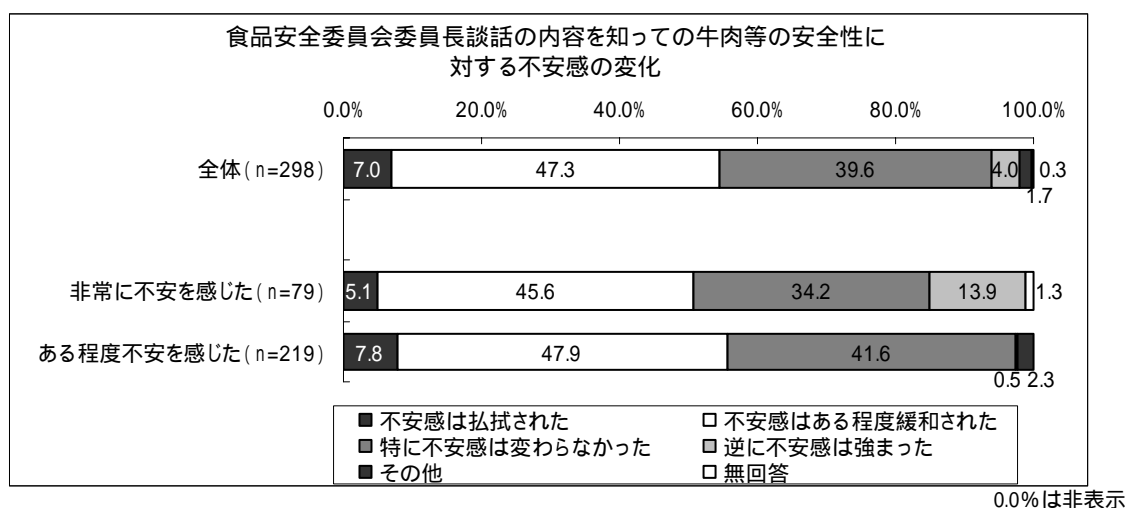
問10 【問9で「非常に不安を感じた」(回答対象者数 = 79人)または「ある程度不安を感じた」(同 = 219人)を選択した方(合計回答対象者数 = 298人)のみ回答]

その感じた不安感が、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)患者の確定がなされた同日に発表された問6の食品安全委員会委員長談話の内容を知って(今回初めて知った場合も含む)、どのように変化しましたか。(1つ選択)

委員長談話の内容を知って半数以上の人の不安感が減少

我が国初のvCJD症例の確定を知った時、現在の対策のもと流通している牛肉等の安全性について不安を感じた人のうち、委員長談話の内容を知って、その不安感が「払拭された」もしくは不安感が「ある程度緩和された」とする人の割合は54.3%であり、半数以上の人不安感が減少したとしている。

一方、全体の39.6%の人が「特に不安感は変わらなかった」としている。また、vCJD症例の確定を知った時に「非常に不安を感じた」人を中心に、全体の4.0%の人が「逆に不安感は強まった」としている。



11 食品安全委員会委員長談話に対する評価

問 11 問6の食品安全委員会委員長談話について、あなたはどのように思いますか。(1つ選択)

委員長談話については、約3人に2人が「談話の発表時期、内容ともに適切」と評価

食品安全委員会委員長談話について、「談話の発表時期、内容ともに適切」との回答割合が65.2%と、肯定的な評価が最も高かった。

また、「談話の発表時期は適切だが、内容は不適切」との回答割合が22.6%、「談話の内容は適切だが、発表時期は不適切」との回答割合が4.3%であった。

これらを合わせると、談話の発表時期については9割近くの人が、談話の内容については7割の人が適切としている。なお、談話の内容について不適切とする人の割合は25.6%であった。

(%)

	談話の発表時期、内容ともに適切	談話の発表時期は適切だが、内容は不適切	談話の内容は適切だが、発表時期は不適切	談話の発表時期、内容ともに不適切	そもそも談話の発表に疑問	無回答
全体 (n=469)	65.2	22.6	4.3	3.0	3.8	1.1
男女別						
男性 (n=152)	65.1	24.3	2.6	3.3	3.3	1.3
女性 (n=317)	65.3	21.8	5.0	2.8	4.1	0.9
年代区分別						
20～29歳 (n=29)	65.5	27.6	3.4	3.4	0.0	0.0
30～39歳 (n=116)	56.0	29.3	6.9	1.7	4.3	1.7
40～49歳 (n=108)	64.8	20.4	5.6	3.7	4.6	0.9
50～59歳 (n=86)	65.1	24.4	1.2	1.2	5.8	2.3
60～69歳 (n=107)	72.0	17.8	3.7	4.7	1.9	0.0
70歳以上 (n=23)	82.6	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0
職務経験区分別						
食品関係業務経験者 (n=174)	67.2	21.8	3.4	1.7	4.0	1.7
食品関係研究職経験者 (n=40)	67.5	30.0	2.5	0.0	0.0	0.0
医療・教育職経験者 (n=64)	60.9	23.4	4.7	4.7	6.3	0.0
その他消費者一般 (n=191)	64.4	21.5	5.2	4.2	3.7	1.0
モニター継続区分別						
継続モニター (n=143)	70.6	21.7	4.2	1.4	1.4	0.7
新規モニター (n=326)	62.9	23.0	4.3	3.7	4.9	1.2

12 食品安全委員会談話の発表時期、内容等に関して

問 12 [問 11 で「談話の発表時期は適切だが、内容は不適切」(回答対象者数 = 106 人)、「談話の内容は適切だが、発表時期は不適切」(同 20 人)、「談話の発表時期、内容ともに不適切」(同 14 人)、「そもそも談話の発表に疑問」(同 18 人)を選択した方(合計回答対象者数 = 158 人)のみ回答]

問 6 の食品安全委員会談話について御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。(自由記述)

食品安全委員会談話の発表時期、内容等に関して、不適切などと回答した人から寄せられた意見等(140 名・自由記述)の概要については以下のとおり。(個別の意見等については別添参照)

内容が不適切とした人の主な指摘

(表現)

リスクが高まらないとの表現など用語の使い方や語尾が回りくどく、何が言いたいのか分かりにくいとの指摘があった。

また、「有力」、「ほとんど」、「考えられております」といった表現が曖昧で不安を感じるとの指摘が目立った。

(理解のしやすさ、妥当性など)

談話は簡潔に表現されており、かなり知識がある人には適切であるが、多くの人にとってはやさしい補足説明が必要ではないかとの指摘があった。具体的には、英国滞在時に感染した可能性、日本の BSE 対策の具体的な内容など、結論に至る理由について、もっと具体的な説明が必要ということなどであった。

また、英国で感染したとされる科学的根拠が不明なことから疑問が残るとの指摘や、科学的データの提示がなく、信頼性に欠けるといった指摘もあった。

このほか、リスクを数字で示すべきなどの指摘や、そもそも行政に対して不信感をぬぐえないといった指摘もあった。

(受け止め方)

断定していない言葉があるので不安は変わらないとの指摘や、今後の施策が示されると安心感が高まるといった指摘があった。

発表時期が不適切とした人の主な指摘

vCJD 症例が確定した同じ日に安心だと発表することに疑問を感じるとか、発表した時期が早すぎ、政治的配慮が働いたと感じたなどの指摘があった。

第3 食品安全委員会のホームページ及び季刊誌について

【ホームページについて】

13 食品安全委員会のホームページ閲覧状況

問 13 あなたは食品安全委員会のホームページをどの程度ご覧になっていますか。(1つ選択)

委員会のホームページを約3人に2人は見たことがあり、約3人に1人は月に数回以上閲覧

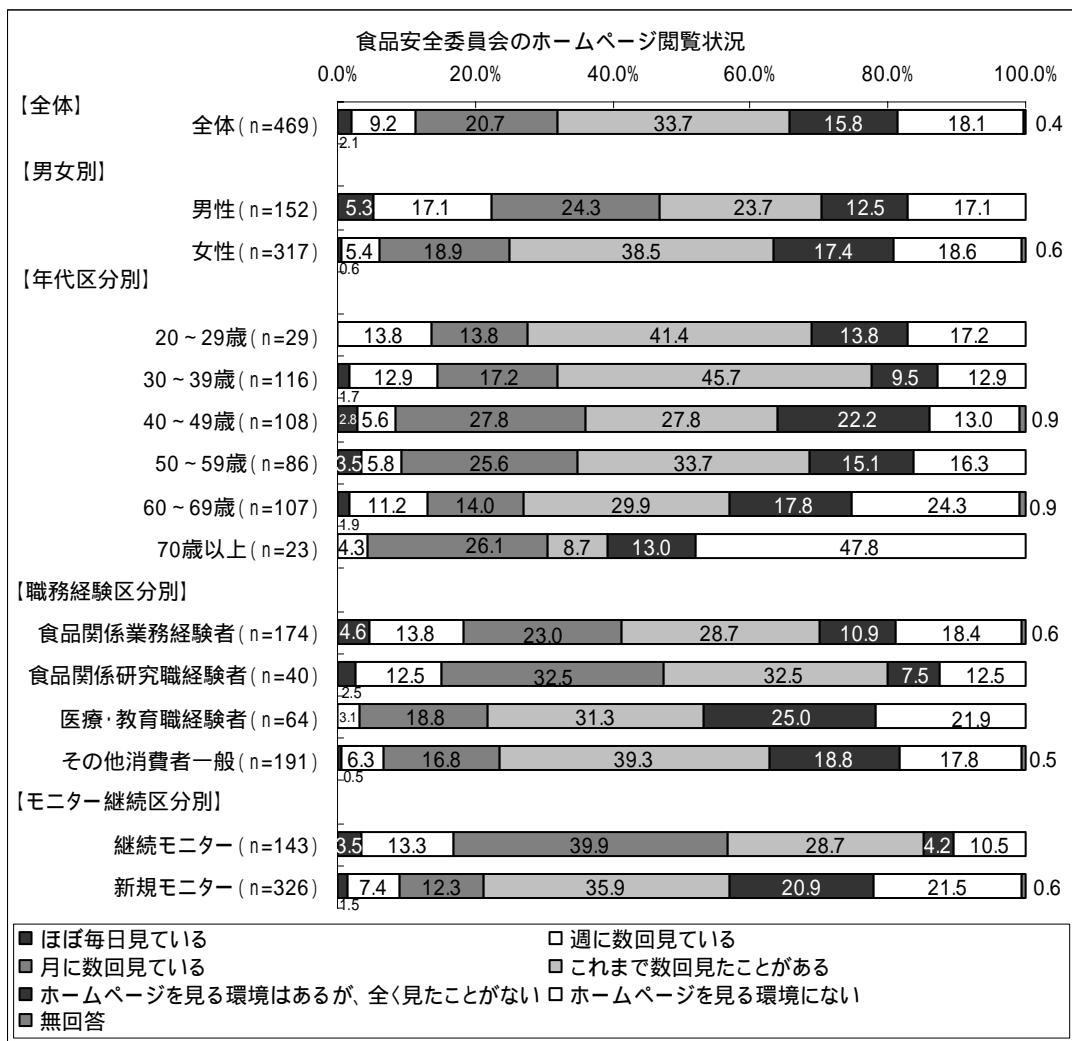
食品安全委員会のホームページを、「ほぼ毎日見ている」(2.1%)、「週に数回見ている」(9.2%)、「月に数回見ている」(20.7%)の三者を合わせると、約3人に1人は月に数回以上見ているとしている。

さらに、「これまで数回見たことがある」(33.7%)とする人を加えると、約3人に2人が今までに複数回見ていることとなる。

なお、「ホームページを見る環境にない」とする人の割合は、18.1%であった。

また、70歳以上の人では、「ホームページを見る環境にない」人が半数近くを占めているが、ホームページを見ることのできる人は、他の年齢層と比べ閲覧頻度が高い。

毎月数回以上見ている人の回答割合を属性別にみると、男女別では男性で、職務経験区分別では食品関係研究職経験者、食品関係業務経験者で、他の区分よりもその割合が高い。



14 食品安全委員会のホームページについての評価

問 14 [問 13 で「ほぼ毎日見ている」(回答対象者数 = 10 人)、「週に数回見ている」(同 43 人)、「月に数回見ている」(同 97 人)、「これまで数回見たことがある」(同 158 人)、「ホームページを見る環境はあるが、全く見たことがない」(同 74 人)を選択した方(合計回答対象者数 = 382 人)のみ回答]
 ホームページを御覧いただき、以下の五つの項目それぞれについて、あなたの評価を選んでください。(1つ選択)

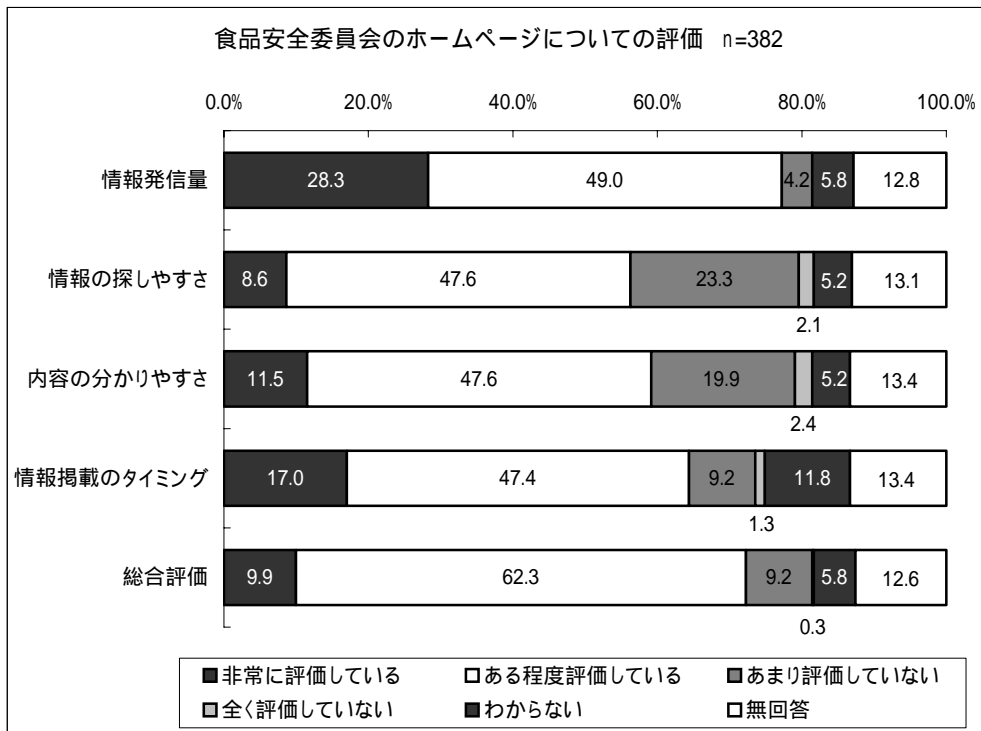
ホームページについて、情報発信量を中心に総合評価として7割強の人が概ね評価

食品安全委員会のホームページについて5つの側面から評価してもらったところ、「非常に評価している」もしくは「ある程度評価している」とする回答割合は、「情報発信量」が77.3%、「情報掲載のタイミング」が64.4%、「内容の分かりやすさ」が59.1%、「情報の探しやすさ」が56.2%であり、特に「情報発信量」については、28.3%の人が「非常に評価している」としている。

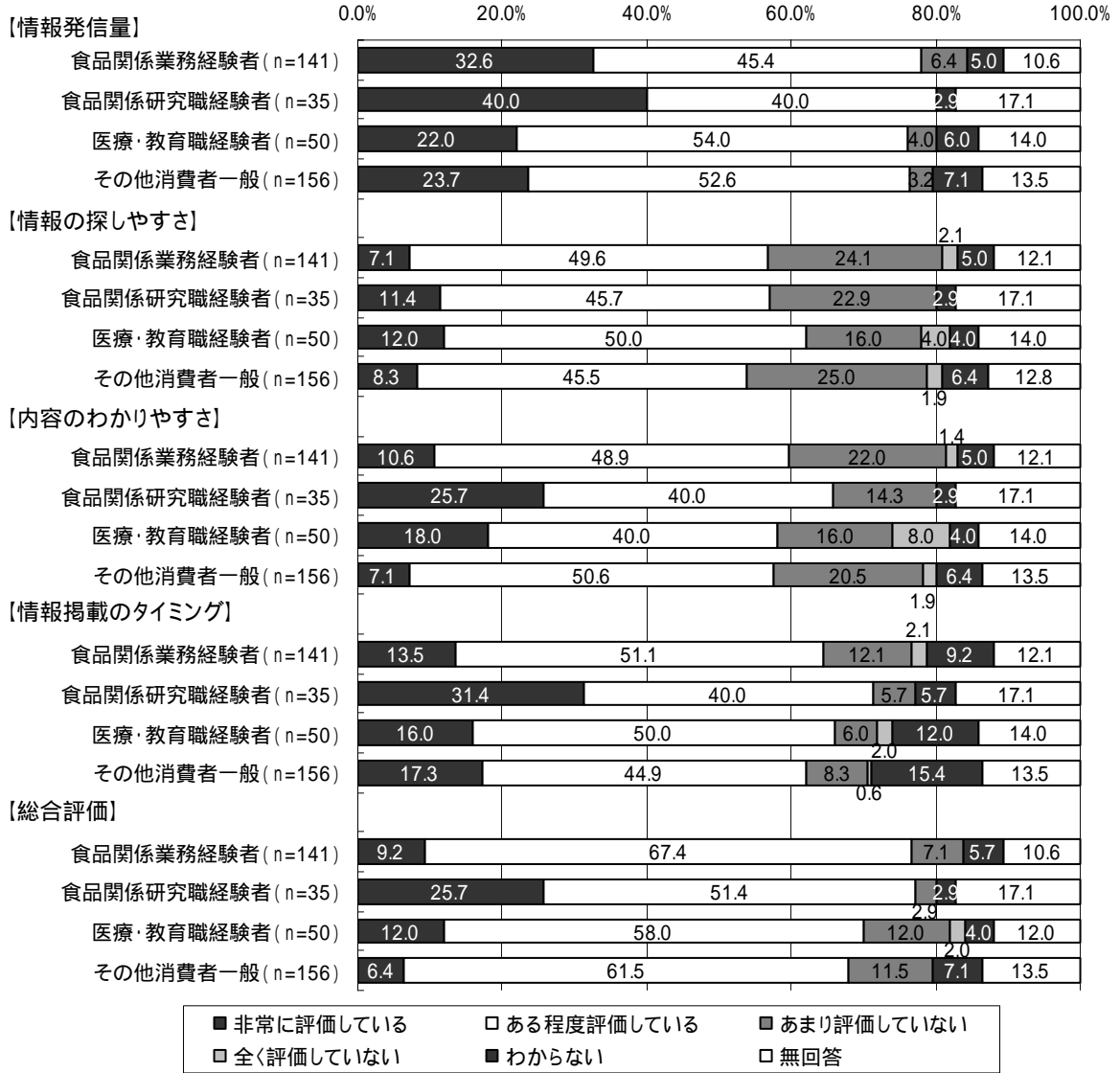
一方、「情報の探しやすさ」、「内容の分かりやすさ」については、23.3%、19.9%の人が「あまり評価していない」としている。

これらの結果、「総合評価」としては、72.2%の人が概ね評価している。

また、職務経験区分別にみると、食品関係研究職経験者では「総合評価」として25.7%の人が「非常に評価している」など、全般的に他者と比べて「非常に評価している」とする回答割合が高い。



食品安全委員会のホームページについての評価(職務経験別)



0.0%は非表示

15 食品安全委員会のホームページについての意見等

問 15 食品安全委員会のホームページについて、御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。(自由記述)

食品安全委員会のホームページについて寄せられた意見等(223名・自由記述)の概要については以下のとおり。(個別の意見等については別添参照)

内容の分かりやすさなど

専門的な用語や難しい表現が多く、一般消費者にとってはわかりにくいとする指摘や、全体的なイメージも堅苦しく、親しみやすさに欠けるといった指摘が多く寄せられた。

一方、とても分かりやすくタイムリーな情報、解説が提供されているといった全般的な評価とともに、専門家にも初心者にも読むことができる編集となっているなど、用語や説明も理解しやすいといった評価も寄せられている。

これらの両面の見方の中で、一般消費者向けと専門家向けに分けるなど、専門的な知識のない人でも取り付きやすいものしたらどうかといった指摘があった。

情報発信量、情報掲載のタイミング、情報の探しやすさ

情報量は多く委員会の動きもよくわかるといった評価の一方、科学的データや子供向けの情報の充実、意見交換会の概要・委員会等の議事録の迅速な掲載などについての指摘もあった。

他方、情報検索について項目別に整理されていて探しやすいなどの指摘がある一方、あまり利用頻度の高くない人にとってはどこに情報があるのか分かりづらいなどの指摘が目立った。この関連では、トップページにおける「一般の方向けの解説をお探しの方へ」や「キッズボックス」、「食の安全ダイヤル」などのコーナーをより目立つようにしたり、日頃注目してみてもらいたい情報をリストアップしてはどうかといった指摘があった。

見やすさ

トップページで文字が多く、見づらいという指摘とともに、文字の大きさが小さいとの指摘が多かった。また、レイアウト、デザインについて、イラストや図表をもっと取り入れてはどうかなど、様々な指摘が寄せられた。

掲載されている情報がPDFファイルのものが多く、表示されるまでの時間がかかり不便であるとか、一部でPDFファイルは表示されないという指摘もあった。

その他

今後見る回数を増やしたい、初めて見たが勉強になったといった指摘があったほか、ホームページの存在をもっと広く多くの人に知らせる必要があるとの指摘があった。

一方、ホームページを見る環境にない人への配慮を望む指摘もあった。

【季刊誌『食品安全』について】

16 季刊誌『食品安全』についての評価

問 16 食品安全委員会では、委員会が取り組む食品健康影響評価(リスク評価)についてできるだけわかりやすく情報発信し、食の安全性について「共に考える」一助とすることを目的として、季刊誌『食品安全』を平成 16 年度より発行しています。

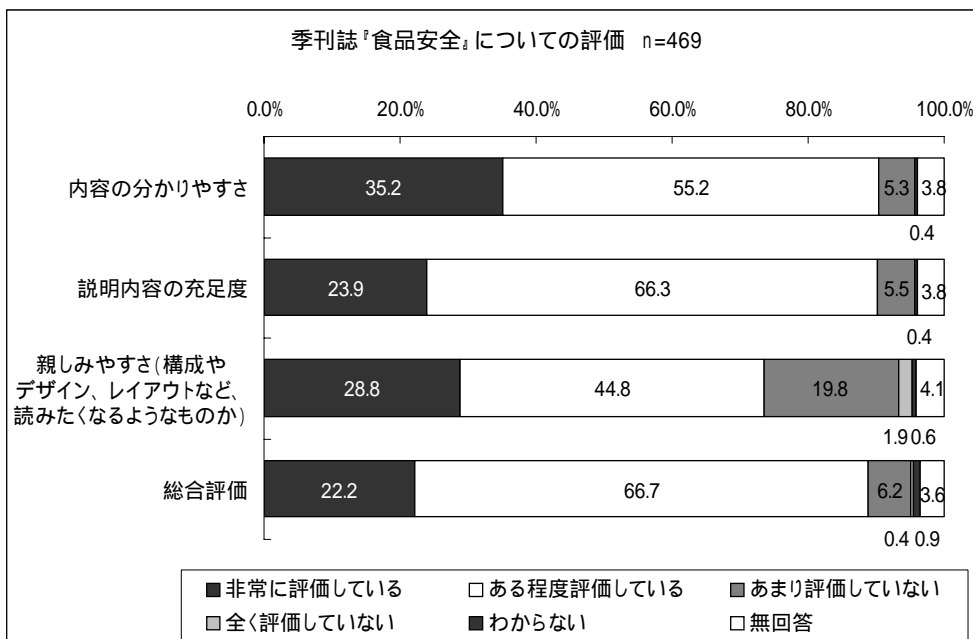
これまでにお送りした季刊誌『食品安全』についてお聞きます。なお、平成 17 年度に初めて食品安全モニターに依頼された方で、インターネットを御利用できる方については、既刊のものをホームページに掲載しておりますので、こちらも御覧になった上で、以下にあげる四つの項目それぞれについて、あなたの評価を選んでください。(1つ選択)

季刊誌『食品安全』については、「内容の分かりやすさ」をはじめ、総合評価として9割近くの人が概ね評価

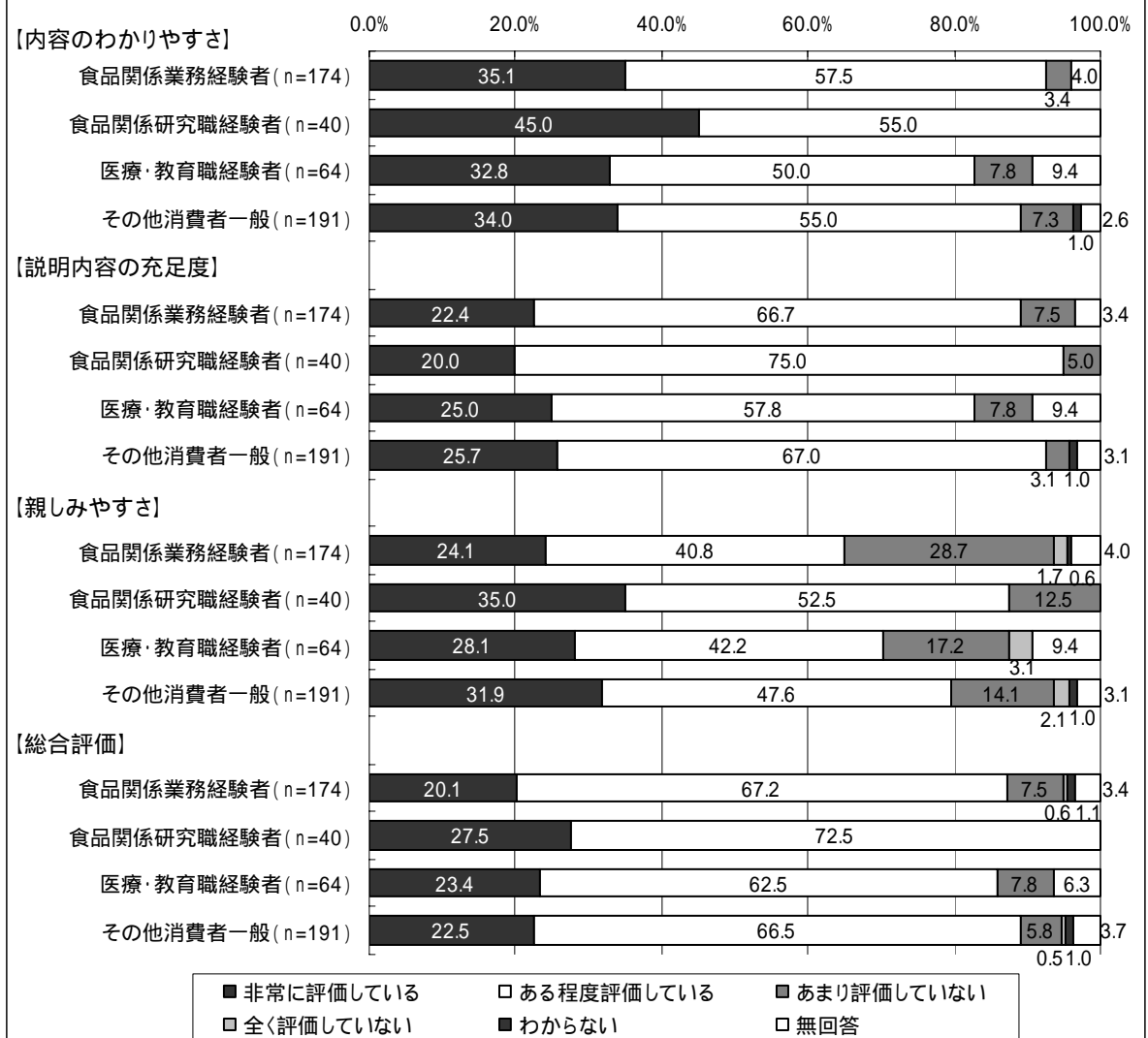
季刊誌『食品安全』を4つの側面から評価してもらったところ、「非常に評価している」もしくは「ある程度評価している」とする回答割合は、「内容の分かりやすさ」が 90.4%、「説明内容の充足度」が 90.2%、「親しみやすさ(構成やデザイン、レイアウトなど、読みたくなるようなものか)」が 73.6%であり、特に「内容のわかりやすさ」については、35.2%の人が「非常に評価している」としている。

「親しみやすさ(構成やデザイン、レイアウトなど、読みたくなるようなものか)」については、「非常に評価している」が 28.8%となっている一方で、「あまり評価していない」との回答も 19.8%となっており、評価が分かれている面がある。

これらの結果、「総合評価」としては、88.9%と9割近くの人が概ね評価しており、全体の 22.2%の人が「非常に評価している」としている。



季刊誌『食品安全』についての評価(職務経験別)



0.0%は非表示

17 季刊誌『食品安全』についての意見等

問 17 季刊誌『食品安全』について、御意見があれば、回答欄にできるだけ具体的に記入してください。(自由記述)

季刊誌『食品安全』について寄せられた意見等(293名・自由記述)の概要は以下のとおり。
(個別の意見等については別添参照)

内容の分かりやすさなど

図解が多く分かりやすいとか、情報量・説明内容も適切であるとか、時々話題のテーマが取り上げられ、読みやすくてよい、参考になるといった指摘が多かった。キッズボックスについての評価も高かった。

一方、文章が多く、また専門的なところもあり、一般消費者には難しいのではないかといった指摘もあった。そこで簡潔な文章による解説や簡単な要約が重要との指摘があった。

また、身近な具体例など理解を助ける記載、事態の発生を先取りした情報の発信などを期待する指摘もあった。

見やすさ・読みやすさなど

色使いや図表などから分かりやすいとの指摘があった一方、文字の大きさが小さく、高齢者にとっては読みにくいといった指摘が多かった。

また、太字や色つき文字、アンダーラインなどを使用して重要なポイントを強調するなどの工夫も必要といった指摘もあった。

季刊誌の広報その他

季刊誌の周知(PR)や、一般の人の目に触れる機会の確保が必要との意見が多かった。具体的には、市役所、保健所、消費者センター、学校、図書館等の公共施設などで閲覧できるようにしてはどうかなどの指摘があった。

また、発行回数、ページ数が少ないので隔月発刊にしてはどうかとの指摘や、キッズボックスについては、子供向けの別冊子として再編集したらどうかとの指摘もあった。

【自由記述回答】(問 12、15、17 関係)

注) 職務経験区分の表記については、次による。

- 『業務』…… 食品関係業務経験者、『研究』…… 食品関係研究職研究者、
- 『医教』…… 医療・教育食経験者、『その他』…… その他消費者一般

(問 12)

食品安全委員会談話の発表時期、内容等に関して

「談話の発表時期は適切だが、内容は不適切」と選択した方

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	20代	・内容(情報)提供はよいのですが、「有力」とか「考えております」という表現では不安。もっと発生の過程を付け加えるべき。
		30代	・以下の点が不明な記述であるため不適切と考えます。 何によってvCJDが発生するリスクなのか。 リスクは大小、高低という表現が適切であり、「排除」を用いるのであればその対象(要因など)を記述する必要があります。修正するとすれば「BSEの異常プリオンたんぱく質の摂取によるvCJD発生リスクの要因は大部分排除されている」。
			・「承知しています」「考えています」は役所言葉であり、責任逃れのために使う言葉と感じてしまう、といった意見を周囲から耳にした。断言してほしいという潜在的要望があると考えられる。
			・英国でBSEが問題になったときの状況と、日本でBSEが問題になったときの状況が、具体的にどの程度違うのか、わかりやすく数字で示してほしい。
			・談話1と2の関わりがよく理解できない人にとっては、リスクは排除されているのになぜvCJDが発生したのか、理解できないと思われます。補足説明が必要と感じました。
		40代	・「有力」「ほとんど」「考えております」等の表現があいまいで不安を感じる。
			・発表の内容は断定的ではなく推測の域での発表ですが、その根拠についてさらに科学的なデータを示す必要があったと思います。特に疑問に思ったことは、発症のメカニズムが十分解明されていないと聞いていますので、英国での短い滞在で発症するならその他の長期英国滞在者のリスクは高いにも関わらず、なぜ発症しないのか疑問です。
			・言葉遣いが堅く、学者的あるいはお役所的。もう少し一般国民にわかりやすく平易にできないか。
			・発表内容に「ほとんど」等の抽象的な文言を使用すると不安をぬぐえない要因になる。
			・安全を脅かすリスクが払拭されておらずあいまいなので、談話という発表とは違うものがよかったのではないのでしょうか。
	・英国滞在期間が短時間であり、有力とした根拠に説得力が弱い。「リスクは高まらない」との表現は何が言いたいのか不明である。		
	50代	・個人としての食品安全委員会委員長(以下委員長)は十分信頼できる方として敬意を払っているが、行政官として発表される談話は、冷静な目で見てほしい。一般に委員長談話となると、行政側は国民が権威の前に100%信頼するものと捉えられるが、ここに大きな誤解があります。国民は真実を知りたいと思いますが、行政は常に真実を話すものではありません。	
		・私は内臓肉、いわゆるホルモンが好きです。0-157、BSE問題で、これらが入手困難になっている。専門店に行けば入手できる。疑わしい危険部位を売らない、廃棄することがBSE対策ならば問題ではないのでしょうか。	
		・たとえ安全でも日本全国にPRを十分に。	
		・特定危険部位さえ除けば、牛肉等を食べてもリスクは高まらないとしているが、感染実験のデータが十分蓄積されていない現時点では断定はできないのではないだろうか。	
		・英国滞在経験者等の調査について触れれば感染拡大不安についてある程度緩和できたと思う。	
		・安全であると表現して早く消費者を安心させるべきである。10億分の1の確率とか20億分の1の確率のリスクまで論議しているのでは世の中何もできない。無駄な税金を使うべきではない。	
		・「英国滞時に感染した可能性」とのコメントに対して、ある程度の英国国内の実態についての説明が必要であったと考える。	
		・国産牛あるいは輸入食品による国内感染について否定はしていないが、英国で感染したような印象が強い。	
	60代	・結論(推定)に至る根拠、経過等、具体的によりわかりやすく説明されたい。	
・文面はこれでよいが、内容が簡潔化されている分、含みも多い。具体的な補足を設けないと十分な理解は得られない。独善に浸らないようにするべきだと思う。			
・「・・・感染した可能性・・・」とか「・・・のほとんどが排除されている」「・・・リスクは高まらないと考えております・・・」という表現が、リスクがゼロになったというわけではないので、委員長談話としては不適切と考えるわけです。			
・安全であると表現して早く消費者を安心させるべきである。10億分の1の確率とか20億分の1の確率のリスクまで論議しているのでは世の中何もできない。無駄な税金を使うべきではない。			
・「英国滞時に感染した可能性」とのコメントに対して、ある程度の英国国内の実態についての説明が必要であったと考える。			
・国産牛あるいは輸入食品による国内感染について否定はしていないが、英国で感染したような印象が強い。			
・結論(推定)に至る根拠、経過等、具体的によりわかりやすく説明されたい。			
・文面はこれでよいが、内容が簡潔化されている分、含みも多い。具体的な補足を設けないと十分な理解は得られない。独善に浸らないようにするべきだと思う。			
・「・・・感染した可能性・・・」とか「・・・のほとんどが排除されている」「・・・リスクは高まらないと考えております・・・」という表現が、リスクがゼロになったというわけではないので、委員長談話としては不適切と考えるわけです。			
・安全であると表現して早く消費者を安心させるべきである。10億分の1の確率とか20億分の1の確率のリスクまで論議しているのでは世の中何もできない。無駄な税金を使うべきではない。			
女性	20代	・「英国滞時に感染した可能性が有力」という部分に不安を感じます。世界においてもそのような事例があるのか。「日本での可能性がある」とした場合、多くの人が不安を感じるから、英国のせいにしていないのかという気がしました。	
		・全て「～と考えられている」というように100%確実ではないことなのであれば、今後より詳細な調査を行っているのか、そうでないのかの一言があってもよいのではないのでしょうか。「冷静に対応して～」と言われてもまだ不安が残ります。	
	30代	・日本における対策についての説明はあったが、輸入牛肉についてのことは全く触れておらず、食肉の安全そのものに対する回答が不十分である。	
		・「考えている」という表現は断定的でないの中で中途半端さを感じる。 ・そんなに長い間潜伏期間があるということを逆に強くPRしてしまったのではないか。	

職務 経験	性別	年齢	意見		
			・ 談話 2 の「BSE 対策によって」という部分について、この対策の内容を詳しく知る人ばかりとは限らないと思われるため、対策の内容も注釈付きで示す必要があると思われる。(私自身季刊誌を読むまで詳しく知らずにいました。)		
		40代	・ 事例が少数であり、文章から科学的根拠に基づいた内容と思われぬ。また英国滞在時にどのような原因で感染したと考えられるのか具体的な内容が不足していた。 ・ 患者は日本の生活のほうが長く、イギリス滞在時、ファーストフードをよく食べたという情報があるが、感染源が明確でないので、どこで感染したかそのものが疑問に感じる。 ・ BSE の検査をしてマイナスの場合でも、感染していることがある場合に不安を感じる。 ・ 説明そのものはある程度納得いくが、偽装表示の件が食品安全委員会の責任という点では適切であると思うが、食の安全、国民の心配している BSE 問題についての誠意という点で今ひとつ不満である。		
		50代	・ 談話の内容は適切だと思う。ただ不満な点は、現在の対策のもと流通している牛肉等を食べても大丈夫ではあるが、それ以前に食べたことに対して、また BSE 牛が多発している時期にイギリス・フランス等に滞在していた人に対する説明がなく、根本的に不安は払拭されないこと。 ・ 患者の英国滞在期間が長くなかったにも関わらず、断定的な発表だったので、安心すると同時に「本当に」と疑問に思いました。患者本人についての詳細もなく、結論付けがいやに早く思えて、安全委員会からの発表により国民にこのニュースを早く忘れさせようとしているのではないかと勘ぐってしまった。		
		60代	・ 米国の牛肉が第 3 国を介して輸入されているという話を聞いたことがあります。食のグローバル化は非常に危険を伴うと思います。 ・ もっとわかりやすく具体的に説明してほしい。		
		研究	男性	30代	・ 内容が回りくどい。もう少し直接的でも良いと感じた。 ・ 公共の場から発表される言葉の言い回しがわかりづらい。解説をマスコミに任すのではなく、誰にでもわかるように発表すべき。
				60代	・ 「可能性が現時点では・・・」とあるが、他の可能性の余韻があり、不安感が残る。「そのほとんどが排除」とあるが、完全ではなく、一抹の不安感が残る。「考えております」は、個人的見解となり、他の考え方もある印象を与えて不安になる。 ・ 可能性が有力。ほとんどが排除。リスクが高まらなると考えられている。絶対とか 100% といえないのはわかるが、上記 3 点の精度を高めるために今後の施策が発表されると安心感が高まると思う。
			女性	30代	・ ほとんどが排除。リスクが高まらなると考えられている。絶対とか 100% といえないのはわかるが、上記 3 点の精度を高めるために今後の施策が発表されると安心感が高まると思う。 ・ ほとんど考えているなど、発言があいまいで確信した事実ではないので、100% 安心とはいえない。 ・ 文章が公文書なのは仕方ないことなのでしょうが、格調などではない部分の報告が必要な気がします。確率の話で済むのが済まなかったという実感がありました。
				40代	・ 英国滞在歴が何日間あったという事実だけ伝えればいいのか。科学的根拠をもとにリスク評価をする期間まで厚生労働省と同じことをいう必要はあったのか疑問です。 ・ 内容自体は不適切ではないと思うが、結局今のところは全頭検査によって安心感が得られているので、もし全頭検査されていない状況であれば不安感は消えないと思える。 ・ 患者が英国滞時に感染した可能性が有力との内容が理解しづらい。国内における B S E 対策は万全であると信じており、またさまざまな根拠に基づき感染の可能性を吟味したものだと考えられるが、釈然としない。
				50代	・ 「ほとんど」とか「考えられている」、「考えております」などの表現は、必ずしも安心感が高まる方向になりやすいように思います。 ・ 不適切という断言的な気持ちではないが、適切であるという内容ではない。どこか不安を感じさせる談話です。冷静に対応といわれても確認された患者が短期間のイギリス滞在での感染となれば、起こりうる事実としては、環境(検査・処理の状況)が違うことを考えても不安な気持ちが残る文章です。 ・ vCJD の患者が英国でどのような生活であったか、牛肉をどの程度食べたのか、具体的なことについての情報、なぜ安心と言い切れるかの裏付け的な説明がほしかったように思います。
				50代	・ 献血事業への影響はかなり大きい。(誤解している人が多い。)
		医教	男性	50代	・ 献血事業への影響はかなり大きい。(誤解している人が多い。)
				60代	・ 確かに滞在期間は問題だが、むしろ牛丼をどれだけ(量)食べたかのほうが問題であり、その辺りの調査も必要ではないだろうか。
女性	30代		・ 安全と言われても具体的な対策や理由をわかりやすく説明しないと不安感を煽るだけだと思う。実際に国産牛でも BSE が出ているので。 ・ 具体的な対処の内容等説明があいまいで不十分だと思う。このことで住民はより不安が増し、過敏になると感じる。 ・ 談話で国内の vCJD の患者が滞時に感染した可能性が有力と考えられているといいますが、あくまでも推測の範囲でありレトロスペクティブに調査し確定された結果ではないのにも関わらず、リスクは高まらないということは言い切れないので、疑問に感じました。 ・ 「不適切」というほどではないのですが、当時この話を聞いたときに「二次感染の心配はないのだろうか」と思ったことを覚えています。あと談話 1 は「可能性が現地点では有力」というあいまいな表現と、報道等で「証拠はない」と言われていたことの相乗効果で不安が残りました。		
	40代		・ 英国滞在期間が非常に短いのになぜ英国で感染したということが理解できない。(私も 1 年間英国に滞在した。) ・ 一般国民の B S E に対する不安はたいへん複雑かつ懐疑的であるため、「談話」という名目での発表くらいで一掃することは不可能と思われます。 ・ たいへん初歩的な質問で申し訳ないのですが、特定危険部位を完全に除去するというのは可能なのでしょうか。細心の注意を払わなければならない外科手術ならともかく、迅速に大量に解体処理を行わなければいけない状況でそのようなことはできるのでしょうか。		
	50代		・ 現段階で対策としてできることは行っているが、危険部位除去法として、まず牛を殺す初段階の刃物使用を西欧方式に変えることを早期対策として、国の処理基準方式として改めてほしい。		

職務 経験	性別	年齢	意見	
その他			・この内容自体は簡潔に表現され、BSE についてかなり知識のある人には適切だが、おそらく 8 割の人にとってはその意味するところが理解されないと思う。やさしい補足説明が必要である。	
		60代	・談話の表現が実感のこもらない言葉遣いで納得させるのには迫力がないように思った。 ・談話 1 の英国滞在時の感染の根拠がもう少しはっきり示されるとよいと思う。	
		70～	・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD) など、うっすらと理解できると思うが、横文字に弱い日本人は「ややこしい文字列」として深く考えずに投げやりのになったのではないかと考える。	
	男性	20代	・談話 1～3 全ての項目で表現があいまい。 ・発表内容において不明瞭なことについて、推察意見は組織の不透明な部分を隠しているようにも感じ、はっきりとした内容発表が望ましく、嫌なスタイルである。	
		40代	・この患者の英国渡航歴は 1 か月という極めて短い期間にも関わらず、真っ先に英国で感染の可能性を強調した点に違和感を覚えた。	
		50代	・談話 2 で「vCJD が・・・ほとんど排除されている」については、少し表現が適切でないように思う。肉骨粉のクロス・コンタミネーションや解体するときの SRM 汚染が現場でどの程度確実にに行われているかを査察するシステムが構築され、機能しない限り手前ミソであると感じる。「ほとんど」と自信を持っていえるようなチェック機能を期待いたします。	
		60代	・慎重さのあまり、はなはだあいまいで、国民の立場からすればどちらなのか判断に困り不安さが増すと思います。「考えられている」「ほとんど」「高まらない」等の表現は使用せず、「～%の安全確率度」と数値をつけるように。また「リスク」の表現はなぜ日本語を使用しないのか。	
		70～	・談話 2・3 について信じなさいということだが、結論にいたる説明がもっと欲しい。部外専門家の補足を付記するとか。	
		女性	20代	・この文章だけでは、下線部分の根拠がわからない。 ・患者の病気の発症原因を伝えてほしい。(英国にいたことが原因なのか、英国産牛を食べていたことが原因なのか、等) 患者の状態、日本の対応(患者に対する)を伝えてほしかった。 ・具体的な根拠が見当たらず、無責任な発言のように思います。
			30代	・感染原因がはっきり特定できていない段階で「牛肉等食べてもリスクは高まらない」というのは少し無責任な感じがします。 ・なにかあやしい感じがしてしまい、まだ他にも患者がいるような気がしてしまいました。 ・断定的な表現は避けているが、きちんと読まない人には「絶対に」リスクは排除されている、高まらないと読み取られる可能性が高いから。(きちんと読まない方が悪いのだが) ・「～発生するリスクは、そのほとんどが排除・・・」とあり、内容は理解できますが、逆に「全ては排除されない」「後からまた問題が起きるのでは」という印象を受けた。 ・日本における BSE 対策は具体的にどのように行っているのかを、ただで「排除されている」だけでなく深い内容が記されているとよいと思います。 ・患者の方は、英国滞りが短期間だったと記憶しております。その期間で vCJD に感染した可能性が大きいとすると、とても感染力が強いのだと思いました。それとともに、日本の牛肉等も今は安全としていても、過去において何らかの危険な要因があったのではないかと不安を持ちました。 ・さらに BSE 対策を強化させる方向性やその必要性について強調してほしい。 ・食品安全委員会としての所見はわかりませんが、国内(日本)で、またオーストラリア輸入肉などで本当に肉骨粉が使われていないのかが疑問です。 ・日本における BSE 対策について、具体的に述べたほうが良かった。 ・英国滞在中に感染と断定しているため、追加調査の実施の有無も知らされていないから。 ・「考えられている」などあいまいな表現が多い。科学的なデータを提示するなどしてほしい。 ・患者が汚染牛をイギリスで食べたという根拠が疑問だった。根拠をもう少し詳しく説明してほしい。 ・ほとんどとか、リスクは高まらないと考えておりますとか、断定していない言葉があるので不安は変わらない。 ・消費者の混乱を招かないためにも談話発表は適切だが BSE 問題はもっと長い研究、検証を続けてほしい。その上で対策を実施改正してほしい。 ・国民に情報を与えるのに越したことはないが、「有力」や「ほとんどが」、「リスクは・・・考えられている」といった断定がなされていない内容にあいまいさを感じられ、その状況も含め伝えてほしい。 ・談話 1 については理解しましたが、2、3 についてはあくまでも「現在」の牛肉に対する保証を述べられており、「過去」に対する信頼性が全くありません。今後潜伏期間を経て日本でもヤコブ病患者が出てくるのでは・・・と不安です。 ・我が国の BSE 対策というものがどのようなものか、どの程度のものかが具体的にわからないので、信頼性に欠ける気がします。これから先、日本でも起こりうる問題でもありと思うので、輸入の面、管理衛生面等まだまだ課題は多く残っているように感じます。 ・談話の通り政策が行われれば不安はある程度緩和されるが、昨今業者による食品の偽装表示や事実の隠蔽が報道されることも多く、末端までチェックが行き届くのか、非常に不安を感じる。 ・BSE の発症そのものが肉食として利用される月以上の牛(主に乳牛)であり、牛がいつの時点で感染したのかが解明されていない。また、感染源の確定がなされていないので、リスクよりも事実のみを伝えたいほうがいいのでは。
	40代			・用語の使い方や語尾がまわりくどく、何が言いたいかわかりにくい。(日本語の欠点か。) ・今後我が国の BSE について具体的な考えを加えて発表されたほうが適切であると思います。 ・患者の家族も英国滞在中が原因ということに納得しているのか不明であった。談話 2 のほとんどが排除されているということだが、具体的に他国との違いを説明してほしい。 ・個人情報許す限り、英国滞在中や期間も含まれるべきではないか。なぜ英国滞在中に感染した可能性が有力なのか。後日にも発表するべきでは。昨年 9 月の時点でのリスクを数字も入れて発表すべき。

職務 経験	性別	年齢	意見
		50代	・ 談話 2 の「中間とりまとめ」では、リスク評価はゼロリスクではないことを基準としていることを補足してほしいです。
			・ 国民がパニックにならないようにという考えが前面に出ており、「前年 9 月の BSE 中間とりまとめ」があくまでも正しいのだと決めつけて取れる。処理方法等今後の課題にも触れてほしかった。
			・ 委員長談話 1 の英国滞在時に感染した可能性が有力と考えられる根拠を明確に示すべきです。
			・ 「英国滞在時に感染した可能性が現時点では有力」、「牛肉等を食べてもリスクは高まらないと考えております」の部分に不安感は払拭されません。むしろ身近なところで発生したことに不安が強まります。そしてつい昨日ニュースで米国産牛肉がまもなく輸入されることを知り、さらに安全性に疑問が強まります。
		60代	・ 談話の内容は推測であって今となっては原因は不明なのではないだろうか。英国滞在は短期間であり、国内（国産牛・輸入牛）での可能性も否定できないと思う。米国産輸入後に患者が出た場合も特定はできないで終わるか心配である。
			・ テレビでヤコブ病が海外滞在后帰国された人から感染者 1 名と報じられ、耳慣れない病名と、それがどのような症状なのか知らないことに不安を感じた。
			・ 内容について本当の確信ができるのか、この次号での発表に疑問を感じる。
			・ 現在の対策に対し、輸入牛肉の検査に触れていないのはおかしい。英国滞在者の献血についても触れるべきであったと思う。

「談話の内容は適切だが、発表時期は不適切」と選択した方

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	60代	・ リスクのゼロは考えられないので談話の内容はこれ以上に向上するように努力するしかないと思います。あとは国民（消費者）の判断しかないと思います。ただ、情報は隠さず、正しく公開することだけです。 ・ 「英国滞在時に感染した」と認定したとする根拠がはっきり示されていない。
	女性	40代	・ 発表された内容はわかる人にはわかることだとは思いますが、内容を発表するということは良いことと思いますが、なぜ今この時期に発表しなくてはならなかったのかということに対しては疑問に思いました。急に発表されても何のことかわからない人がいると思うからです。
医教	男性	30代	・ アメリカ産牛肉輸入再開に向けての体制が整えられる恐れもあるのではないだろうか。アメリカ産牛肉は安全なのか、発病する可能性について、定量的な説明が必要なのは。
	女性	50代	・ 死亡してから発表まで時間がある。個人情報なので詳しい報道がなされないとと思うが、危険期間英国に滞在していた人も多いただろうから他国の死亡者の状況も含んだ情報を何らかの形で公表できないでしょうか。
その他	女性	30代	・ この患者が本当に日本国内で感染していないのか知りたかった。 たった 1 か月の滞在で発病するのか。
			・ 時期が遅かったので、過去に牛肉を食し子どもを産んだ私は、子どもの心配をしている。日本の視野の狭さを知った。
			・ 発表時期についてもう少し追加調査をした上で発表したほうがよいのではないのでしょうか。この時期においての一応の安全発言は信頼性を得るのが難しいように思われます。
	40代	・ 患者の確定がなされた当日の発表は、国民の不安を静めるためには効果があったと思いますが、あまり早いと国の意向などが働いているのでは、などと勘ぐってしまいます。	
		60代	・ 情報開示されたことは評価できる。

「談話の発表時期、内容とも不適切」と選択した方

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	60代	・ 第 81 回食品安全委員会の配布資料 3 によれば、患者は平成 13 年 12 月に発症し、平成 16 年 12 月に死亡し、病名確定が平成 17 年 2 月 3 日とあるが、病名確定にこれほど時間がかかるものか。平成元年頃英国渡航 1 か月があり、これが感染理由（可能性）とされているが、感染後発症まで 12 年～13 年かかるものか。根拠はあるのだろうか。（未だ説明されていない。）
	女性	40代	・ 「vCJD が発生するリスクは、そのほとんどが排除されている」理由を述べてほしい。
医教	男性	60代	・ 「1 の有力と考えられていると承知～」及び「2～のリスクは、そのほとんどが排除されていると考えて～」は、安全性からは禁句。施策説明にはよい。このような談話はしないほうがよい。かえって混乱要因。以前にもあった。
			・ 発表時期について。国（厚生労働省）はもっと早い時期に知っておったのではないか。（後手。）内容の不適切さ。特にあいまいさに一層不安感が増した。「・・・考えられていないと承知しています。」とか 2、3 の「・・・考えております。」の結語で一層不安を感じ食べようとは思わない。
その他	男性	60代	・ 英国滞在中に感染した根拠が十分調査した結果が疑問である。（発表した時期が早すぎ、政治的配慮が働いたと感じた。）食の安全と安心は政治的なものと国民が感じれば、一層不信感が助長される。せっかく始めた全頭検査を米国に気を遣って、若牛を検査対象から外し、米産牛肉の輸入を再開した場合、そのツケは 10 年以内に vCJD の大量発生となって現出するであろう。なんでも一度緩めると抜け道から汚染牛が市場に氾濫し、大変な事態が想定される。（それまで座長や農相は生きていて責任を取る覚悟が必要。）米国が日本の牛の輸入を禁止しているのに、なぜ米国に弱気な態度を示すのか、なんと子どもたちに説明すればよいのでしょうか。牛井や牛肉業者も自分のことばかり主張しないで、日本の国の権威を考えるべきである。
	女性	20代	・ 国の食品安全委員会の談話としては、この程度（範囲）の話までなのだろうと理解できるが、消費者の立場としては、もっと生産者に近い部分の話を知りたい、知りたいと思う。

職務 経験	性別	年齢	意見
		30代	・何を基準にリスクは高くないという判断をしているのかわからない。このため聞いただけでは安全とは思えない。
		40代	・我が国のBSE対策がどう安全なのか具体的に説明して欲しい。また「談話」を発表することや、「～と考えられていると承知～」「～と考えております」等の表現は非常にあいまいで不信感すら抱いてしまう。
		60代	・9月の食品安全委員会の中間発表後も北海道においてBSEの牛が発生している。是非全頭検査を望む。

「そもそも談話の発表に疑問」と選択した方

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	40代	・談話は一例であり、信用できない。
		50代	・Yes, Noをはっきりする。わかりやすい言葉で言ってほしい。(日本の義務教育の中学レベル。) 英国帰国者の献血がNOなのに整合性がない。リスクという言葉より、現時点では、専門家が使う「許容範囲」がいい。数値で表す。(例: ニューヨークの週末時計、降水確率、飲料不可の数値など。)
	女性	30代	・談話の内容がある程度の調査の上での考え方であることはわかるが、そもそも原因が何なのか、本当にわかった上での発表だと考えにくく、国内の牛肉流通が円滑になるための発表ではないのかと疑ってしまう。
		40代	・最近、全ての公表が役所仕事のありきたりの信頼性に欠けるものと考えている。ある程度は本当であると思うが、どうしても混乱を避けるべき一般論であると思う。
		50代	・詳しい内容がよくわからない。
			・国内で変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が発症したにも関わらず、「英国滞在時に感染した・・・」を有力とすることで、原因追求義務を怠っているように思う。国内のBSE対策は知っているが、vCJDとならないとは言いきれないのが心配。
60代	・肉骨粉が原因で海外の牛肉が汚染されているという報道があったから長い期間、我が国は国民に何の説明もなく輸入を続けていた。(肉骨粉も。) 英国に滞在していたから発病したというのは気休めである。第2の血液製剤汚染を心配している。		
医教	男性	30代	・理由はないのですが、国に対して不信感があり信用しにくい。
		70～	・厚生労働省のvCJD患者の確定と牛肉のBSE対策とは同じBSE関連ではあるが、次元の異なる問題と捉えたい。同一日の食品安全委員長談話は国民のパニックを抑えるためと思われるが、他にも何かあるのかどうか憶測を伴う。今後発生の可能性のあるvCJD患者の現状調査がある程度終わるまでは予断を許さない状態にあると思われる。安全宣言にも受け取られる委員長談話は少し時期尚早とも思われる。(厚生労働省の患者確定と牛肉の安全性はよく考えてみると良識のある人には運動しない。)
	女性	50代	・談話1に関しては英国への滞在経験者のリスクはどれくらいなのか疑問を感じた。たぶん数字で出せるデータがないのではないだろうか。2と3は適切と思う。
		60代	・不安感がつのりました。
その他	男性	30代	・そもそも同日に「安心だ」と言い切ることに疑問を感じる。「安全だが、再度調査する」なら次へのアクションが見えて安心だし、評価できると思う。この間のJR西日本の会見でもそうだが、即効の対応内容は大体後で撤回される場合が多いので信用しづらい。
	女性	30代	・別に食品安全委員会に意見があるわけではありません。狂牛病、鳥インフルエンザ、雪印の0-157問題などの後の行政の指導の甘さが、第2、第3の被害を生み出していることについて、国の無能ぶりが情けなく、また行政の発表することが何もかも嘘っぽちに思えてしまい、どんな時期にどんな発表をしようと信じられないだけです。
			・安全なら「リスクはゼロ!」とはっきり言ってほしいです。
		40代	・有力と考えられているという報道では納得いかない。もっと調査等の上、はっきりとした報告をすべきだと思う。
	・日本国内で変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の患者が確定されたニュースを聞き、国民に不安感を持たせないために、談話が発表されたように思う。内容については本当に真実なのかと思つた。消費者としては、極力「地産地消」をモットーに生産者の顔の見える食品を食べたいと思う。		
・情報はあくまで暫定的なものであることを付け加えるべきではないだろうか。また「・・・考えております」という表現が今ひとつあいまいであり、断定を避けているように見え、かえって不安。			
50代	・「談話」と聞いて日常の「うわさ話」ぐらいの軽さしか感じられませんでした。「ひょっとしたら違っているかもしれないけれど」という感じをもってしまいました。		

(問 15)

食品安全委員会のホームページについて

内容について

全体について

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	20代	・科学的なデータをもっと掲載する必要がある。(例えば、病原菌の殺菌テストなど。)
		30代	・専門的な知識がない人でも取り付きやすく、楽しめるトップのページを追加してもいいのではないかと思います。
		40代	・キッズ用のよりわかりやすく、親しみやすいページが必要だと思います。
		50代	・「ポジティブリスト」の例では季刊誌よりもわかりやすいと思うが、もともと消費者が身近に感じる言語ではなく、行政の一部の関係者が理解すべき内容のように思います。ホームページの中で、一般向けとある程度専門知識も有し、問題意識のある人向けに分けたなら、より多くの人々の理解が得られるかと。ホームページ製作者は素人の人でなく、専門家の人が作っているのでは。一般向けコンフリーなどの注意喚起は受け入れてもリスク評価などは意識外かと思っています。
			・我が国で、と畜場に対する BSE 対策、検査に関する情報を今以上にホームページで公開。
			・その時々疑問にスピーディに答えること。「ヒジキ」報道のときは相手にもしていなかった。今、健康食品の問題にわかりやすく答える場がほしい。
		60代	・食品に興味ある私たちにとって、最適の情報源です。今後も活用利用させていただきます。 ・ホームページを開くことにより、いつでもどこでも食品安全委員会の活動状況及び政府の考え方がよく理解できる。難しいことはわからないが、一般的な国民の関心のあることは、タイミングよく掲載していると思う。 ・リスクコミュニケーションの講演会終了後はその内容の要約を時間をおかず掲載するとよいと思います。図・表もあるとなおよいです。 ・重要なお知らせ、2004.03.11「鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方」がありますが、発表から1年経過しているのでも「鳥インフルエンザの鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方」に変更されたいかがですか。東京都の調査では、鶏肉(流通している)4割から6割はカンピロバクターが付着している。サルモネラ・エンティディスは卵の中にいる。
	女性	30代	・まだ少しお堅い感じがする。
		40代	・内容が内容なことに加え、やはり見ていて楽しく取り入れられるものでないことが残念。堅苦しいの一言。 ・モニターからの報告や相談内容、情報等、ときに全文を読みたいと思うことがある。しかし事務局の手間を考えると全文掲載は難しいだろう。
		60代	・現在の日本の若者や乳幼児に、食を起因としてとみられる大変危機的ともいえる状況が多々見られますが、その辺りの記述が見られませんでした。現在一般にスーパーの店頭で売られているものは安心して買えるものはほとんどありません。全く別のルートから毎日の食材を入手しております。このような状況では「日本はもう終わりだ」という声まで聞かれます。
研究	男性	40代	・公的なホームページの中では相当評価のできる内容となっていると思います。
		60代	・ホームページの法規集に食品に関連する法令をできるだけ載せてください。例えば食品衛生法とこれに付随する施行規則など。大変な作業になると思いますが順次お願いします。掲載ホームページがもしあれば、そこへリンクする表示でもよいのですが。 ・会議の議事録全てを公表する必要があるのでしょうか。要約でもよいように思います。(もっとも要約でも誤解される可能性もありますが。)
	女性	50代	・このモニターを引き受けるまでホームページの存在を知りませんでした。専門的な分野をわかりやすさも兼ねていて、興味深い内容です。一方通的にならないものを希望します。
医教	女性	30代	・言葉が難しいところが難ですが、よくまとまっていると思います。
		50代	・最近食育の必要性が求められています。コンピュータのホームページでさまざまなことを学ぶ小中学生が増えていることから小中学生を対象にしたコーナーも作るとういと思います。
その他	男性	60代	・クロイツフェルト・ヤコブ病について、患者が157人とのことですが、死亡数、症状、発症後の経過年数等、詳細な情報を提供し、危険を知らせるべきと考える。
		女性	30代
	40代		・食品安全について正確な知識、冷静な判断を養うような、よくできたホームページだと思います。より詳しく知りたい人のためのリンク集がもう少し充実していたらと思います。 ・今回ホームページを初めて見ました。自分が食品の安全性に疑問を持ち、これについて何か調べたいと目的を持ったときに見るためのホームページだと思います。気軽にのぞいて、情報を得てみようかなといった気持ちにはならないので少し残念です。
			・食品安全モニターの意見やパブリックコメントについての内訳の公開がほしい。ホームページ上に寄せられた意見を活かしたり、ホームページ上でのリスクコミュニケーションを検討したりすることが必要なのではないかと思います。
		・多方面に渡る内容でたいへん興味深いものがあります。	

職務 経験	性別	年齢	意見
			・詳しくいいのかもしれないけど、内容が細かすぎ、字も小さい。「食品安全委員会」へリンクされているホームページが少ない。
		50代	・最初はソフトがなく読めませんでしたが、その後見ることができるようになりましたが、少し表現が堅いような気がします。
		60代	・ホームページを見る環境になく残念に思っている立場から（質問からずれますが）、過日参考資料として提供された貴ホームページの「牛海綿状脳症と変異型クロイツフェルトヤコブ病について」は新しい情報を知るためにもたいへん参考になり、とてもありがたく思います。少数派のためにご面倒とは思いますが、必要に応じてこのような対応を今後ともしていただけたらうれしく思います。

内容の分かりやすさ

職務 経験	性別	年齢	意見	
業務	男性	30代	・とてもわかりやすくタイムリーな情報、解説で役に立っており、用語集、法令等とても勉強になります。	
		50代	・専門家にも初心者にもともに読むことができる編集には感謝しています。食に関する情報を欲しがっている人は多くいます。知人、友人にはホームページの存在を広報しています。	
			・わかりやすく楽しく入りやすくして、難しいページは専門ページにまとめては。	
		60代	・内容のわかりやすさの点で若干の難があると思います。より平易な表現で専門外の人にもなるべく理解できるような努力を望みます。	
			・専門家向けと一般消費者向けとが混在している。役所のPR、報告、公表が多い。一般消費者向けにすべきではないか。	
			・用語をわかりやすく説明するのは難しいことだと思います。さらにわかりやすい解説を充実させていただきたいと希望します。	
			・一言でいえば、まわりくどい回答になっている。例えば Q1及び Q2に対する A1及び A2。	
	女性	20代	・専門的な用語が多く、わかりにくいときがある。もう少しわかりやすいように、入りやすいように作ってほしい。	
			・難しい表現等わかりやすくしてほしいと思う。	
		30代	・食品安全委員会は専門家の集まりであり、その分野に詳しい人たちの集まりだと思いますが、実際食べものを扱うのは一般の主婦であり、学術的な言いまわしはわかりにくいと思います。もう少し主婦の目線でのホームページ作りをしていただきたいと思います。	
			・中学生レベルでも理解できるような文章にしたほうが多くの人に見てもらえると思う。また、ある程度知識のある人でも情報の検索がしやすいようにしてほしい。	
			・食品に携わる関係者はこのホームページの詳細な内容を見て理解できるが、新たなモニターとなった一般消費者には活字ばかりで取り扱いにくいのではないかとされる。	
			・食品に関する用語や内容の説明がたいへんわかりやすいです。	
		40代	・内容はとてもよいと思います。文章が長々と魅力的ではないのが本当にもったいないと思います。もっと誰もが読みやすく、わかりやすい記事になってほしい。	
	・詳しい知識を持っていない方でも抵抗なく見れるよう、専門用語はやさしく言い換えるなどしていただけるとよいと思う。			
	50代	・内容については理解できる。専門家や特に興味のある人にとっては、文書報告のみの内容で問題はないと思うが、一般の人には無理な気がする。		
	研究	男性	60代	・発表する内容を整理して誰にでもすぐにわかり興味のもてる内容を心がけてほしい。専門用語を平易に解説する。
	医教	男性	20代	・「一般の方向けの解説をお探しの方へ」のページの内容をイラストなどを加えるなどをして、よりわかりやすく（一般の方がとつきやすく）したほうが良いと思いました。
40代			・専門用語が多く、一般消費者には難しい。	
60代			・わかりやすさ、親しみやすさを工夫して幼年～高年にもわかりやすいようにできないか。食育教育、国民の食への意識改革にインパクトを与える資料（教材）にして学校教育で（また高齢者学級）活用できたらいいと思う。	
女性		40代	・もっとわかりやすい言葉で書いてほしい。読んでいても途中で嫌になってしまう。	
			・内容が専門的すぎる。食品安全委員会のホームページは広く一般消費者にも親しみを持って理解できるようなものにしなければいけないのではないかと。専門用語の羅列では、専門家かよほど興味を持っている人でない限りホームページを見てくれないのでは。	
		50代	・食品の専門家のホームページだと思った。一般人には難しすぎる。	
			・とにかくどんなバックグラウンドの人がみても理解しやすいと思う。	
			・わかりやすく、よくまとめられている。	
		60代	・食育を重視するためにも若年層（小・中・高の生徒たち等）の消費者にわかりやすく興味・関心を持つような創意・工夫が必要である。	
その他	男性	20代	・食品安全委員会のホームページはやはり食に対して一定の知識を有する方以外の方には難しい内容である感が否めない。一般消費者向け、専門向け等の配慮があると、より開かれたホームページになるように見受けられます。	
		60代	・国民一般に一層理解されるように、できる限り簡明な内容をお願いします。	
	女性	30代	・情報量も多く、とても詳しくてわかりやすいのですが、一般向けに見出しを大きく、わかりやすくしてはどうでしょうか。	
		・もう少ししやわらかい（やさしい）ページにするとよいと思う。知識のない人をホームページの作成メンバーに入れて、その人でもわかるようなページを作るとよいと思う。私は理解できるが、高齢者や知識の浅い人には少し不親切かも。		

職務 経験	性別	年齢	意見
			・専門用語が多くてわかりにくい箇所が多々ある。特に専門部会のページはわかりにくい。より多くの消費者が理解できるように、専門的な詳細な内容が書かれているページの前に「短くてわかりやすく説明する」部分を作れないか。
		40代	・ホームページは見る人の知識によって見やすさが変わると思います。よくいわれる小学校6年生が理解できる内容かという観点からいえば、やや専門的な部分もあり、(内容によって仕方がない場合もありますが)多くの方がわかりやすいホームページの作成に力を入れるならそのモニターなども必要ではないでしょうか。 ・情報をいち早く得ることができるので食の安全に関する疑問があるときには必ず一番に見るようにしています。内容も分かりやすく一般人にも使いやすいと思います。 ・記述内容が一般的でない(専門的)ため、理解しづらい。もっと国民が興味をもつような内容や表現を望む。ホームページ(インターネット)を訪れる人には一般の人が多いのだから。 ・「事務的な報告」になりやすいのは仕方ないが、あまりわかりやすいものとはいえない。 ・専門的で、一般消費者にとってわかりやすいものとはとてもいえないのではないのでしょうか。PDF形式が多いのも見づらいです。 ・「内容のわかりやすさ」という点では個人差が大きいのではないかと思う。専門的な職業に就いた経験のある人と、そうでない人とでは、理解力が違ってくると思う。
		50代	・今年初めてモニターをする者です。このホームページは「誰」に向けてのホームページなのですか。一般市民へのものでしたら、少々読みづらいです。字も小さすぎます。読もうという気になりませんでした。 ・少し専門用語が多いようには感じましたが、意見交換等の質問の回答の内容はわかりやすいと思いましたが、もう少し短くまとめてあったほうがよりわかりやすいのではないかと思います。全体的には自分が疑問に思っていることがわかりやすく探せるようです。 ・もう少し専門的な内容を一般的にわかりやすく、かつ深いものにしてほしい。
		60代	・多くの内容が専門的すぎてモニターの割合(応募者のにも)も一般が多いと思いますが、ごく一般の方々がホームページを見ることを配慮して言葉等をもう少し柔らかく幾度も見てくれる人を増やすとよいと感じた。

情報量についての意見

情報発信量

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	60代	・情報量が多くて、一旦ホームページを開くと、2~3時間費やしてしまいます。大いに参考になり役に立っております。食品安全モニターの毎月の報告も参考になります。各会場でのリスクコミュニケーションも参考にしています。食品安全委員会の動きもよくわかります。今後とも最新情報に期待しております。 ・よく網羅されていると思う。 ・今まで見ていないので意見がいえる立場ではないが、今回初めて見て内容豊富で充実していると思いました。今後は関心を持ってよく見るようにします。
		70~	・従来関心がわく。見る機会が少なかったが、たいへん詳しい情報量があり、現状に即してあり驚いた。今後も十分注意して見て行きたい。
	女性	30代	・情報量が多すぎる。PDFにまとめられているものが多いが、たいへん見にくい。
	40代	・あまりの資料の多さにちょっとしたことを調べようと思っても探すのに苦労してしまう。専門知識も大切だと思うが、もっと単純な簡単な調べ方があればと思う。	
研究	女性	30代	・初めてホームページにつながりましたが、こんなに情報に満ち溢れているとは思いませんでした。ただ情報として欠如していると感じられる点は、食に関する問題は世界的視点で考えるべき問題ですが、なんとなくこのホームページを見るだけでは、例えば米の論点と日本の論点の差とはっきり比較できるような気がします。
		40代	・年齢層のターゲットが広いホームページのため、ボリューム満点ですね。学生に資料集め(食品衛生)を課したところ、ホームページの検索では「個人サイトのほうが見つけやすい」との結果にもったいないなと思いました。なぜか。
その他	女性	30代	・情報量が多く、専門家には面白いかもしれないが、一般向きではないと感じる。イラスト等盛り込み、情報にインパクトを与えてみては。
			・食に関心のある消費者が情報を求めてアクセスすると思うが、対象となる情報が少ないと感じる。

情報の探しやすさ

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・専門家、NGOなど毎回訪問している人に対してはわかりやすいサイト構成だが、あまり訪問しない人にとっては欲しい情報がどこにあるのかわかりづらい。新着情報の枠が大きすぎるのではないか。トピックス、分野別情報の枠を広げ、中の文字を大きくするなどの工夫がいるのでは。「一般の方向けの解説をお探しの方へ」のコーナーの中のリスク評価の解説についてはそのまま報告書のコーナーにリンクしているのが不親切。
		女性	20代
	40代	・トップページに情報が多すぎて情報を探しにくい。ある程度、分野別に分類して、次のページに進めるほうがわかりやすい。	

職務 経験	性別	年齢	意見
研究	男性	60代	・各省庁のホームページに比較して、目的のサイトにアクセスしやすいよう、まとめられていると思います。
医教	女性	40代	・非常に整理されていて、検索しやすいホームページだと思う。内容も新しいものがすぐ公表されていて良い。 ・情報の探し出しやすさにまだ問題が。もう少し読みやすさ、見やすさを考慮してほしい。
その他	女性	20代	・検索などの機能がもっと充実してほしいです。 ・情報が探しにくいように感じます。なので、あまり見ていません。
		30代	・知りたい情報にたどり着きにくいのが問題だと思う。例:「鳥インフルエンザで死んだペットの鳥はどうしたらいいのだろう」と疑問に思ったが「保健所等にまず連絡～」という回答を見つけるまで時間がかかった。改善策『 とは』というようなキャッチ なコピーによる大見出し わかりやすいまとめ 詳細な解説(このような階層的なページ作りにする。)
		50代	・「我が国における BSE 対策に係る食品健康影響評価の結果の通知について」ができて別紙の通り農林水産大臣に通知しましたのでお知らせします。別添評価結果本体は当委員会ホームページに掲載する予定とあるが、内容が書いてある場所がどこにあるのか探せない。まだだとしたら新聞より遅いのか。
		60代	・項目別に表示されているので情報を探しやすい。

掲載方法

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・関係省庁の関連サイトとの直リンクを貼っていただきたい。また、データはできるだけ加工が可能なエクセルで提供していただきたい。PDF ファイルはセキュリティの設定により編集、注釈等できないが、注釈ツールくらいは使用できるようにしていただきたい。
		40代	・次のPDF ファイルを閲覧できない(一部)のですが、そういう苦情はありませんか。:食品安全モニターからの報告 平成 17 年の 1 月分と 2 月分。
		60代	・使用頻度が高い「用語集」一度ダウンロードしないと見られないのでしょうか。不便を感じます。
研究	男性	30代	・公開ファイルの多くが PDF 形式で、見るたびにダウンロードを要求される。
その他	男性	20代	・PDF ファイルが多く、引用しづらい。ブロードバンド回線ではダウンロードに時間がかかってしまうだろうと感じた。
		60代	・自宅のパソコンのバージョンに由来すると思われるが、アクロバットリーダーで開けない。(「表示されました」とされるが白紙)情報があります。
	女性	20代	・(パソコンの形式について詳しくはないのですが)PDF 形式で掲載されているものが多いですね。PDF だと開くのに時間がかかるので、できれば避けていただけると助かるのですが。(PDF のほうが都合がよいのだと思うので、どうしてもというわけではないのですが。)
	30代	・PDF ファイルを閲覧するソフトをダウンロードしようとしたところ、1時間 40 分もかかり、やめた。	

見やすさについての意見

全体について

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	40代	・今日(5/6)初めて見ました。見やすいホームページだと思いました。
	女性	30代	・キッズボックスがせっかくあるのにわかりづらい。学校などで子どもたちがパソコンをさまざまな学習に活用してきているので、このホームページも是非広く活用してほしいので、もう少し目立った場所からリンクを貼ってあるとよいと思う。
医教	女性	40代	・以前に比べると見やすくわかりやすくなっていると思います。
		50代	・もう少し親しみやすさがあってもよいと思う。(全体的に堅いイメージがする。) ・表現方法が堅い。もう少し言葉を尽くした説明がほしい。ホームページに愛称をつけて興味を引かせたほうがよい。なじみにくい。
その他	女性	30代	・「ばつと見」難しそうな感じのするホームページなので誰(子ども(小学生くらい))でも見れるようなホームページだともっと良いと思います。 ・一番最初に見たとき「わぁ、難しそう」と思ってしまい、時間もあまりなかったのでゆっくり見れませんでした。
		40代	・新着情報の表示についてより簡素化すると見やすくなるのではないかと感じます。

文字の大きさ

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・トップページの文字が小さすぎて読みづらい。他のページにも一部ある。 ・文字が多い。(絵等が少なく、取り付きにくい。)キッズボックス並みの作りが一般の人にはわかりやすく、導入しやすい。(詳細は現在のホームページで。)
		40代	・字が小さいのでお年寄りには見づらいのでは。
		50代	・トップページの項目見出しの字が小さい。

職務 経験	性別	年齢	意見
	女性	30代	・発信量は十分な範囲と感じますが、あまりにも細かい文字の羅列ばかりで見にくく、内容も一般の人向けとは思えない。
		50代	・トップページの（見出し以外）字が小さく、非常に読みづらい。（表示 文字サイズ拡大）ができるが、ホームページ上に、文字拡大の仕組みを作ったほうがよい。（詳細はこちらをを全部の区画に入れるとか。）文字拡大を押すと、その部分が拡大されるとか。
研究	女性	20代	・字が小さくて多いと思います。読みづらいです。
		50代	・どうしても専門的な分野の話ですから平易な表現には限界があると思います。理解しやすいような努力がなされていると思っております。ただし画面上（トップ）の字が小さくて見にくいと感じます。
			・文字が多いのでもう少し読みやすく、レイアウトなどにも心配りがほしいと思いますが。
医教	女性	30代	・文字が多くレイアウトが単調。
		40代	・初めて開いたが、とにかく文字が小さく、見づらい。内容より、とっつきにくく、入り口から進めない。掲載量が多いので仕方ないが、面白味に欠ける。
		50代	・活字を大きくして見やすくしたほうが良いと思います。意見交換等のページに、リスク管理機関の関連サイトを掲載したほうが、リスクコミュニケーションについて理解が得られると思います。
その他	女性	20代	・字が小さいので、読みづらい。情報量が多いので、いいのではないのでしょうか。
		30代	・字による表示が多く、見にくい、読みにくいといった感想です。また、私のパソコンのみでしたら申し訳ありませんが、一部 PDF のファイルが開きませんでした。（用語集、キッズボックスの2、ペットボトルなど。）
			・少し文字が小さいかなと感じました。内容が多いので仕方ないですかね。少し検索しにくい感じがしました。
		40代	・トップページがかなり細かい文字で埋められており、そこから先に進むのをためらわせているのではと思う。多くの情報を出したいからと思うが、面倒でも言葉からとか日付からとかなどで内容を探せるような、文字の少ないトップページにした方がとっつきやすくなって見る人が増えるのではと思う。見さえすれば内容はかなりわかりやすいと思う。
			・トップページの字が細かく、読む気にならない。1つ1つのカテゴリーに行くと、それぞれは読みやすい。もう少し、イラストや写真などを使い、初心者が興味を持ってアクセスできるようにしてほしい。「食の安全ダイヤル」へのリンクをもっと上のほうのわかりやすい場所にすべき。
			・我が家のパソコンは古いタイプ。画像が鮮明でないのが原因ですが、字が小さくて読みづらいです。
50代	・文字の大きさも適当でわかりやすいと思う。		

デザイン・構成・レイアウト

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	50代	・報告書をそのまま掲載するのはよいが、同時に季刊誌『食品安全』のような読みやすい構成としたものにしてほしい。
		60代	・タイトルの文面がどれくらいあるのか、ページ数が記入してあると便利。
			・「一般情報」と「事実」や「科学的根拠」または「決定（結論）」とに内容を区別して掲載、発表してみることがいかがでしょうか。換言すればホームページに載る「内容」は頭に必ず、上述の区分がなされているということです。参考まで。
			・ホームページの画面が写真方法になっているので見づらい。
	女性	20代	・デザインをもっと親しみやすいものにしてほしいと思います。（写真を入れる等。）
			・小さいパンフレットの裏面のアドレスと違っている。きれいだか文字の色がグレーだったりして薄くて見にくい。
		40代	・内容は豊富でタイムリーではあるが、見づらさを感じる。構成に関して工夫が望まれる。
50代	・画面が暗いためか内容までが不気味に思えます。扱うものの性質上、仕方がないのかもしれませんが、動きを持たせるとか色を使うとか、もう少し画面構成を考えていただけるとありがたいと思います。		
・わかりやすく一目を引く表紙と、写真、イラスト、図表などを多く取り入れた誌面により、BSE、農業などについてかなりわかりやすく説明がなされていました。モニターとしてより勉強し、理解を深めたいと考えております。			
研究	男性	30代	・1回のページで多くの情報が確認できる点はよいのだが、文章が多くやはり一般の人向けのホームページではないような気がする。もう少し興味のわく構成が必要と思われる。
		女性	30代
	50代	・今一番注目されている食品安全情報が目立つようなレイアウトをしてほしいです。一般の人でもホームページ全体に目を通すよう、「今知りたい情報」を見たいと思います。	
医教	男性	60代	・企画、構成は現在のものでもよいのだと思いますが、国民に特に注目して読んでもらいたい項目（例えば、NHK BSニュースのように8から10項目）をあげてください。委員会の一生懸命さが伝わり、国民もポイントをつかみやすくなる。
	女性	60代	・専門知識を得たい人、あるいは関係者にとっては貴重なページかとも思えるが初めて見た一般の消費者などには全く興味をもってもらえないのではないかと。ビジュアル的に内容も整理してより多くの人に訪れてもらう努力をすべきである。
その他	男性	30代	・もう少しイラストやグラフ・表もあったほうが良いのでは。見やすさ、わかりやすさが欲しい。
	女性	20代	・モニターの欄を市民がもっとたくさんわかりやすく見られるような大きい窓口だといいと思います。
		30代	・青を基調としてあり、見やすいデザインであると思います。内容が難しいので、万人に理解しやすいよう、噛み砕いた記述を望みます。

職務 経験	性別	年齢	意見
			・全体的に優れた内容だと思います。しかし、情報量の多さからか、文字の小ささが気になります。また、小さい上に青文字プラス青アンダーラインが、さらに視覚的には読みにくくしているように思います。工夫次第でもっと読みやすくなるような気がするのですが。
			・ <キッズボックスについて>クイズ形式で始まったり、イラストが多く用いられていて、プリントアウトして学習に使うにはよい教材となったが、反面ホームページを直接子どもに見せるなら、ゲーム的な要素、4択問題などで楽しく学習できるとよいと思った。
			・ もっと一般消費者（食品についてあまり知識を持っていない消費者）にも見やすいようイラストや図表を入れたり工夫したほうがよいと思う。内容も初歩的なものを盛り込むべきだ。
			・ 以前に見たとき、少しゴチャゴチャしているように感じたので、もう少しすっきりとしたホームページになるとよいと感じられました。（うまく書けなくてすみません。）字を大きく、レイアウトなど、食品について専門知識のあまりない方でも見やすいような。
		40代	・ わかりにくい表現もあり、難しく感じられ、今ひとつ興味がわからないので、色付けやタイトル、文字等に工夫を要したらいいのではと思った。
50代	・ 項目、内容等に写真もより多く掲載されるとよい。		
60代	・ アンダーラインがないほうが私には読みやすい。文字がもう少し大きければもっとよいです。		

その他

情報掲載のタイミング

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	40代	・ 議事録が遅いです。（内容について出席者に確認をとられているのはわかるのですが、他に何か良い方法があればよいですね。）
	女性	30代	・ いつまでも昔の日付の情報がトップにあり（鳥インフルエンザなど）、一瞬「ホームページ更新されていない」と思ってしまう。 ・ 毎週開催の委員会について、資料公開は非常に速やかなのですが、議事録についてももう少し早く掲載していただきたいです。
研究	男性	40代	・ 適時に必要な情報をいただいています。ただ審議議事録がもう少し早く掲示されるとベターです。（大変でしょうが。）
その他	男性	50代	・ よくできているホームページだと思います。更新はこまめに行ってください。アクセス人数を増やすための努力が必要です。（新聞、テレビ。）
	女性	50代	・ 内容の更新に配慮すべき。5月5日現在重要なお知らせの項目は、2月4日の内容が最新ニュースになっている。それ以降、重要なことがあったのでは。

周知方法

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・ 用語集は非常に役に立つがもっと存在をアピールしても良いのでは。改訂頻度も最低でも年1回は必要。
		60代	・ 60歳代の手習いで現在パソコンの勉強中です。ホームページ利用はまだ不可能なので、当面はFAXでも収集できるようにしていただきたい。 ・（感想）一般消費者によりわかりやすい質の情報を期待する。興味本位の煽り方をするマスコミに踊らされ、必要以上に不安を感じている日本の消費者。「科学的根拠」が伝わればいいのと思う。しかしホームページにアクセスする人は、いわばより専門的な深い知識を求めているはず。やはり消費者へは別のアプローチが要るのだろう。 ・ 季刊誌『食品安全』は一般的に理解でき、安全委員会の活動もよくわかりますが、発行数にも限度があり、今後NHK教育テレビによる大きな問題を取り上げて国民の大半が理解することができるのではないかと思い提案したいと思います。
		70～	・ ホームページ上ではなく、一般商業新聞にももっと積極的に発信を行ってほしい。
		女性	40代
	研究	男性	60代
		70～	・ 食品の安全について感心の深い人はホームページ、季刊誌『食品安全』を見てかなり理解できるか、行政に関わる人全てに浸透する必要があると考える。市町村長及び行政の担当者は「食の安全」を主張すると経済性、等で理解してもらえないことが多い。
	女性	50代	・ 多くの方々にホームページを知って見てほしいです。食に対する関心がより深まります。「食品安全委員会」の内容ももっと多くの方々に知ってほしいです。
医教	女性	40代	・ このホームページの存在を広く一般の人たちにも知らせてほしい。
		50代	・ 初めてホームページを見ました。その内容の多さにびっくり、全て見るには時間がかかりそうですが、タイミングよくそのときに見ると、もっと見ておけばよかったと思いました。せつかくのホームページの存在を食品の表示等でアピールしていただくとよいのでは、と思いました。
その他	男性	30代	・ インターネットのホームページは、難しすぎてわからないので、コンピューターが苦手な私でもわかる方法で情報を提供してほしいです。

職務 経験	性別	年齢	意見
	女性	50代	・メディアの場で、その都度「ホームページ」に発表している旨の伝達をするとういのは。
		20代	・もっと皆に興味を持ってもらえるような表現にして、アドレスも広く知ってもらって国民皆のアクセスを増やせたらよいと思う。
		30代	・一般の方々にあまり知られていないと思います。もっと宣伝していただきたいと思います。「キッズボックス」はとても良いと思ったのですが、なぜか我が家では画面が白いまま内容を見ることができません。
			・私たちモニターは季刊誌等でいろんな情報が得られますが、モニターでなもないパソコンを持っていない人たちは、どうやってこの情報を得ればよいのでしょうか。とてもいい情報をすぐみられて、私たちはとても幸せだと思います。
			・見た目も親しみやすく、身近な話題なども載っており、特に専門的の知識がなくてもわかりやすく書かれていて、もっとたくさんの人たちの手に渡らなければならないと思います。
			・パソコンでは使用する機会が限られるので、携帯電話からも見られるようになればいいと思います。また、リスク評価は、ちょっと見ただけではよくわからないので、専門知識がなくてもわかりやすく、見やすくする工夫があると思います。
		・ホームページを見ることのない、高齢者の世帯のことも考えて、ホームページ以外の情報発信にも力を入れてください。	
		40代	・食に対する疑問が出たときすぐ見ることができて便利です。見る人の対象を専門、一般に分けてあるので選択しやすい。ホームページのPRも必要と思います。
			・日々忙しい人やホームページを開いたことのない人には重要な情報を得ることは難しい。新聞やニュースに頼るのが現状である。ホームページの内容を新聞に載せてくれればよいのと思う。
		50代	・食品安全委員会のホームページの存在を今回初めて知りました。内容も盛りだくさんで一般の消費者がこのホームページの存在を知り、時々見てもらえるようもっと食品安全委員会の存在を宣伝するとよいと思いました。
70～	・自分でホームページを見るのが少なく(夫と共有のため)、ペーパーにして手元に持つことが多いので、なんとかマイパソコンから直接見れるようにしたいと思います。(職業人との違いを感じます。)		

感想その他

職務 経験	性別	年齢	意見	
業務	男性	30代	・完全ペーパーレス化に向けてさらに充実してください。	
		50代	・今回初めてモニターになったので今後はホームページをよく見るように努めます。	
			・パソコン「お気に入り」に入れました。これからは楽しみです。	
		60代	・よくできています。いつも見えています(毎月)。	
			・農水消費技術センターのメールマガジンが月に数回配信され、食の安全、安心に関し、内閣府のほか、厚生労働省、農林水産省、環境省等の情報が全て含まれ、詳細は各々の省のホームページを見ればわかる仕組みになっており、自分には極めて有用です。	
		70～	・今回食品安全モニターに選任いただき何度かホームページを見ましたが、改めてしっかりと目を通し、いろんな場所におき説明をし、周囲の意見を聞きたいと思っています。	
	女性	50代	・情報があまり入ってこないで、ホームページをよく見せてもらっています。	
	60代	・パソコンは初歩的な者です。これからは少しづつ勉強してホームページを積極的に見るようにします。これが今の私の気持ちです。(モニターに任命されてからは見ております。)		
	研究	男性	40代	・RSSリーダーを使い、サイトが更新されたときに最新の内容を確認したいと思います。
	70～	・インターネットの普及に伴い、ホームページの活用は大切です。今後ともその情報発信を強化していただきたい。		
医教	女性	40代	・専門部会の開催のご案内の周知期間をもう少し長くしていただきたいと思います。	
		60代	・今後はできるだけ見るように心がけたいと思っています。	
	男性	70～	・今までパソコンを持っていなかったが、近くホームページを見るため導入します。	
その他	女性	30代	・あまり情報が入ってこないで、ホームページをよく見せてもらっています。	
		50代	・この度2004年特別号と、2005年vol.4を同封していただきましたが、特別号は興味深く読みました。内容が1種類だったこともありますが、たいへん読みやすいレイアウトでした。	
	男性	50代	・緊急性を要する内容(例:食品安全委員長談話等)については、日本で生活している外国の型の利便性も考え、英語以外の国連公用語(フランス語、スペイン語、アラビア語、中国語、ロシア語)プラス韓国語程度は掲載されたいかがでしょうか。	
		30代	・初めて見たが、今後定期的にチェックしようと思った。	
			・今回、この報告書の提出に際して初めてホームページを見ました。内容等これからのモニターの参考にしたいと思います。また、リーフレット等のURLの変更記載はきちんとしたほうがよいと思います。	
			・初めて読みました。とてもいい勉強になりました。	
	40代	・食品安全委員会の活動の様子が理解できてよいと思います。透明であることが、国民の信頼につながり、大切なことだと思います。		
	50代	・ホームページを見る回数を増やし意見します。		
	60代	・これを機会に食品安全委員会のホームページを見るつもりです。		
	60代	・今後目にするよう努力したいと思う。		

(問17)

季刊誌『食品安全』について

内容についての意見

職務 経験	性別	年齢	意見		
業務	男性	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページも含めてだが、国際的な「Risk Assessment」で規定されている手順と食品安全委員会のリスク評価の差異は早急に修正すべき。BSE問題に関する調査検討委員会報告書でも、「リスク評価は4段階（ハザード確認、危険特性付け、暴露評価、リスク特性付け）において行われている。」との記述がある。リスク評価の解説では、毒性評価までとなっており、これは危害特性付けまでのステップになる。暴露評価とリスク特性付けについても実施し、解説等を加筆修正することが求められる。 ・100%完全な食品はないという消費者に対する啓蒙や海外の食品安全に対する意識の違いなどを取り上げていただきたい。 		
		40代	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向けに教材副読本的なものがあれば、なおいとおもいます。 ・問14の設問は「～のいずれか」ではなく「～までを」ではないか。 		
		50代	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をどこから流すか、ホームページや季刊誌だけでなく、地区や自治会での回覧も必要かと。学校を通じてなどの啓蒙方法を。リスク評価に関しては理解させるための解説があるが、よくわからない。「ポジティブリスト」の具体例が欲しい。 ・AD1について許容量は全て（幼児、成人、高齢者）同じでしょうか。少し不安を感じます。 ・世俗的なもっと知りたいことがある。（例えばBSEでホルモンやタン等トレサビリティーから外れた部分の安全性の説明、国内で牛の脳を食べていた人の不安は。加工食品のトレース、禁止以前に輸入された米国産牛肉は今どうなったのか、など。） ・食中毒シーズンを控え、消費者・事業者にわかりやすいようにリスク評価、リスク管理の観点からの告知記事を載せてほしい。 		
		60代	<ul style="list-style-type: none"> ・私は農家の生まれなのでBSE、農業等、食品リスク評価に対する季刊誌の内容については理解できます。ただ、BSEに対する米国との問題もあり、委員のメンバーがどこまで外圧に耐え、独自性を保てるか見守りたい。 ・食品安全委員会の話はBSEに偏っているが、むしろ死亡者がいるほうに目を向けるべき。表紙カラー写真がいいと思う。 ・東南アジアから輸入されるえび等は、抗生物質のえさを大量に与えているとのことですが、その実態を国別に調査してその結果を『食品安全』に掲載していただきたい。 ・16年9月発行の特別号では、総検査頭数と感染牛の月齢分布だけでなく、月齢別の検査頭数も記載していただきかった。23か月、21か月及び20か月齢以下の検査頭数を知りたいため。） ・安全性について、我が国と主要先進国の基準に利害があれば、その都度解説してほしい。 		
		70～	<ul style="list-style-type: none"> ・次号の内容予告があると良いと思います。 		
		20代	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全委員会という名称のみ知っていたが、この季刊誌を初めて読み、その活動内容について理解を深めることができた。水銀の人体へ及ぼす影響等興味深く読ませてもらった。水銀中毒という言葉から体に毒であることばかり思っていたが低濃度であれば子どもの脳の発達に良い影響を与えるなど、驚きであった。 		
		30代	<ul style="list-style-type: none"> ・『食品安全』2004特別号を読ませていただき、感じたことですが、牛肉のトレサビリティー制度は実際どのように行われ、現実的に安全が確保できるものである制度システムであるか疑問に思いました。 ・オールカラーでやることはお金ももったいないと思う。ノロウイルスのときはとてもわかりやすく良かった。子どもに教える部分ももっとあるといいと思う。 ・これから暑くなるので、食中毒について特集してほしい。 		
		40代	<ul style="list-style-type: none"> ・友人（40～50代女性）や娘（高、大学生）に見せたところ、公的機関のものにしてはかなり読みやすいとの意見があった。注釈の入れどころが少しずれているとの高校生発言もあったが、どこに（年代に）スポットをあてるのかの問題かもしれないと思った。 		
		60代	<ul style="list-style-type: none"> ・数値や法律事項など安全性の化学的・科学的根拠、参考文献などを提示していただきたい。食品の安全は一国だけでは守れず、アジア他、世界的に前向きに包括して改善する必要があるが現代では求められていると思いますが、そのことについての情報もお伝え願います。参考文献の紹介もお願いします。 ・モニターに任命されてからいただいた2冊、じっくり読ませていただきました。BSE問題については、現在の食生活の中で牛肉使用量が上昇傾向に行くであろうと思いますことから、これからの食生活について考える重要課題だと思っております。 ・現在行われている状況の説明に終始しすぎているように思われます。現在新生児の奇形発生状況、幼児のアトピー他アレルギーや障害児の状況、20代男子の精液中の精子は正常者は100人に1人といわれている。最大の原因はなんといっても毎日食する食品中にあるはずですので、この辺りのところから問題の解決に取り組んでいただきたいと思っております。 ・今年度初めてモニターを受けましたので季刊誌も初めて見ました。我が家は高齢者2人なのでインターネットもしていないので情報不足です。関係役所など出向いて勉強しますが季刊誌が頼りです。たくさんいろいろなことを記載してほしい。 		
		研究	男性	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・当面これでよい。できれば食品、食品添加物に関する厚生労働省の通達等もあわせ送っていただければありがたい。
				70～	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の『食品安全』BSEの特別号vol.3のノロウイルス、よくまとまっていた。今後ともこのような記事を増やしてほしいものです。
			女性	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・トピックスの解説などでもわかりやすくカラフルで見やすい。誌面が限られている場合も、詳しい記述のあるURLを明記してくれるなど改良されているように思う。ただ、BSE問題などやや政府見解的な感がある。発行時点での最新状況など、後での修正をおそれずに、どんどん掲載してほしい。

職務 経験	性別	年齢	意見
		50代	・特別号の BSE 対策についての冊子は食品安全委員会委員長談話の前に出されたものなので、わかりやすくまとまっていると思うが (H17.2.4)、その後の取組みの具体的なものを知りたい。
医教	男性	20代	・文字数を減らし、イラストを増やし、一般の方がイメージしやすいような身近な具体例を追加すると良いのではないだろうか。
		60代	・2005vol.4 特集リスク評価を理解するその 2 農薬編では、現在使用されている農薬は問題なしという論調ですが、複合汚染の面なども含めた総合的見地から食の安全性を論じなければならないように思う。
	女性	50代	・『食品安全』自体はそれでよいと思うが、小学校高学年程度を対象とするわかりやすさでダイジェストしたものがあればと思う。
		60代	・季刊誌は読みやすく理解しやすい。「食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価案件に関するファクトシート」を季刊誌に組み込めないでしょうか。
その他	男性	40代	・ハザードとリスクの違いを初めとしたリスクアナリシスについてわかりやすく特集されていました。続刊を期待しています。
	女性	20代	・わかりやすい記事もあれば、少し専門的な記事もあって難しいです。注意書きがあると助かります。
		30代	・「キッズボックス」など漢字にカナを用いて記述しているコーナーがあり、子どもにも親しみやすい点は素晴らしいと思いました。しかし全体を通して考えると、例えば 60 代の私の母がこの季刊誌の何%くらいを理解できるのか疑問です。どうしても専門性の高い内容となってしまう、もっとシンプルさを求める人々には難しいかとも思います。そうした方々へのフォローとしての「食の安全ダイアル」などのさらなる充実が必要だと思えます。
			・子ども版を作り、学校に配布したらどうだろうか。子どもたちが自ら「食」を考え、自分にとって大切なものだと認められるように。
		・当たり前のことですが、狂牛病の話がやはり多いですね。私はしばらく牛肉を食べるつもりはないので、もっと身近な食中毒の話とか、遺伝子組換え食品のこととか他の特集ももっと組んでほしいです。	
		・食に携わる方のページやキッズボックスのような気軽に読めるページを充実してほしいです。	
		・読むのにちょうどいい量だと思いました。こういうことが行われている、ということだけを述べるのではなくて社説のような、感想や意見のコーナーを設けるのもいいのではないかと思います。これからも頑張ってください。	
		・特別号の BSE 特集はわかりやすくてよいと思います。この中にあったように安全性よりも、リスクや未解明部分についての情報を広く国民に知らせることのほうが大切だと感じました。	
		40代	・現在、特に注目されている BSE、鳥インフルエンザだけでなく、流行している、流行しつつある食品の安全性についても取り扱っていただき、広く一般の人々にも知らせ、食の安全について考えさせてあげられるような季刊誌になるとよいと思います。
			・初めて拝見しました。読みやすく、わかりやすいです。でも「もっと読みたい！知りたい！」という思いにかられました。専門的な単語や流通についても勉強したいです。
			・初めて拝見しましたが、興味深い内容で初めて知ることよく理解できる説明でした。意見交換会のページ (vol.4) ではホームページに掲載しても主な意見等を箇条書きにして、パーセント表示し、見やすくしてほしいです。特別号では、BSE の検査に係る (1 頭につき) 費用、時間など知りたかった。
			・冊子のイメージからすると、あまり「説明」がなされていないように思いますが、意外にも情報量が多いので参考になります。もっと欲をいえば、紙質を落としても結構なので、結果にいたるまでの過程も添付してもらえると、よりわかりやすい気がします。(納得がいくと思います。)
			・季刊誌『食品安全』を読んで、いろいろ理解することができました。これからも問題点を取り上げていただきたいと思っています。
		・今年度よりモニターにらせていただきました。『食品安全』は専門分野を一般向けに公正で明確な情報誌であると思います。何か問題が起きてからの発信ではなく、先取りできる情報も取り入れていただけるとよいと思います。	
	50代	・創刊号 12 ページの牛の脊柱 (脊柱の中に脊髄が含まれているのだから脊柱は最初から特定危険部位だったのではないか。) の肉骨粉の飼料利用全面禁止になったのはこの記事以降のことなのですが、すでに英国などは肉骨粉を与えられた牛の供給禁止措置がとられているのに、この段階ですぐに禁止措置をとっていないのが生温く感じた。真剣さに欠けるように思う。	
		・このような季刊誌があることも知りませんでした。食品安全委員会が一般国民へ直接知ってほしいことをなるべくわかりやすく (キッズボックスなど入れて) 書こうとなさっていることはわかります。これからも頑張ってください。国内から犠牲者が出ないと、アメリカの圧力に負けてしまうのではないのでしょうか。	
		・特別号の BSE 感染リスクについての記述は我が国についての説明等はともわかりやすく思ったのですが、イギリスがどうしても多くの患者が出たかについての説明がもう少し必要ではないかと思いました。今、問題になっている米国産牛肉についても、どこがどう問題なのか、具体的に説明していただけないと思うのですが。	
		・十勝産の野菜の残留農薬テストを 3 年間行いましたが、毎年 1 作物に残留農薬 (未使用のもの) が出ています。特集の農薬の問題に関心がありました。	

説明内容の充実度についての意見

職務 経験	性別	年齢	意見	
業務	男性	60代	・一般消費者（ユーザー）向けは、もっと簡単なものを。（文字数が多すぎて読む努力が要求される。）食品関係に携わった方々にはたいへん良い情報誌となる。（勉強会の参考資料にも最適です。）	
			・できる限りわかりやすくなることを望みます。	
			・もっと内容を平易にわかりやすく説明する必要があると思います。配布された人はホームページへアクセスする人より関心が薄い人が多いと思いますので。	
			・さらなる充実を期待しています。	
	女性	30代	・テーマのポイントを押さえ、できるだけわかりやすいよう説明されている点は評価できますが、専門知識が全くないとわかりにくい部分もあり、広く利用されるのは難しいかと思えます。なかなか食品関連の仕事に従事していないと知らない知識が得られることもあるのもったいないと思えます。	
			・子どもが見てもわかるものを作ってほしい。	
			・もっとやさしい言葉で記載してほしい。	
		40代	・季刊誌の対象者があいまいであり、一般消費者、特に食生活に最も関連が深い主婦層には内容把握が難しいと考えられる。また、モニタークラスの科学的知識に明るい者にとっては、若干もの足りなさを感じる内容である。	
		50代	・用語の解説がきちんとされ、一般の人にも理解できる内容に満足。	
			・編集内容は1項目ごとに詳細になされており、一つ一つが勉強になります。	
研究	男性	30代	・文章が多く、また内容的に難しいため、興味のある人は目を通すが、一般の人はなかなか読まないと思う。例えば、子ども新聞等はわかりやすく読みやすいと思う。もう少し簡単にわかりやすい文章にしてほしい。	
			60代	・季刊誌『食品安全』を見る（読む）対象者をどのように想定しているのでしょうか。もっと裏付けデータの細部（見る人による自己評価の可能性）も記するほうがよい。継続的に見るのには、どのようにしたらよいのか。
				・ファクトシートの項目を増やしてほしい。
	女性	30代	・この季刊誌の対象はおそらく本当に食に関心のある、読む気のある人向けなのだろうと感じます。ごくごく一般の食に対してあまり深い関心のない人は、あまりにも字が多くて読みたがらないだろうなと感じました。ですから、もしごく一般の人に向けて読ませたいのであれば、もっと砕けたほうが読む気になるのだろうなと感じます。読みながら、多少この季刊誌は誰に読ませたいのかなとは思いました。	
			40代	・情報量を増やしてもらいたいです。
		50代	・もう少し1つのトピックスについて量（ボリューム）があったほうがよいと思います。	
			・ページ数は少ないですが、充実した内容だと思います。やや専門的かもしれませんが、食品安全委員会と専門委員会の活動範囲の区分けが読んでいて少しわかりにくいです。	
	医教	男性	40代	・ホームページ同様、専門用語が多く、パンフレットとしては一般消費者には難しい。
			60代	・高齢者の1人暮らしによる食品購買、調理等男女とも増加しており、文字が小さすぎて読みにくい。生産者、消費者、学生にとって必要な情報が少ない。
		女性	30代	・読者の対象をどこに当てているのかわかりませんが、一般の人にとっては内容が難しく、また細かいので、要点がつかみにくいです。長い文章よりも簡潔な文でまとめたほうがよく理解できると思います。表紙はとてよかったです。
その他	男性	30代	・図やグラフ、イラストの割合をもっと増やしたほうが、読む人が増えると思う。内容はわかりやすかった。	
			50代	・Q&A形式のものも取り入れるとよいのでは。
			60代	・テーマ及び説明内容について量的には適切である。
	女性	20代	・情報量が多く、内容も充実しており、要点がまとめてあるため、わかりやすく勉強になります。	
			・とてもわかりやすく、職業柄参考にしております。これからも続けてください。	
			・アンケート結果をもっと詳細に教えてほしい。	
		40代	・見るからに難しそうで、読む気にならない。	
			・vol.4の6ページ「キッズボックス」は子どもたちにも読ませたい記事です。が、資料となるペットボトル飲料の数が少なすぎる点や、時間と菌数の表し方がおざっぱすぎて今の子どもには「ふーん」という程度のものにしかありません。もっと具体的に数字を入れてほしかったです。そうしていただくと、もっと身近な記事に感じられると思います。	
		50代	・科学的なデータ等より情報量を多くしてほしい。	
			・『食品安全』季刊誌はどこで手に入れることができるのですか。表紙は親しみやすい（ソフトな）感じですが、中身はかなり専門的なことが書いてあって充実しています。一般の人には少し難しいかなとも思えます。	
60代	・一般人が読んでわかりやすい文章で表現してほしい。			
	・トピックスにキッズボックス（ペットボトル、飲み残しに気を付ける！）の記事を大きくして、公共の掲示板や売られている店頭貼って、利用者啓発に使用されると、衛生面からもとても良いのではないかと思います。			
	・一般主婦にも理解しやすく簡単に要約して記していただきたい。一般人は配布場所を知らない人が多いと思います。各地の配布場所も記してあるとよいと思われます。			
70～	・仲間に回覧しています。テーマでの編集以外にホームページ上のトピックスももっと盛り込んでほしい。できれば2部送付していただきたいと思えます。			

親しみやすさについての意見

職務 経験	性別	年齢	意見			
業務	男性	30代	<p>『食品安全』という名前と目次でなんとなく堅いイメージがわいて読むのをためらってしまう感があるが、いざページを開いてみると内容もわかりやすく濃いので満足している。名前はともかく目次の題目をもっと読者の興味をそそるような風に変えてみたらどうだろうか。例えば「農薬って本当に安全なの?」とか「日本の牛肉は食べても大丈夫?」とか「えっ! マグロに水銀!? お刺身食べられるの?」とか、スポーツ新聞の見出しというまでにはいかなくても、もう少しインパクトを与えるような風にされてみてはどうか。まあ国の機関なので堅くなるのは仕方ないことかもしれないが。</p> <p>・ファイルに綴じやすいように表紙左側に穴をあけていただけると助かります。</p> <p>・「キッズボックス」は『食品安全』から独立してもよいのでは。内容やわかりやすさは子どもをターゲットにしたものが少ないと思うので。</p> <p>・全体として他の国や地方公共団体の季刊誌と同じで、一般向けの内容ではないと感じます。簡単な内容からだんだん専門的な内容に入っていくような誌面の構成をお願いします。</p> <p>・表紙の絵は毎号とてもきれいですが、ラフな線がハエが飛んでいるようにも思えて少し気になる程度です。</p>			
			40代	<p>・難しい項目もあるのに対して多くの人の理解を得られるような内容(専門用語の注釈など)になっていると思われま。ただし、食品の安全性に係ることから専門性が高く、読む人がある程度限定されるようにも思われま。イラストや子ども向けの部分が加味されて、親しみやすさを出しているところはよいと感じま。</p>		
				50代	<p>・最近の資料の用紙は蛍光灯の下で見ると非常に光って見づらいので、もっと安い紙にはいかがですか。</p>	
			60代	<p>・高齢化が進む中で、見出しの表現、色の使い方等わかりやすく作成されておりますが、より読みやすくするために小さな活字をもう少し大きくしてほしいと存じま。(例:2005 . vol.4 の4 ページ)</p> <p>・このままでも支障はありませんが、研修会等の資料として(コピーして)使いやすいこともイメージしていただくとありがたい。</p> <p>・現行のスタイルで、しばらく運営されてはと思います。なかなか困難、難しいものばかりですから。</p> <p>・紙面の関係もあると思いますが、極力小さい字体を使わないようにしていただきたい。</p> <p>・視覚的にまとまりがよく、読み進んでみたい編集です。ホームページのトップもこうありがたいものです。</p>		
				女性	20代	<p>・文章が5センチくらいの幅で3分割されていて読みづらい。端から端まで一気に書か、せめて2分割くらいのほうが良いと思う。</p>
						30代
	40代	<p>・内容はとてもよいと思いますが、説明文が長々とした文章で、とても読みにくいです。というより、「読みたい」という気持ちにならない文章だと思います。(よほど興味のある人意外は。)</p> <p>・表紙デザインが取りかかりやすいのでとても良い。キッズボックスは日常的で、家族にも話したり、見せたりできる。</p> <p>・一般人(知識人ではない)にももっとわかりやすく親しみやすいものにしてほしい。</p> <p>・少し堅苦しく文章がとても長いので読みづらいというのが率直な感想です。内容的にはとてもいいとは思いますが、親しみやすさというのは少し疑問です。写真やイラスト、カラフルな誌面やキッズボックスやちょっと食休みはとても良かったですが、読者へのプレゼント(クイズに正解したら)とかクロスワードパズルなどホッとできるものや料理のレシピなど盛り込まれていると親しめるかと思いました。</p> <p>・表紙がカラフルで内容と合致したイラストになっていると思います。情報量も適切で読みやすい内容だと思います。</p> <p>・キッズページくらいの親しみやすさが全体的にあるとよいと思う。インターネット上で見るにはページを開くのに重すぎるのか時間がかかりすぎる。</p>				
		研究		男性	60代	<p>・『食品安全 2005vol.4』を見ました。6ページにキッズボックスとして子ども向けの解説があります。子どもにも読ませたい気持ちはわかりますが、全体の中では異質の感じがします。子ども向けにはわかりやすいパンフレットの形で別編集し、都道府県教育委員会を通じて各学校にまで配布するにしたらよいと思います。活字を大きくし、内容のポイントを絞ったらよいと思います。</p> <p>・字が小さくゴチャゴチャして読みにくい。1シリーズ1テーマを簡潔に表現してもらいたい。(一般家庭の主婦が対象とと思って。)</p>
						女性
		40代	<p>・1枚もののポスターでももう少しビジュアルに人目を引くサイズのものがあるといいですね。たまにでもカラーコピーを貼ってますが、もっと大きいといいのと思いつつ、愛読愛用しています。あれを本にして読めるといいですね。新書とかのライター記事のほうが有名で残念に思っています。</p>			
		医教	女性	30代	<p>・読者が気になるような数値や文章の部分に対し、太字での表記をしたらよいのではないのでしょうか。同じ字体のみでは最後まで読まずに済ませてしまいそうです。またはQ&A方式でもよいのではと思います。</p> <p>・情報の質が高く、図・表も見やすいが、それに比べて文字があまりに細かいため、「読みたい」という気持ちになりにくいのではないかと。</p> <p>・季刊誌を初めて読みました。どのようなところに置いてあるのでしょうか。定期的に読んでみたいと思います。限られたスペースに多くの情報が書かれてありますが、文字が細くなると読みにくくなることもあったと思います。</p> <p>・カラーで字も見やすい構成となっており、ページ数も少ないので、少し難しくとっつきにくい話題でも読んでみようと思うような季刊誌になっていると思う。</p>	
					50代	<p>・表紙の絵がきれいで、すぐに手にとってみたくなるようなパンフレットです。内容は字が細かく興味のない人には難しすぎる。図や表は(イラストも)わかりやすい。</p>

職務 経験	性別	年齢	意見		
			・初めて見ました。表紙の絵にとっても親しみと温かさを感じました。手にとって読んでみたいと思える表紙だと思います。		
			・わかりやすい資料で文字も大きく読みやすい。カラーもきれいで写真カットも適切。		
		60代	・全般的に(紙面割付、表紙デザイン、内容)創意工夫がほしい。読みたい人は読むと思うが読ませる冊子になっていない。特別号(2004、H16年9月発行)3ページの下段グラフは理解しにくい。テキスト文を読んで初めてわかるグラフではあまり意味がないと思う。		
			・親しみやすさについて、内容等わかりやすくとてもよいと思います。しかしページ数との関係があると思うのですが、文字(説明の)が少し小さいと思いました。(できるだけ多くの人に読んでいただきたいので。)		
		その他	男性	20代	・『食品安全』季刊誌のPDF版はホームページ上に存在しているが、やはり一般の方が親しみやすく、ホームページを見ることのできるように、季刊誌の内容をおりまぜながら「わかりやすい」ホームページ作成をしていただきたいと思います。
			50代	・紙面の構成上で活字が小さくなっているところがありますが、今後とも可能な限り大きな活字で読みやすくする工夫をお願いします。	
			60代	・季刊誌4月号を見た瞬間に親しみやすくわくわくして食の安全と安心の確保が大前提と思いました。内容を熟読しましたが、初めての私にもわかりやすく、興味を持ちました。	
			70~	・全体的に文字が小さい。カタカナ英語(例:ファクトシート、ポジティブリスト等)の使用を少なく。知識人向け編集との感強し。	
			女性	20代	・ほぼ全て重要なことだとはわかりませんが、ポイント部分にアンダーラインや色付きの文字があったほうが読む気が起こります。(文章が長いので。)
			30代	・まず最初に開いてみたときに、あまり読む気がしませんでした。もう少し構成やデザインは読みたくなるような工夫が必要だと思います。	
			・カラフルで、図や表も入っているのでわかりやすく、親しみやすいと思います。		
			・内容やわかりやすさ、説明はとてもよいと思うのですが・・・親しみやすさがあまりない気がします。幅広い年齢の人々に読んでもらえるものが良いと思います。		
			・内容は充実していますが説明が堅いように思います。一般の人が『食品安全』を手軽に入手しやすい場所(スーパーなど)に設置し、配布していただきたいです。		
			・ホームページの季刊誌がタイトルごとにページで分かれていて、より読みたくなるようなものでよいと思った。		
			・やさしい言葉で親しみやすく、わかりやすい(読みやすい)ので良いと思います。		
			・絵や図での説明が多いので理解しやすい。		
			・絵や写真を多く取り入れ、わかりやすく短い文章でかかれているため、とても読みやすい。ホームページが見づらいため、この季刊誌がよりよく感じられるのかもしれないと思うところでもあるが。		
			・情報的には多く有用なのだが、わかりやすさでは見にくい。レイアウトにインパクトがほしい。		
			・イラストもあって見やすくはありますが、字が多すぎて「後で読もうか」と考えてしまいました。もう少し字を少なくしては。		
			・さまざまな質、内容の記事がページ内に雑然と配されており、色彩にも見やすくするための工夫があまり感じられなかった。総じて読みにくいと感じた。		
		40代	・もしもその辺りに置いてあっても、手にとって見ようと思わなかったが、少し興味を持つことができたと思う。ただ、BSEにしても鳥問題にしても、直接食に関する事なのでニュースや新聞に関心を持った。そういうことについての冊子があることは考えてみればあるはずですね。表紙にもっとインパクトのある写真等を使い、注意を呼びかけるとともに、関心をもってもらいたいかながら。		
			・絵や図表を用いてわかりやすく工夫されていていいと思う。用紙が上等でちょっともったいない。		
			・関心のある内容なのに興味がわかない。親しみやすくわかりやすい内容として「キッズボックス」(2005年vol.4)のような記述が良いと思いました。		
			・今回初めて見させていただきました。表紙もとても凝っている感じがしました。タイトルも見やすくインパクトが強いですが、中面ではすごく細かく説明がされているのですが、字が小さくて少し見づらい感じでした。		
			・色使いがきれいで親しみが持てるし、内容も図解が多いためにへんわりわかりやすいと思うが、多くの方々に簡単に入手できるようにしていただけたらと思う。		
			・このような季刊誌があること初めて知りました。親しみやすく、わかりやすい内容で、良いと思います。		
			・内容は専門的なことも含まれ、詳しく記載されていると思いますが、パッと見て読みたくなるかというと、字が多く引き込まれにくい紙面だと思います。vol.4のキッズボックスくらい親しみやすさがもう少し増えればと思います。		
			・カラー印刷がとてもきれいで目を引く。活字や図もはっきりしており、目を通しやすい。「キッズボックス」や「ちょっと食休み」のコーナーは、楽しく読むことができました。特集や本論以外に漫画やクイズを載せたらおもしろいと思います。		
			・字が少し小さい気がします。多くの情報を載せたいという気持ちは理解できますが、また、内容は充実しているけれど、見たときに堅いイメージがします。		
			・春らしい行楽弁当の表紙に大変親しみを感じました。(お料理の本のようで好感を持ちました。)キッズボックスのペットボトルの飲み残しに気を付けよう!では小学生にもう読めるようにルビをふっていました。もう少しルビをふる漢字を増やすと低学年のお子様も読めるのではと思います。親子で食品の安全について話す良い機会になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。		
		50代	・ひとつの事柄に的を絞った特集号などいかがでしょうか。		
			・キッズボックスは内容的に季刊誌『食品安全』には相応しくないように感じられます。2/3ページ割くのはいかがなものでしょうか。		
			・ホームページの内容よりイラスト入りで親しみやすく、わかりやすいと思います。		

職務 経験	性別	年齢	意見
			・表紙の絵も明るく、内容も私たち一般にもわかりやすく丁寧で取り組みやすく、とても良いと思います。これからもずっと続けてほしいです。
		60代	・『食品安全』は大変わかりやすくデザイン・レイアウトなど親しみやすく、興味深く読ませていただいております。良い情報源になって勉強させてもらっています。友達にも見せて、喜んでもらっています。
			・カラフルで図解され、よくわかりやすいです。
			・公の出す出版物であるので仕方ないのかもしれないが、一般消費者である私にはとっつきにくい感じがある。内にはよいことがたくさん書いてあるが。
			・丁寧、親切に書かれています。とてもカラフルで堅くなく、良いと思います。

総合評価

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	60代	・今後とも是非継続発行してください。たいへん良い情報誌です。
			・わかりやすさ、簡略化を強調しすぎると信頼性が軽くなる場合もあるのではないのでしょうか。
			・食品安全に関する情報収集、知識習得のためには良い媒体ですので、これから大いに活用させていただきます。
	女性	70～	・タイミング、わかりやすさ等、適切だと思います。
		30代	・キッズボックスのページは子どもと一緒に読むことができ興味ある記事でよかった。
			・きちんと読みこなせばニュースや新聞などと違った方向からなるほどと納得させられる文章が載っていて勉強になった。インターネットのホームページよりはありがたい。
			・毎回『食品安全』楽しみにしています。今年からは社内において回覧しようと思っています。
			・特別号はイラストも多く読みやすかったが、vol.4は全体的に読みにくかったように思われます。
		50代	・今回のモニター依頼にて、初めて拝見しましたが、表紙のイラストで大まかな内容を予測することができ、良いと思います。また、説明も理解しやすくまとめられていると思います。(言葉の意味の説明もわかりやすいです。)
			・内容は誰にでもわかりやすいイラストも楽しくポイントをきちんと説明してあります。素晴らしいと思います。
		・季刊誌を初めて手にしました。報告書に記入してからのことでしたが、食品安全、トピックス、農薬の安全も特別号のBSEの対策も知ることができました。	
研究	男性	30代	・キッズ向けのページなどもあり、たいへん良いと思う。
		60代	・よくできていると思います。
			・食品の安全に関わる科学を万人にわかりやすく書かれており、広報誌としてはよいと思います。
	女性	50代	・食品安全委員会があらゆる角度から食の安全に取り組まれていることがわかる。分野が広い多大な研究が行われていると考える。私には一番信頼のおける情報として一緒に学んでいけて、たいへん勉強になり力強いです。
			・いろいろと参考にさせていただいております。保護者や栄養職員へ講話をする際に、データや解説を参考にしています。
	医教	男性	60代
女性		30代	・読みやすく、わかりやすかったです。
			・定期的に送っていただくことで、ニュースや新聞ではあまりとりあげられないような小さな、しかし大切な内容を再確認でき、食に関する意識をリセットしてもらえます。
		40代	・2004特別号5ページのような、解明されてきたことと未だ解明されていないことを公表する姿勢は非常に評価できる。イラストの分量、解説ともにバランスが良いので読みやすい。
			・読みやすく、内容も簡潔でいいと思う。友人たちが訪れたときに情報提供すると関心を持ってもらうことで役立っている。
			・良い季刊誌だと思います。気になっていることに目を向けさせてくれる内容でした。
			・家族や職場の人に対してこの冊子を見せることができ、良かったと思います。
		50代	・キッズボックスの設定は良いと思う。配布先を知りたい。(モニター以外にどこに配布しているのか。)
	60代	・わかりやすく(理解しやすい)良かったと思います。	
その他	女性	20代	・季刊誌『食品安全』は、初めて読みましたが、イラストや図式を使っているので読んでいてわかりやすく、おもしろく読めます。内容もちょうどよいと思いました。
		30代	・特集はとてもわかりやすくコンパクトにまとまっていると思います。見やすく(読みやすく)ボリュームがちょうどよいと思います。キッズボックスのコラムが特に気に入っています。
			・キッズコーナーがあるが、子どもに見せる、子どもとともに見る人がいるだろうか。学校等で活用されるとよい。
			・初めて読ませていただきましたが、専門用語などの説明が載っていて、とてもわかりやすかったです。行政がどのような対応をしているかわかって、少し安心できました。食べることが好きなので安全にももう少し気を配るようにしていきたいです。
			・個人的にもテーマに沿ってわかりやすく、ポイントも絞ってあるので良いと思います。これからも続けてほしいです。1回の情報量もちょうどいいと思います。
		40代	・キッズボックスは身近な話題が載っていて興味がありました。
		・初回から読んでいますが、段々と理解しやすい季刊誌になってきました。難しい言葉も例えをあげ、一般主婦でも途中で閉じることがなくなりました。イラスト、キッズボックス、食休み等、硬・軟取り混ぜ楽しみです。	

職務 経験	性別	年齢	意見
			・食の安全に関する情報を多くの方が目にすることができ、またわかりやすい内容であるので評価できます。
			・新聞やテレビ等ではわからない情報が詳しく載っているのが良いと思いました。全体に絵やグラフが多くて見やすい。
		50代	・今回初めて季刊誌を拝見しました。とてもわかりやすく、よくまとめられていると思います。ページ数もこれくらいがちょうど良いと考えます。これからも食品の安全に関する情報を消費者に上手に伝えてくださるようお願いします。
		60代	・内容が必要かつ十分で、なおかつ簡潔でわかりやすい。
			・今回初めて目にし、読むことによって、これまであまり関心がなかったところも知ることができ、たいへんありがたい。
			・たいへん参考になることが多い。
・非常にわかりやすく、今後の食品安全に関しての良い参考になります。			

その他

発行回数

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	20代	・年4回発行だけなのに、これだけの内容では足りない。
		40代	・発行回数を増やし、かつ頁数を増やしてほしい。わかりやすいのは非常に良いです。
医教	男性	30代	・発行回数を増やし、内容も増やしてほしい。
その他	男性	30代	・私は食品安全モニターをやり始めて、食品について真剣に考えるようになりました。季刊誌(『食品安全』)の発行回数をもう少し増やしてほしいです。
		70～	・特別号でも対応できるが、季刊から隔月刊に頻度を増やしてほしい。
	女性	40代	・年4回の発行だと時期を逃してしまう情報もあるのでは。隔月発行ぐらいにしてもらえたらと思います。また、その号限りの掲載だけでなく、長期間にわたって継続して掲載してほしい情報(大気中のダイオキシン値の推移など、小さなコーナーで良いので)もあると思います。持続性のある記事を望みます。

読者対象について

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	50代	・主婦層に親しみやすく、消費者に幅広く見ていただけるよう作成してはいかかが。特定の人に作るための季刊誌は必要ない。字や説明を簡潔に興味を引くような構成にしていきたい。
		60代	・(感想)この読者は一般消費者ではなく、仕事の関係が「食の安全」に何かの関わりがある人向けと考えてよいか。それならよくできている。一般消費者は多分完読はしないだろう。
			・理解できる層にとってはこのパンフレットで十分であるが、な一般消費者には理解できない内容である。これらの人たちにどのような啓蒙をしていくかも考える必要がある。『食品安全』の狙っている読者層はどこか。
	女性	30代	・専門用語が多く、一般的ではない。多くの人々の理解を得るために新聞の利用は考えられないか。
研究	男性	40代	・内容は専門的なものが多く、一般の人で興味のある人は理解できる部分も多いと思うが、食品に対し関心が少ない人の興味を引き理解できる内容とは思えない。子どもの食育に利用するにも難しすぎる。(この季刊誌はどちらかで入手可能なのでしょうか。)
		40代	・必ず読んでもらいたい「ターゲット」が存在すると思いますが、それが誰なのか内容を見る限り、やや不明確ではないかと思います。
医教	女性	60代	・専門職が読むためを想定して書いている気がする。
その他	女性	30代	・非常にわかりやすく説明がされているが、今回初めて読ませていただいたので、「誰に向けた情報誌」なのか、ターゲットと配布方法に疑問を抱いた。
		40代	・どちらかという生産向けに作られているという印象。一般消費者にとっては少し難解ですが、それでもいいと思う。

入手先、周知について

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・インターネットを利用しない方でテレビ、新聞、ラジオのみの情報を得ている方に見ていただいたら、諸問題に対して非常に理解しやすく、勉強になるという御意見を頂戴しました。
		40代	・内容は非常にわかりやすくまとめられていて、読みやすく、評価できます。このような基本的な安全性に関する内容を、小中学生の学校教育に組み入れられることを期待します。成人してからだと固定観念があり、感情優先で、安全性についての科学的な話が受け入れられないことがあるからです。
			・毎号必ず入手したい者のために定期購読の仕組みを作ってはどうか。
			・発行部数が少なく読む人が限られている。リスクコミュニケーションという意味で特に教師の方に読んでほしい。学校には全校配布が望ましい。
		50代	・ホームページにも掲載してほしい。
			・ローカル紙、全国自治体、保健所にも情報提供して載せる。

職務 経歴	性別	年齢	意見
		60代	<p>・『食品安全』は行政が催す会議等で入手しておりますが、食品団体関係各種（外部）団体等へも定期的に配布できないでしょうか。情報量、内容等に満足しております。食品安全モニターには全員配布していただけないか。説明会、短大講義でも大いに活用しております。</p> <p>・食品の安全を知る上で適切な雑誌ですが、近くの公共機関で見ることがありません。是非配布、閲覧場所を再考し、国民の多くが正しい食品安全の知識を得られるよう努めていただきたい。（学校、図書館、公民館に配布されていますが。）</p> <p>・食品安全委員会としての活動検討状況や取組みがわかるようにしたほうがよいのではないのでしょうか。国営放送である NHK 教育テレビ等の有効利用を考えたほうがホームページより一般に知られることができるのではないのでしょうか。</p> <p>・配布対象はどの範囲なのでしょう。</p> <p>・万人向けに編集 PR でできれば食品の製造者はもちろん、消費者との一体感が保てると思い、発表の機会を増やしたらよいと思われる。</p>
		70～	・『食品安全』を各家庭にあまねく配布してほしい。
		女性 20代	・今回初めて読ませていただきましたが、内容も「これは最近テレビなどでよく聞くがどうということだろう」と思うことが詳しくわかりやすく書かれていてよかったです。もっと手に入りやすいところにあつたらと思います。
		30代	<p>・このような季刊誌があること自体知りませんでした。そういえば食品会社勤務時に広報室で閲覧できるようになっていた気もしますが、とてもわかりやすく、内容もタイムリーなものだと思うので、一般の人も見られるようその存在を周知徹底したらよいと思います。学校、保健所、給食センターなど食育に携わる人にも配布したらいいのではないのでしょうか。（実施していただければ幸いです。）</p> <p>・あまり内容の密度が濃すぎると、一般的に読みづらいものになってしまうので、適切な情報量、説明内容だと思います。入手方法がわかるともっと良いと思います。</p> <p>・この季刊誌の存在を今回初めて知りました。もう少しコストの低いものにして、市役所などにも置いていただけたらと思います。</p> <p>・資料は非常にわかりやすく良いと思いますが、手に取る、または目に触れる人の数が少ないように思えます。新聞の一面広告等も併用するほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>・今回送っていただいて初めて手にしたが、一般消費者が入手するのは容易であるか。どこに設置してあるか。</p>
		40代	<p>・ある程度の専門家または食の安全に興味を持つ人向けだと理解している。もっと一般消費者向けの広報が別にあればよいと思う。または新聞などに定期的に情報を発信するスペースをとるなど考えてもよいと思う。</p> <p>・見やすいし、理解しやすいように書かれています。食の安心、安全のアカデミー講座でいろいろ安心安全につながる話は聞いてはいますが、こうした季刊誌が人目にそれも多くの人目にとりやすくしてほしいと思います。</p>
	60代	<p>・もっと国民に広く PR していくために配布部数、配布箇所の拡大を望む。</p> <p>・季刊誌を備えてある場所はどんなところか。 配布範囲は。</p> <p>・どこにおいてあるのが季刊誌は初めてです。ホームページを見る人ばかりじゃないので新聞に入れる、県だよりにして、わかりやすく、簡潔に、枚数は1枚でもよいから配布して国民に知らせるべきだと思います。</p>	
	研究 男性 40代	・中学校、高校の教材（社会科）として推奨してもいいのではないのでしょうか。	
	60代	・入手方法が不明。（有償、無償、入手先など）	
	70～	・『食品安全』等で述べられていることは理解でき、広める必要があるが、末端の行政、住民に実行されていかないと意味がない。従って末端の行政、直接住民に触れる人々の働きかけも必要。むしろ積極的に進めるべき。	
	女性 20代	・駅やスーパー、コンビニなど、人が多く集まり、気軽に立ち寄るところに置いてほしい。	
	40代	・一般の人がもっと目にできる環境であればよいのと思う。	
	医教 男性 60代	・これまで自分の持っている知識とテレビ、新聞等の情報に頼っていたが、これからはホームページ等の活用で食品の安全性について確認、見直し、考察していかなければならないと痛感する次第です。正しい理解のもと、啓発活動の必要性を痛感いたします。	
	70～	・食品安全モニターは『食品安全』が読めるからありがたいが、国民にも広く入手できるようになればと思います。市町村の広報にも一部分記事を抜粋して載せる等は効果的だと思います。せつかくの記事内容がもったいない。有料で結構ですから年間購読できるようにすればと思います。	
	女性 30代	・どのような場所で配布されているのでしょうか。内容的にはわかりやすく関心が持てます。	
	40代	<p>・『食品安全』を巻で見かけたことがないが、もう少し存在をアピールしたほうがよいのではないか。存在自体を知らない人が多いのではないかと思う。</p> <p>・季刊誌『食品安全』のこれまでのものを手に入れたいと思いますがどうしたらいいのでしょうか。郵券が必要であれば早速お送りしますので、ご回答をお願いします。（返信用封筒を同送しました。）</p>	
50代	<p>・食品安全委員会は独立機関であることをもっと前面に出して、今後は環境省、経済産業省（食品の輸送、流通面においても関わるため）等へも、情報発信を行うことを望みます。</p> <p>・初めて手にとって見たように思います。勉強不足でごめんなさい。もう少し人の目に触れるような個人病院などに配布して伝えたい内容をアピールしていただけたらうれしく思います。</p> <p>・どこで手に入りますか。私の地域で考えると、閲覧板があるので閲覧でも一般的に目にできるようにしてほしい。内容はおそらくもう少し多くして、いつでも手に入れられるようにしてください。</p>		
60代	・私たちモニターには最前線の情報、知識を得ることのできる素晴らしい季刊誌である。一般の消費者にも浸透するように配布できないだろうか。		
70～	・残念ながら、初めて手にして読みました。発行部数、発行先、対象読者、年齢層等、知りたいと思いました。国民の何%が目にしてしているのか。		

職務 経歴	性別	年齢	意見	
その他	男性	20代	<p>・内容は悪くないと思うが、街中で見たためしがない。中身がどれだけ充実していても、認知されていなければ、発行者の自己満足で終わってしまうと思う。うまくPRしてほしい。</p> <p>・良い内容と思いますが、発行後どのように一般に向け配布するのでしょうか。一部のみで見られるものだとすれば、評価できません。</p>	
		50代	<p>・よくできている季刊誌だと思います。問題はいかに多くの人に目を通していただくかが大切です。表紙の絵、写真も少しインパクトがあってもよいと思います。</p>	
		60代	<p>・今回初めて読みました。大変参考になりました。活字やイラストを大きなものにしていただければ高齢者も読みやすいと思います。また、入手方法等の情報はホームページだけでなく、一般のテレビ、新聞等も活用すべきものと思います。</p>	
			<p>・食の安全性問題は、今後、国民の関心がさらに高まっていくものと考えます。よってもっと内容をわかりやすくし、発行増を図り、公共施設コーナーに配備してください。</p>	
			<p>・非常に参考になりますので、今後とも継続して入手する方法をお教えてください。</p>	
			<p>・『食品安全』vol.1~3を送ってほしい。</p>	
	女性	20代	<p>・vol.4の6ページ「キッズボックス」のような記事は、大切な内容だと思うので広く皆に知ってほしい。</p> <p>・このようなものが発行されていることを知りませんでした。もっと身近に手にとる機会が増えるといいですね。(地方自治体の施設に置くなど。)内容が充実しているため、多くの人々が手に取れないもったいないです。</p>	
			30代	<p>・難しいことかもしれないが、小中高等学校の家庭科や総合学習の時間に、年に2時間程でもこういった冊子を使い勉強させると、食の安全に対する関心が全体的に高まるのではないかと思います。</p> <p>・インターネットを利用されていない方々へ配布するとよいと思います。消費者センター、役所、福祉施設等で受け取れるとよいと思います。</p> <p>・初めて読む季刊誌でしたので、どこで手に入れたらよいのかもわからない。表紙のデザインや色、構成等はよいのですが、紙の質が良すぎる気もいたします。内容は興味があるので読みたくなります。</p> <p>・今回モニターで郵送していただいたので、季刊誌を手にしりましたが、普段の生活ではあまり目にしたことはありません。どのようなところに、どなたに向けて発行しているのでしょうか。ホームページ上では季刊誌のページそのものが載っていたので、そのままネットでは読みづかったです。</p> <p>・とてもわかりやすく説明してあってよい。自治会の回覧等で多くの人々に読んでもらうことが大切なのではないかと思う。</p> <p>・初めて読みました。内容は良いと思いますが、どういうところで手にすることができるのでしょうか。一般には出回っているのでしょうか。もっと広く知らせる必要があると思います。</p> <p>・食の安全についてこれだけ詳しく情報が掲載されているのに、一部の人たちがこの内容を知らない。大多数の人たちは食の安全性についての疑問や不安感は払拭できないのではないだろうか。</p> <p>・内容は薄い冊子で充実していたように思われます。今回、私は初めて目にしましたが、一般の方が手軽にどこでも入手できるものなのでしょうか。内容が充実しているだけに特定の方だけが入手できないのであれば残念な気がします。</p> <p>・ホームページより読みやすくできていて良い。もっと多勢の消費者の目に触れれば、食に対する漠然とした不安が取り除かれるのではないだろうか。</p> <p>・季刊誌に関しても今回初めて目にしました。わかりやすい内容で食に関するさまざまなことが掲載されており、もっとたくさんの一般の人にも見てほしいと思いました。(私が知らなさすぎなのでしょう。)どこかに置いておくだけでなく、手元に配るといこともされているのでしょうか。</p> <p>・通常では知りえない情報がグラフや絵などを用いてわかりやすく書いてあるのでよいと思います。ただ、身近なところでは見かけたことがないので、もっと手に入れやすくするべきでは。読めるところに置いてあることで、不安を少しでも減らせると思います。</p> <p>・『食品安全』はもっといろんなところに配布して、多くの人たちに見てもらいたいのではないのでしょうか。とても読みやすく、見やすくいいと思います。これからも『食品安全』楽しみにしています。紙面作り大変だと思いますが頑張ってくださいね。</p> <p>・食品安全モニターとして送付していただいたのですが、それ以外にはどこで手に入るのかがよくわかりません。</p>
		40代	<p>・誰を対象に、どこに配布しているのかと疑問を持った。同季刊誌にかかるコストと、配布による効果を調査・評価したほうがよいのではないか。</p> <p>・ホームページに比べ、カラー印刷を多く取り入れ、たいへんわかりやすく、内容量も適度でよいと思う。ただこのような冊子があることを今回送っていただいて初めて知ったので、より多くの方が手にとることができるような工夫をしていただければよいと思います。ホームページの中にもこのような内容のページがあればよいと思います。</p> <p>・モニターをして『食品安全』が手に入り、友人等にも見せているが、もし手に入らなくなったら、どこで手に入れることができますか。食に関係している人に、もっと読んでもらいたいと思う。</p> <p>・バックナンバーvol.1~3を入手したいのですが。</p> <p>・わかりやすいパンフレットだと思います。もう少しページ数または発行回数を増やしていただくとか、高校、大学などでの食物の授業に配布するなどして、より多くの方に見ていただくとよいと思います。</p> <p>・こういう冊子があること自体知らなかった。もっと国民にアナウンスし、市役所の広報などで紹介し、簡単に入手できるようにする。</p>	
			50代	<p>・初めて季刊誌を拝見しましたが、日々の暮らしに直結した内容の記載もあり、もっと一般の方々の目に触れるよう配慮していただきたい。(費用の問題等もあると思いますが。)</p> <p>・国民の多くの方が知りたい内容を絵や図表区分でわかりやすく伝えてあります。キッズボックスも明確に注意書きまであり、子どもの心をキャッチするでしょう。是非、大勢の人に伝えるようにしてください。</p> <p>・今回初めて『食品安全』を見させていただきました。内容がとてもよいので国民皆がこのようなものに接する機会がもっとあればよいと思いました。</p>

職務 経験	性別	年齢	意見
		60代	<p>・その時々旬の話題を取り上げられ、一般にも読みやすいと思います。しかし残念なことに、ごく普通の消費者の目に触れる機会が少ないのではないのでしょうか。例えばせめて保健所、各自治体や図書館などに配布され、住民が手にとって自由に閲覧できたらと思いますが、予算面での制約など困難なことなのでしょうか。(紙質を落として別刷りのものでもよいのでは。)地域での定例学習会でも活用できたらと思っていますが、複数部入手困難でしょうか。</p> <p>・良い季刊誌だと思いますが、特定の人にだけしか接する機会がないのでは、私は回覧や展示でより多くの人々に読まれるようにしておりますが、限られた範囲となります。もう少しより広く発刊できないでしょうか。</p> <p>・大変立派な季刊誌を今回モニターになって初めて手にすることになった。一般の立場でどこにこれがあるのか、またどんな方法で見れるのが全くわからない。読んでほしい人の目に触れる努力を望みます。</p>
		70～	<p>・『食品安全』季刊誌、初めてお目にかかりました。今回モニター初参加で不安もありますが、食の安心安全のため、いただいた資料を参考に努力していきたいと思います。農業問題には特に関心を持っています。今回以前の季刊誌はございませんか。</p>

その他

職務 経験	性別	年齢	意見
業務	男性	30代	・まだ知識が足らず、参考にして勉強中です。意見する基準がありません。
		50代	・季刊誌の宿命ですが、情報の鮮度が失われる面は否定できません。鮮度はホームページで、深みは季刊誌で使い分けています。
		60代	<p>・既刊のものをホームページで閲覧させていただき、新たに知識が整理された気持ちになりました。</p> <p>・食品安全においては、私ども長崎県、市ともに数年前と違い、あらゆる場所においていると意見が出るようになっており、私たち調理師たちも作るだけでなく、流通及び食品の安全性を作るものとして関心を得るには助かり、認識するよき機会だと思っており、しっかり勉強していきたいと思っております。</p>
		70～	・食品安全委員会の7名の構成とありますが、官と民の方以外にも、メーカーの人を加入させてはどうですか。また、専門調査会は学者ばかりのように思います。要員の7名の構成を増員してはどうですか。
	女性	50代	<p>・以前鳥インフルエンザの報告をしたのですが、県からの広報や新聞等にもとりあげてもらってありがとうございました。</p> <p>・寮の管理人をいたしております。『食品安全』はパートさんも含め寮の仕事に携わる者全員で読ませていただき、意識向上に図ります。</p>
		50代	・主婦は何か食品の問題が起きると敏感に反応するが普段は価格が安い食品を求める傾向があるので、生産者も利益追求で食の安全が後回しになっているように思う。今こそしっかり食品を見極める目が必要だと思う。
		60代	・季刊誌が手許に届き、改めて食の大切さを痛感いたしました。時代に即した「正確な情報」は私にとって「宝もの」の1つです。